

第4次岩出市子供読書活動推進計画

令和5年3月

岩出市教育委員会

は じ め に

子供は、読書をすることで、未知の世界を体験し、いろいろな人物と出会うことで、多様な考え方や、気持ちを疑似体験することができます。また、読書活動は子供の生涯にわたる学習活動の基礎となるものでもあります。

しかしながら、テレビ、コンピューターゲーム、インターネット、スマートフォン、SNS等の普及により利便性が向上した反面、ゲームやインターネットに費やす時間が増え、子供の読書離れが懸念されています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響や、ICT等の発達により、学校において一人一台端末を活用した学習活動が行われるなど、子供たちの学びや生活のスタイルが大きく変化しています。

このような中、子供たちは言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていかなければなりません。

すべての子供が魅力ある本に出会い、読みたい時に読みたい場所で読みたい媒体を使って、自主的な読書活動ができるように、読書習慣の形成、そして読書環境を整備していくことが求められます。

こうした状況を踏まえ、本計画は、乳幼児期からの読書活動の大切さを伝え、家庭での読み聞かせの習慣化、学校司書の派遣など学校や図書館などの関係機関の連携による読書活動の推進等、岩出図書館として今後5か年において取り組むべき方向性を定めたものでありますので、家庭、地域、学校、関係機関、団体等の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

なお、本計画の策定作業を進める中、政府から、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けを第2類から第5類に引き下げる旨の発表がありました。第5類になれば、季節性インフルエンザ等と同等の扱いになりますが、新型コロナウイルスが無くなるわけではありませんので、当面は、感染状況を把握しながら感染リスクに応じた対策が必要であると考えております。

結びに、第4次計画の策定に関わった岩出市子供読書活動推進会議委員の皆様、関係機関並びにボランティアの皆様、アンケート調査にご協力くださいました方々に厚く御礼申し上げます。

令和5年3月

岩出市教育委員会

目 次

はじめに

第1章 第4次岩出市子供読書活動推進計画策定にあたって 1

- 1 第4次計画策定の目的
- 2 計画の期間
- 3 基本方針

第2章 第3次計画期間における取組（平成30年度～令和4年度） 3

- 1 家庭・地域・学校等における子供の読書活動の推進
- 2 子供の読書活動を推進するための読書環境の整備・充実
- 3 子供の読書活動に関する理解と関心の普及

第3章 子供の読書活動の現状と課題 8

- 1 アンケートに見る子供の読書活動の現状
 - (1) 乳幼児の家庭における読書
 - (2) 小学生の家庭と学校における読書
 - (3) 中学生の家庭と学校における読書
 - (4) 成果・課題
- 2 岩出図書館の利用状況の推移

第4章 第4次計画における子供の読書活動推進のための方策 12

- 1 家庭・地域・学校における子供の読書活動の推進
 - (1) 家庭・地域における子供の読書活動推進
 - ①家庭における子供の読書活動の推進
 - ②図書館・図書室における子供の読書活動の推進
 - ③民間団体等による子供の読書活動の推進
 - (2) 学校等における子供の読書活動の推進
 - ①幼稚園や保育所(園)、認定こども園、子育て支援センターにおける子供の読書活動の推進
 - ②児童生徒の読書習慣の確立・読書指導の充実
 - (3) 障害のある子供の読書活動の推進
 - (4) 家庭・地域・学校との連携による読書活動の推進
- 2 子供の読書活動を推進するための環境の整備・充実 16
 - (1) 図書館・図書室の整備・充実
 - (2) 学校図書館の整備・充実
 - (3) 幼稚園や保育所(園)、認定こども園、子育て支援センターにおける読書時間確保等の工夫
 - (4) 子供の読書活動の推進に係る体制の整備
- 3 子供の読書活動に関する理解と関心の普及 18

参考資料

- 用語解説 ○子供の読書環境に関するアンケート調査資料
- 岩出図書館における子供の一人あたりの年間貸出冊数
- 市内小・中学校における児童一人あたりの年間貸出冊数
- 岩出図書館 ベストリーダー（貸出回数の多かった資料）1位～5位
- 岩出市内各小・中学校ベストリーダー（貸出回数の多かった資料）1位～5位
- 子どもの読書活動の推進に関する法律 ○和歌山県子供読書活動推進計画（第四次）基本方針
- 岩出市子供読書活動推進会議設置要綱 ○岩出市子供読書活動推進会議委員名簿

第1章 第4次岩出市子供読書活動推進計画策定にあたって

1 第4次計画策定の目的

読書活動は、子供が、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。また、子供たちが、社会を構成する一員として、主体的に社会の形成に参画していくために必要な知識や教養を身につけるとともに、真理を求める態度を養う礎となるものであり、社会全体でその推進を図っていくことは極めて重要です。

一方、今日の情報化社会の中で、テレビのほか、ゲーム等や、インターネット、スマートフォン、SNS等の発達・普及による子供を取り巻く環境の変化、塾や習い事等の生活環境の多様化が子供の生活に強く反映し、活字離れ、読書離れの傾向が指摘されています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による感染症対策の影響で公立図書館や学校図書館の利用の減少、新しい生活様式の確立などにより、子供の読書環境は急激に変化しています。

子供が好きな本と出会うためには、子供が自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭・地域・学校を通じた読書環境の整備とともに読書活動を推進していくことが必要です。

国においては、子供の読書活動を支援するため、平成12年を「子ども読書年」とする決議が出され、平成13年12月には「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行されました。この法律に基づき、平成14年8月、最初の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（以下「基本計画」）が策定され、その後、平成20年3月には、第二次基本計画、平成25年5月には、第三次基本計画、平成30年3月には、第四次基本計画が策定され、おおむね5年間にわたる施策の基本的方向と具体的な方策が示されました。また平成16年3月に、和歌山県の子供の読書活動推進に係る施策を総合的に推進するための指針として、「和歌山県子ども読書活動推進計画」が策定され、現在、平成31年3月に策定された第四次計画が施行されています。

岩出市においても、国の基本計画及び「和歌山県子ども読書活動推進計画」を基本とし、子供の自主的な読書活動の推進を目指し、平成20年3月に「岩出市子ども読書活動推進計画」（計画期間平成20年度～平成24年度）（以下第1次計画という）、平成25年3月に「第2次岩出市子ども読書活動推進計画～生きる力を育む豊かな読書環境を目指して～」（計画期間平成25年度～平成29年度）（以下第2次計画という）、平成30年3月に「第3次岩出市子ども読書活動推進計画～生きる力を育む豊かな読書環境の実現へ～」（計画期間平成30年度～令和4年度）（以下第3次計画という）を策定しました。

このたび、第3次計画期間における岩出市の子供読書活動推進の取組と成果、今後の課題を検証した上で、子供たちの生涯にわたる「生きる力」の基礎的な部分を育む豊かな読書環境の実現に向け、継続的に推進していくために、第4次岩出市子供読書活動推進計画を策定するものです。

2 計画の期間

この計画は、第3次計画の期間が令和4年度をもって満了となることから、その成果を検証するとともに、今後、岩出市が子供の読書活動を継続的に推進していく上で、基本となる考え方や具体的な取組を示すものとし、計画の期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間とし、必要に応じて適宜見直しを行います。

3 基本方針

国及び県の基本計画をもとに、岩出市の第3次計画期間における成果と課題を踏まえ、「子供の自主的な読書活動の推進」を目指し、次の3点を基本方針として引き続き取り組みます。

(1) 家庭・地域・学校における子供の読書活動の推進

家庭・地域・学校がそれぞれの機能を発揮し、子供が自主的に読書活動を行えるよう、学校や図書館などの関係機関、民間団体等が緊密に連携し、相互に協力しながら、子供の発達段階に応じた読書活動を積極的に推進します。

(2) 子供の読書活動を推進するための読書環境の整備・充実

図書館及び学校図書館の図書資料や施設・設備を充実し、子供の身近なところに読書のできる環境を整備するとともに、行政や民間等による推進体制の整備を促進します。また、図書館は分館、分室と緊密に連絡をとり、その時代に求められる図書館の機能を積極的に取り入れ、地域における読書環境の充実に努めます。

(3) 子供の読書活動に関する理解と関心の普及

読書の意義や重要性について、市民の理解と関心を深めることが大切です。そのため、子供読書活動に対する理解・関心を高められるよう、関係機関、民間団体等との連携・協力による普及啓発活動を促進します。

第2章 第3次計画期間における取組（平成30年度～令和4年度）

子供の読書活動を推進するため、第3次計画で定めた事業計画に基づき、計画的に環境整備を進めてきました。第3次計画において、乳幼児期・幼児期及び学齢期の読書活動の方策としてあげられた内容については、下記のとおり取り組みました。

1 家庭・地域・学校等における子供の読書活動の推進

① 家庭

子供と保護者が家庭で本を一緒に楽しめるように、4か月健康診査時に対象者へ絵本を配付するブックスタート事業を実施しています。育児相談時に絵本の大切さとブックスタートについて説明し、ブックリストが載った啓発チラシの配付も行ない、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれあうひと時をもつきっかけを届けています。これに加え、1歳8か月健康診査時には朗読ボランティアによる絵本の読み聞かせを行い※1、平成30年4月から、1歳8か月健康診査対象者に絵本の引換券を配付し、来館者には親子での読書（読み聞かせ）を支援する絵本とトートバックのプレゼント、ブックリストを配付する親子読書支援事業（すくすく読書）を実施しています。読書相談にも応じるとともに、図書館の利用カード作成やおはなし会等の案内も行っています。親子での断続的な図書館利用の促進と家庭での読み聞かせにつながる活動をすることで、小学生からのうちどく活動にスムーズに移行していけるよう取り組んでいます。保護者に向けて、保育所等の保護者参観時に読み聞かせボランティアによる読み聞かせをし、家庭での読書の大切さを伝える「訪問おはなし会」※2を実施していますが、これらの活動によりこれまで絵本に関心がなかった保護者の方が、親子で図書館を利用するようになるなど、乳幼児のころから本に親しむ環境づくりが少しずつ広がりを見せています。

また、学校の朝の読書の習慣を家庭で実践する、「うちどく」を推進しています。「うちどくノート」を市内小・中学生全員に学校を通して配付し、うちどくにおすすめのブックリストを参考に、家庭でコミュニケーションを取りながら、子供が楽しく読書できるよう、活用を呼びかけています。

新たなサービスとして、令和2年12月から、インターネット上で電子書籍を読むことができる、岩出市電子図書館「いわでe-Library」を開設しました。令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大や、緊急事態宣言発令などにより小・中学校が臨時休業になり、図書館も臨時休館しました。そのような中、岩出市安心・安全メール配信サービスで、岩出市電子図書館「いわでe-Library」の案内のメールを保護者あてに配信したところ、電子書籍の貸出冊数が増えました。電子書籍は、インターネット環境があればどこでも読むことができるので、コロナ禍においても子供の読書活動を継続することができる一助となっています。

※1 朗読ボランティアによる絵本の読み聞かせは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、健康診査の担当課の要望により、令和2年度以降は中止しています。

※2 訪問おはなし会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、保育所からの要望により令和2年度以降は中止しています。

② 図書館・図書室

図書館では、読み聞かせボランティアが毎週日曜日に、図書館スタッフが第4土曜におはなし会を開催し、総合保健福祉センター図書室では会計年度任用職員と図書館ボランティアが協力して4、7、10、1月の第2土曜日に乳幼児向けのおはなし会を開催しています。

年6回子育て支援センターとともに乳幼児向けに親子で参加できる手遊びや図書館ボランティア

による絵本の読み聞かせなどを実施しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館等で開催できなかった時期もありましたが、手指の消毒、検温、定員を少なくし密を避ける等コロナ対策を行いながら開催しています。

その他、図書館ボランティアの人材確保と養成・研修の機会、活動場所の提供等の活動支援も行っています。

子供読書の啓発活動としては、各保育所（園）、認定こども園を通じて保護者向けにイベントの案内やブックリストを、小・中学校では全児童生徒に向けて教科書の内容と並行したブックリスト等を配付するとともに、その季節の行事等に合わせた本の展示のお知らせ、イベントやおすすめ本情報チラシを配付し、同時に学校図書館に掲示を行ない、図書館利用を促進しています。

また、市内小学校6校、中学校2校に学校司書を派遣しています。それにより、学校との連携がより緊密になり、学校図書館や図書館から先生に提供する冊数が増えたり、学校司書によるブックトークやアニメーションなどの読書・学習支援の実施、調べ学習の促進など、さまざまな成果が出ています。学校司書の派遣により、小・中学生の学校での読書活動の現状を把握し、学校側と協力しながら学校図書館の整備や蔵書の充実などにも努めています。

さらに、市のマイクロバスを活用した小学校からの校外学習の受入を行っていましたが、令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症拡大で、大人数でのマイクロバスの利用が難しくなった為、図書館職員が直接学校に出向き、図書館の利用方法等を児童に説明する「出前授業」も取り入れながら、図書館活用のきっかけづくりをしています。また、中学校からの職場体験の受入※3、夏休みの高校生ボランティアの受入※4も積極的に行なうことで、図書館についての知識と理解を深めてもらい、学校でその体験を生かしてもらうことで、児童生徒の図書館への関心の向上などにつながることを期待しています。



テラスであそぼう！（おはなし会）

※3 中学校の職場体験は令和2年度以降は、実施されていません。

※4 夏休み高校生ボランティアの受入は、令和2年度は夏季休業短縮のため募集していません。

③ 民間団体等

岩出市では、読み聞かせや紙芝居、朗読などを行う子供の読書活動推進に取り組んでいるグループが数多くあります。グループごとに、市内各小学校で始業前に読み聞かせやストーリーテリングをしたり、放課後に紙芝居や手遊び、絵本の読み聞かせなどを行っています。また、市内6ヶ所の学童保育所（ホープいわで、ホープやまさき、ホープやまさき北、ホープねごろ、ホープかみいわで、ホープちゅうおう）で毎月1回読み聞かせを行い、子供たちに本を読む楽しさを伝え、本を好

きになる心を育てる活動を広げています。

岩出図書館では、各グループへ図書資料の団体貸出、大型絵本や大型紙芝居の貸出、養成講座の実施、活動場所の提供などの活動支援を行うとともに、企業や行政による補助や助成、各種講座等の情報提供も行っています。

また、令和3年度には、公益財団法人吉村奨学会からの寄付金を活用し、岩出図書館児童書架に児童図書のベストセラーや人気本を集めた「吉村こども文庫」を設置しました。

④ 保育所（園）・認定こども園・幼稚園

保育所（園）・認定こども園・幼稚園では日常の保育の中に読み聞かせの時間を積極的に取り入れています。

各保育所等では、絵本コーナーを設け、家庭へ絵本の貸出を行っています。保育所等の蔵書には限りがあることから、読み聞かせ等の絵本などは団体貸出として岩出図書館から貸出しています。絵本の貸出や読み聞かせなどを通じて、保護者の絵本への関心が高まり、家庭での読み聞かせの習慣が浸透してきています。

⑤ 学校等

小学校では、朝の読書やボランティアによる読み聞かせ等、各校で工夫して実施しています。また、各教室には学級文庫を設置しており、身近に本を置くことで簡単に手に取り、子供たちが読みたい時に読めるようになっています。

中学校では、朝の読書の取組を継続的に実施したり、小学校同様教室に学級文庫を設置している学校もあります。クラブ活動の一環として年に1回、岩出図書館で絵本の読み聞かせを行っている学校もあります。

小学校、中学校に共通して、うちどくの記録が夏休みの宿題となっており、学校と図書館が協力して、学校から選ばれたうちどくの記録を図書館で展示しています。

また、市内小学校6校、中学校2校に学校司書を派遣しています。岩出図書館に勤務する司書が学校司書として各学校に週1回のペースで勤務し、図書館と学校、教職員と学校司書が連携しながら学校図書館の環境整備、読み聞かせやブックトーク、アニメーションの実施など児童生徒の読書・学習支援、教職員（学校）への読書・学習活動支援を行なっています。ふだん図書館で勤務している司書を学校に派遣することで、学校と図書館の連携がより緊密になり、学校図書館と公共図書館の蔵書の把握をスムーズに行うことができ、調べ学習の促進など、さまざまな成果が出ています。さらに、小・中学生の学校での読書活動の現状を把握し、学校側と協力しながら図書館の利用促進などにも努めており、図書委員や読書クラブなどの活動も活発になっています。

中学校においては、岩出図書館が開催する「中高生ビブリオバトル岩出市大会」に、教職員と学校司書のサポートのもと、生徒がバトラーとして参加し、チャンプ本に選ばれたバトラーは岩出市代表として和歌山県立図書館で開催される和歌山県大会の決勝に参加しています。

その他、図書館資料をはじめ様々な情報を活用した調べ学習を通じて、児童生徒自らが考え、判断し、表現する力を育むことを目的に、「図書館を使った調べる学習コンクール」の岩出市地域コンクールを実施しています。毎年、最優秀賞、優秀賞、奨励賞に選ばれた作品を全国コンクールに出品しています。

高校では、毎年、夏休みボランティアが図書館で活動しています。那賀高等学校、貴志川高等学校、粉河高等学校の3校の学生と、令和3年度からは、3校以外の高校生にも募集を広げ、社会奉仕を通して、公共図書館についての理解と関心を深めてもらえるように努めています。また、校内でビブリ

オバトルが実施されるなど、読書を通して人と本を知る楽しさを伝える活動が広がっています。岩出図書館が主催する「中高生ビブリオバトル岩出市大会」にも市内在住・在学の生徒がバトラーとして参加しており、令和4年度までに、2名の岩出市代表のバトラーが和歌山県大会の決勝でチャンプ本に選ばれ、全国大会への参加実績もあります。

⑥ 障害のある子供

岩出図書館では、子供の障害の状況に応じた本や点字本、録音図書、さわる絵本、図書館ボランティアの協力で手作りされた布絵本などを提供し、子供の読書活動を積極的に推進しています。

また、令和2年度から開設している岩出市電子図書館「いわでe-Library」では、文字の拡大や、音声読み上げ等の機能がある電子書籍を所蔵し、読書の可能性が広がるよう努めています。

毎週日曜日には読み聞かせボランティアの協力を得ておはなし会を開催し、申請があれば対面朗読室での朗読サービスの提供が可能です。特別支援学校等の校外学習等の受入なども行なっています。

その他にも、読み聞かせボランティアが小学校や、児童発達支援事業所で読み聞かせを実施しており、子供たちへのサポートを行っています。

2 子供の読書活動を推進するための読書環境の整備・充実

① 図書館・図書室の整備・充実

岩出図書館では、地域密着型図書館として、分館、分室との配本サービスやインターネット予約などのサービスを行っています。なお児童図書コーナーでは、うちどくコーナーや、ヤングアダルトコーナーの充実、季節に応じたブックリストの設置、令和3年度には新たに、児童図書のベストセラーや人気本を集めた「吉村こども文庫」の設置を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策として、図書消毒機や飛沫防止パーテーション、サーマルカメラを設置しました。さらに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により、ICタグシステムを導入しました。図書の自動貸出機（岩出図書館2台、駅前ライブラリー1台、総合保健福祉センター1台）と自動返却機（岩出図書館のブックポストに1台、カウンターに1台）を設置したことで、カウンターでの混雑緩和や接触機会の軽減につながるとともに、岩出図書館にICゲートを設置したことで書架へ本の持ち込みが可能になり、利用者への利便性の向上につながりました。

また、大会議室と小会議室にインターネット回線を設置し、対面イベント等を中止せざるを得ない場合、オンライン方式のイベントに変更し実施できるようにしました。令和2年12月から開設したインターネット上でいつでも電子書籍を読むことができる、岩出市電子図書館「いわでe-Library」も含め、コロナ渦であっても、子供たちが、安心・安全・便利に図書館を利用でき、読書活動が継続していけるように努めています。

駅前ライブラリーでは、駅に隣接した立地を生かし、中高生向けのライトノベルコーナーを充実させ、平成29年度からは、高校生向けに大学入試過去問題集コーナーを設置し、図書館の利用促進と学力向上を図っています。また、総合保健福祉センター図書室は、近隣の小学生が多く来館するため、人気のあるジャンルの本を多く取り揃えるなど、立地や来館する子供の年齢層に応じた図書の配置と、子供たちが落ち着いて本を読めるような読書スペースの工夫をしています。中央公民館図書室では、持ち込みによる自習ができ、大学入試過去問題集のバックナンバーも所蔵しているので、学習目的の子供たちの利用が増加しています。

その他にも、岩出のふるさと絵本や民話など和歌山県に関する資料も積極的に収集しており、次代を担う子供たちに郷土の歴史・文化に対する関心や理解を深めてもらい、より一層の郷土愛をも

ってもらえるように努めています。

岩出図書館の館内は、ユニバーサルデザインを採用しており、子供たちが利用しやすいように、児童用トイレや児童用の閲覧席、児童用の本の検索機等を設置し、親子での滞在がより快適なものになるように、授乳室や、おむつ交換台、ベビーチェアを設置しています。リーディングトラッカーやコミュニケーションボードを気軽に利用してもらえるようカウンターに配置しています。点字ブロックや耳マーク、車いす、多目的トイレを設置し、障害のある子供も安心して利用できるような環境の整備に努めています。

岩出図書館における蔵書冊数、および児童書の蔵書冊数（令和3年度末現在）

蔵書冊数	うち児童書の蔵書冊数
349,596冊	96,202冊

② 学校図書館の整備・充実

学校司書が週1回勤務し、日本十進分類法（NDC）に基づいた配架とわかりやすい書架見出しやラベルの作成など、児童生徒が自分で本を探せるような整備を進めています。また、閲覧机や書架のレイアウト変更を行なうことで、学校図書館機能の充実につながったという学校が多くありました。蔵書全体の構成を確かめ、図鑑などの参考図書や調べ学習に役立つ図書など、読み物だけでなく幅広い分野の図書を充実させたほか、司書教諭、図書担当教職員と学校司書が情報交換しながら、魅力的な蔵書づくりに努めています。

③ 子供読書活動推進体制の整備・充実

平成20年度から図書館・学校・民間団体・行政等からなる「子供読書活動推進会議」を開催しており、関係機関、行政がそれぞれ子供たちの読書活動を推進させるという同じ目的をもって会議を開催し、本計画の策定についての検討も行なっています。併せて、図書館職員研修や学校司書研修等に積極的に参加しており、図書館司書のスキルアップに努めています。

3 子供の読書活動に関する理解と関心の普及

平成30年3月に制定された「第3次岩出市子ども読書活動推進計画」をウェブサイトに掲載し、各関係機関に冊子の配付、周知を行いました。

図書館では、「こどもの読書週間」（4月23日～5月12日）や平成21年に制定した「岩出市子ども読書の日」（3月の第3土曜日）だけでなく、年間を通じて子供のイベントを実施しており、子供用ウェブサイトによる利用案内やそれぞれの発達段階に応じたブックリストを配付するなど、子供たちに読書活動についての理解を深め、関心をもってもらえるよう努めています。

さらに子供だけでなく、子供の読書活動の機会の充実、読書の習慣化に大きな役割を果たす保護者に対しても、子供の読書活動の重要性の周知や図書館のPRを行っています。



小学校への出前授業

第3章 子供の読書活動の現状と課題

1 アンケートに見る子供の読書活動の現状

(1) 乳幼児の家庭における読書

乳幼児の家庭での読書の様子を把握するため、乳幼児健康診査時（7か月児と1歳8か月児）と市立保育所1ヶ所（1歳児～5歳児）の保護者にアンケートを実施しました。親子読書支援事業に関する調査を行う為、今回新たに1歳8か月児の保護者と、事業を開始した年度に1歳8か月児であった3、4歳児に、親子読書支援事業に関する項目を追加しアンケートを実施しました。7か月児と1歳8か月児の保護者では、子供と一緒に本を見たり、読んだりする機会は、「よくある」「時々ある」を合わせると、7か月児は、76%、1歳8か月児は94%となり、家庭で本を読んであげている保護者が多いことがわかります。「子供に本を読んであげることが大切」と考えている保護者は7か月児と1歳8か月児とも、約90%で、乳幼児の保護者の本に対する意識は高いようです。

保育所児の保護者アンケートでは、自分の子供は、「本が好き」と答えた人は93%で、前回の91%とほぼ変わらない結果でした。子供に読み聞かせをする機会をもっている保護者は86%で、その60%以上が母親だと答えています。子供が読む本について28%の家庭で話し合う機会があるという回答で、あまり話し合わない家庭の割合が増えている結果があるなかで、95%の保護者が子供に本を読んであげるのは大切だと答えています。子供に読んであげる本は、「絵本」47%、「乗り物、虫、動物などの本」17%、「読み物、昔話」10%となっており、絵本がよく読まれています。また、本の入手方法は、書店で購入が54%、図書館で借りるが32%でした。

また、子供の読み聞かせの際に、電子書籍を利用したことがあるかについては、7か月児、1歳8か月児、保育所児の保護者とも、約90%が「利用したことがない」と回答しました。電子書籍と、子供の読書についてどう思うかについては、どの保護者とも、約半数以上が「電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい」と回答し、最も多くなりました。また、岩出市電子図書館「いわでe-Library」を利用したことがあるかについては、どの保護者とも「利用したことはないが利用してみたい」という回答が最も多くなりました。

1歳8か月児対象の親子読書支援事業（すくすく読書）で、絵本プレゼント引換券を持って図書館へ本を受け取りに行った保護者は、1歳8か月児は「これから行くつもり」が63%と最も多く、受け取りに行っていない理由としては「時間がない」が最も多くなりました。この事業を開始した年度に1歳8か月児であった3、4歳児にも同じアンケートを取ったところ、1歳8か月児健康診査で引換券を受け取った後、絵本を受け取りに行っていた人が半数であったことが分かりました。

図書館の利用については、7か月児、1歳8か月児とも「利用しない」が74%、61%と最も多く、保育所児は、前回は「月に1、2回程度の利用」が44%と最も多かったことに対して、今回は「利用しない」が43%と最も多くなり、あまり図書館が利用されていないことが分かりました。また、おはなし会や映画会等の図書館の子供向け行事の参加に関しても、どの年齢の子供も「参加したことがない」が最も多くなっています。第3次計画策定時と比べると、この5年間で子供と一緒に本（絵本）を見たり、読んだりする機会には、あまり変化はありませんが、図書館の利用率は下がっています。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛による影響も一因していると考えられますが、子供に対するサービスの充実や、行事等の

PRを積極的に行います。

（２）小学生の家庭と学校における読書

小学生の家庭での読書の様子を把握するため、小学校３年生と６年生の子供とその保護者に対しアンケートを実施しました。３年生、６年生の「よく読む」「ときどき読む」を合わせると、３年生で６０％以上が、６年生では約５０％が本を読んでいます。電子書籍の利用については、３年生では８３％、６年生では７５％と、「読まない」が最も多くなりました。保護者に対して、子供の読み聞かせの際に、電子書籍を利用したことがあるかについては、乳幼児の家庭と同様に、約９０％が「利用したことがない」と回答し、電子書籍と、子供の読書についてどう思うかについても同様に、約半数以上が「電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい」と回答し最も多くなりました。また、保護者が電子書籍を利用して読み聞かせをしたことがある場合、したことがない家庭に比べて、子供の電子書籍の利用頻度の割合が高くなりました。

学校図書館の利用については、３年生では第３次計画策定時同様「休み時間」が最も多く、６年生では、第３次計画策定時と比べて「行かない」が３７％から４５％に増加し、最も多くなりました。学校図書館に読みたい本があるかについては、３年生は「たくさんある」が４０％ありますが、６年生では３年生に比べると満足度が下がっており、図書館から足が遠のく高学年に対して、魅力ある蔵書や図書館の機能の充実を図ることで、学校図書館の存在をアピールしていく必要があります。岩出図書館から学校図書館に司書が来ていることによる子供たちの学校図書館への気持ちの変化としては、３年生、６年生とも、「調べ物がしやすい」が最も多く、学校司書の派遣により、子供たちの校内読書活動の推進に一定の成果が出ているとみられます。岩出図書館の利用について、「よくする」「ときどきする」の回答をあわせると、第３次計画策定時と比べて、３年生は６９％から５６％に、６年生も６０％から４９％に減少しています。

保護者に対する質問では、本を「よく読む」と答えた保護者の子供は５９％が本を「よく読む」と答えており、本を「読まない」と答えた保護者の子供は２０％しか本を「よく読む」と答えませんでした。今まで子供と一緒に本を読んだり、読んであげたりしたことがあるかについて、「ある」「時々ある」を合わせると、９０％以上になり、多くの人が子供と本を読んだ経験があることとなります。また、よく読み聞かせをしていた家庭の子供の読書頻度の割合は高い傾向にあり、家庭での読み聞かせの習慣が子供の読書に表れています。

子供が本を読むことについても「良いことだと思う」が９３％あり、子供が本を読むことが大切だと考えられています。また、子供が読書を楽しむために必要なことについては、３年生、６年生とも「図書館に行く」が最も多く、３年生については、次いで「親子で本を読む」が高くなっています。読書環境を整え、読書習慣を身につけることが大切であると意識されていることがわかります。学校司書の派遣については、約７０％の保護者が「いいことだ」と答えており、今後も学校司書の活動を積極的にPRしながら、子供の読書活動推進において家庭・学校・図書館間の相互協力を強める必要があります。

（３）中学生の家庭と学校における読書

中学生の家庭での読書の様子を把握するため、中学２年生の生徒と保護者に対し、アンケートを実施しました。本を「よく読む」「ときどき読む」を合わせると２３％で、第３次計画策

定時の27%より減少しています。本を読まない理由は、「読みたい本がない」が41%と最も多く、「読むのが嫌い」という理由が22%と続いています。中学生へのスマートフォンなどの普及で、読書より興味のあることがあり、そのことに時間を費やしていることも本を読む生徒の減少の理由として考えられます。

電子書籍を読むかについては、「よく読む」「ときどき読む」を合わせると中学生は22%で、小学3年生は6%、小学6年生は14%となっていることから、学年が上がるにつれて、電子書籍の利用頻度の割合が高くなっています。電子書籍と、子供の読書についてどう思うかについては、61%が「電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい」と回答し、最も多くなりました。

学校図書館には「ほとんど行かない」が77%と第3次計画策定時と同様最も多くなっており、中学校での学校図書館の存在感の希薄さが浮彫りになっています。学校図書館に読みたい本があるかについては、小学校に比べて満足度が低くなっており、今後より一層、学校司書と学校が連携し、中学生の読書要求に応え、学校図書館の機能を充実させていく必要性があります。岩出図書館の利用についても、小学生に比べると「ほとんどない」「したことがない」の割合が増え、小学生に比べて岩出図書館を利用していないことがわかります。保護者に対する質問では、保護者が本を読んでいる場合、子供の読書頻度の割合は、本を読まない保護者の子供に比べて、高いことがわかりました。また、よく読み聞かせをしていた家庭の子供の読書頻度の割合は小学生と同様高い傾向にあり、家庭での読み聞かせの習慣が子供の読書に表れています。

子供が本を読むことについても「良いことだと思う」が97%あり、子供が本を読むことが大切だと考えられています。

＊令和3年11月アンケート実施。アンケートの調査の集計結果については、参考資料に掲載しています。

(4) 成果・課題

第3次計画策定時と比べると、この5年間で子供の読書率や、図書館の利用率、図書館でのイベントの参加率は下がっており、子供の読書活動は減少しています。その一因として近年、スマートフォンやタブレット端末等の普及によるライフスタイルの変化により、大人も子供もSNSやゲームアプリなどの利用に時間を費やしている傾向にあり、読書する時間が減少している現状がうかがえます。また、第3次岩出市子供読書活動推進計画期間中に、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、令和元年度末からの約2年間は、図書館の臨時休館、学校の臨時休業、読み聞かせ会等のイベントの中止などがあり、子供の読書活動のための取組が計画どおりに実施できない時期がありました。アンケート調査を実施した時期がコロナ渦であったこともあり、図書館の利用率と図書館でのイベントの参加率の減少に影響があったものと考えられます。

1歳8か月児対象の親子読書支援事業（すくすく読書）については、断続的な図書館利用の促進と、更なる読書習慣へつながるきっかけづくりとなるよう、事業の啓発、そして健診の日に合わせて、会場の2階にある総合保健福祉センター図書室（岩出図書館分室）で絵本を受け取ることができるようにし、身近な図書室から親しんでもらうことで、いずれは岩出図書館への利用に繋げていけるような事業にしていきたいと考えています。

学校図書館については、学校司書の派遣により、学校図書館の存在感が高まり、子供たちの校内読書活動が活発化しています。図書館資料を活用した調べ学習の支援や、授業展開に合っ

た教材を岩出図書館や学校図書館から選書し提供することで、子供たちの学習活動が広がっています。読書環境の面でも、機能充実や蔵書の工夫により、子供たちの身近な読書環境の整備が進んでいます。現在、岩出図書館から市内小学校6校、中学校2校に学校司書を1校につき年間37回派遣していますが、今後は、岩出図書館がリードしながら、学校の要望に基づき、さらに学校司書派遣事業を充実させ児童生徒の読書力・学力向上に努めていきます。

電子書籍については、学年が上がるにつれて、電子書籍の利用頻度の割合が高くなっています。電子書籍と、子供の読書については、どの保護者も電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよいという思いをもっており、電子書籍の利用に前向きな思いを持っていることが分かりました。電子書籍の普及に伴い、子供には目的やシチュエーションに応じて紙の本と電子書籍のどちらも活用しながら、読書活動を続けていってほしいという保護者の願いがうかがえました。

これから子供の読書活動を推進していくためには、インターネットなど様々な媒体を使用することを含めて考えていく必要があります。様々な媒体を使って文章に親しみ、発達段階に合わせ、読む力や感性が育まれるよう取り組みます。

また、障害のある子供の読書活動については、岩出市電子図書館「いわで e-Library」を活用し、文字の拡大や音声の読み上げ機能のある電子書籍を取り入れながら、豊かな読書活動ができるよう、障害に応じた配慮に努めていきます。

また、保護者へ「家庭における読書の大切さ」を啓発していくことが必要です。アンケート調査の結果からも分かるように、よく読み聞かせをしていた家庭の子供の読書頻度の割合は高い傾向にあります。また、本をよく読む保護者の子供は本をよく読む割合が高い傾向にあります。読書習慣は、乳幼児期から日常の生活を通して形成されるものなので、乳幼児から発達段階に応じて読み聞かせを習慣的に行っていくことが大切です。また、家庭で親が率先して読書の時間を設けて本に親しむ姿を示したり、親子で図書館を利用して本についての話題を共有したりすることは、生涯にわたる読書習慣の形成につながる有効な取組と言えます。そのためには、本との良い出会いを持ち、図書館をすべての子供が身近に感じられるよう、興味、関心を持つ図書資料の充実と図書利用のPRを図っていく必要があります。教育委員会、学校、図書館等、それぞれが求められる役割を果たし、子供の読書活動推進に取り組むとともに、連携・協力し、社会全体で必要な体制の整備に努めていかなければなりません。子供をとりまく全てのものが、子供の読書の重要性を認識し、さまざまな手段を講じて、子供の目を本に向けさせる活動を、根気よく、粘り強く続ける努力をしていくことが必要です。

2 岩出図書館の利用状況の推移

岩出図書館の入館者数

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
198,244 人	191,143 人	119,208 人	127,478 人

岩出図書館における貸出冊数、および子供（0歳～18歳）の貸出冊数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
貸出冊数	426,191 冊	421,874 冊	306,593 冊	326,831 冊
うち子供の貸出冊数	113,448 冊	112,598 冊	67,925 冊	76,005 冊

第4章 第4次計画における子供の読書活動推進のための方策

1 家庭・地域・学校における子供の読書活動の推進

(1) 家庭・地域における子供の読書活動推進

① 家庭における子供の読書活動の推進

読書習慣は日常の生活を通して形成されます。読書が、家庭生活の中に習慣として位置づけられ継続されるよう保護者の配慮が望まれます。家庭においては、保護者が子供に読み聞かせをしたり、子供が本を読むのを聞いたり、子供と一緒に本を読んだり、読んだ本について会話したりするなど、家庭の事情に即して子供が読書と出会うきっかけをつくることが大切です。そうしたきっかけづくりとして、図書館の利用や、乳幼児期からの家庭での読み聞かせの大切さを伝えていくことが重要です。また、図書館へ来館しなくても利用できる岩出市電子図書館「いわでe-Library」は音声の読み上げ機能等がついた絵本など、電子書籍ならではの魅力があり、気軽に読書を楽しむことができます。親子で絵本に親しみ、読み聞かせが習慣化するように、読書支援を行なうことで、小学生からのうちどく活動にスムーズに移行していくことができます。地域において、図書館や学校、公民館、子育て支援センターなどの関係機関、民間団体等が連携し、子供の発達段階に応じて読書の楽しさを知ることができるように、乳幼児健康診査時に絵本を配付するブックスタート事業や、絵本の読み聞かせ、絵本の紹介リーフレットを手渡すなど、読み聞かせボランティア等の協力を得て、親子での読書支援の取組を進めていきます。

〔具体的な取組〕

- ブックスタート事業として、4か月健康診査時に対象者へ絵本を配付し、絵本の大切さとブックスタートについて説明します
- 4か月健康診査時に読書推進の啓発チラシ配布、1歳8か月児健康診査時に朗読ボランティアによる絵本の読み聞かせや、会場の2階にある総合保健福祉センター図書室（岩出図書館分室）で絵本を受け取ることができるようにします
- ブックリストを作成し、保護者等に向けて、子供の発達段階に応じた本や絵本を紹介します
- 保育参観時や就学时健康診断、図書館イベント時などの保護者が集まるさまざまな機会に、乳幼児期からの家庭での読書の大切さを啓発するとともに、読み聞かせの習慣化に向けた取組をします
- 家庭力の向上と子供の読書活動の活性化を促進するため、家族ふれあい読書推進事業（うちどく）を市内の各小・中学校と連携しながら推進します
- 新型コロナウイルス感染症対策として来館しなくても貸出が可能な岩出市電子図書館「いわでe-Library」の利用促進を図ります

② 図書館・図書室における子供の読書活動の推進

図書館は、子供たちが自分の読みたい本を自由に選び、本の楽しさを知ることができる場所であり、大人にとっても子供と一緒に本を選んだり、子供の読書について相談することのできる場所です。子供の読書活動を推進していく上で、図書館は地域の読書活動の拠点である施設といえます。図書館を拠点として、地域での子供読書活動を活発に推進していくには、おはなし会の実施、子供の本の展示、ビブリオバトルなど様々なイベントを展開していくことが望まれます。分館、分室では、利用する子供の年齢層や読書傾向に配慮した図書の配置を進め、立地条件などを

生かした利用促進を図ることが重要です。また、学校との連携を図るとともに、学校司書の派遣を通して、学校での図書館資料の活用や調べ学習などに協力し、児童生徒を積極的に受け入れ、図書館の利用を促進していきます。

〔具体的な取組〕

- 図書館ボランティア等の協力を得て定期的におはなし会を実施します
- 子供たちに興味をもってもらえるような季節、行事に合わせた本の展示やイベントを開催します
- 調べる学習コンクールを周知し、調べ方や書き方の参考にしてもらえるよう図書館で作品を展示します
- イベントのチラシやブックリスト、新刊情報などを学校を通じて配付し、図書館利用を促進します
- 保護者等に向けて、子供の発達段階に応じた本や絵本を紹介します
- 子供の年齢に応じた読み聞かせを実施します
- 分館、分室の立地条件や館内環境を生かし、利用する子供たちの年齢層や読書傾向に配慮した利用促進事業を実施します
- 保育所（園）や認定こども園、幼稚園、小学校の図書館見学、中学生の職場体験学習、高校生の夏休みボランティアや就業体験、出前授業、教職員の研修等を種々受け入れます
- 就学時健康診断時に、保護者に向けて子供の読書の重要性を訴え、家庭での読書推進を啓発します
- 保育所（園）、認定こども園、幼稚園、小・中学校や各ボランティア団体に大型絵本・大型紙芝居や本の団体貸出を行います
- 図書館ボランティアや学校図書館ボランティアのスキルアップのための養成講座を実施します
- 企業や行政による補助や助成など、民間団体活動に関する情報の収集・提供や相談を実施します
- 子供の読書に関するレファレンスサービスを充実させます
- 岩出市広報や図書館ニュース、学校等を通して、子供の読書啓発チラシの配付など子供の読書に関する情報を発信します

③ 民間団体等による子供の読書活動の推進

岩出市には読み聞かせや紙芝居などを行う子供向けグループ、読書会などを行う子供の本の研究グループといった、子供や子育て中の保護者等を支援するための活動を行うグループがあり、それぞれ独自に子供の読書活動の推進に熱心に取り組み、子供が読書に親しむ機会を提供するなど地域に根ざした活動を行っています。こうした団体等が活動を展開するうえで課題となる子供の読書に関する相談や図書資料・活動スペース等について、図書館等の支援・協力が望まれます。民間団体の活動に対する支援では、引き続き図書館において大型絵本や大型紙芝居の貸出を行い、読み聞かせボランティア等への活動を支援するとともに、情報提供等を行っています。

〔具体的な取組〕

- 民間団体等に対して図書資料の団体貸出・大型絵本や大型紙芝居を貸出します
- 民間団体等に対して活動場所の提供や情報の提供を行います
- スキルアップのための図書館ボランティア養成講座を実施します
- 民間団体等からの子供読書に関する相談に応じます

（２）学校等における子供の読書活動の推進

① 幼稚園や保育所（園）、認定こども園、子育て支援センターにおける子供の読書活動の推進

幼稚園や保育所（園）、認定こども園、子育て支援センターでは、子供たちがいつでも絵本を楽しめるように自分の手の届く場所に絵本を配置したり、保育士等による読み聞かせが日常的に行われることから、子供たちが生活の中で絵本を読んでもらう楽しさを知ります。そのため、幼稚園や保育所（園）、認定こども園、子育て支援センターにおいては、子供たちが絵本や物語に親しむ活動を積極的に行うことが必要です。また、保護者に対しても子供と絵本を読む楽しさ、心地よさ、家庭での読み聞かせ等の大切さ、意義を積極的に伝えていく必要があります。

〔具体的な取組〕

- ボランティアの協力を得て、読み聞かせなど本に親しむ活動を実施します
- 団体貸出などを活用して多様な本と出会う機会の確保に努めます
- 保護者等に対し、読書推進を啓発します
- 保育士等のスキルアップのため、子供の読書活動推進に有効な資料や情報を収集し、実践します
- 岩出図書館から、おはなし会の案内等子供の読書活動推進に有効な資料や情報を保護者に提供します

② 児童生徒の読書習慣の確立・読書指導の充実

学校では子供たちの日常の学習活動等を通して、一人ひとりに望ましい読書習慣の形成を図ることが求められます。幼児期や小学生期における良質な本との出会いは、読書に対する興味・関心を広げます。中学生・高校生期における読書は、自我の確立に大きな影響を与えるものであり、それぞれの発達段階に応じた読書活動を展開する必要があります。

学校司書派遣事業については、学校の要望を取り入れながらさらに充実を図ります。そのためには、子供たちのニーズを把握しつつ、質の高い本、学習に役立つ本を収集し、適切な図書資料を提供するとともに、計画的・継続的な読書活動の促進に努めるよう学校全体で取り組んでいく必要があります。司書教諭や図書担当教職員、学校司書が連携して、児童生徒の読書意欲を高めるよう細やかな読書指導を進め、児童生徒の知識を吸収する欲求に応じて、本を手にすることをすすめる、本を読むことをすすめる役割を強く意識し、学校での子供の読書活動の推進に努めていきます。

また、保護者等や学校図書館ボランティアの参加、図書館との協力など、家庭や地域との連携による読書活動の推進に努める必要があります。

〔具体的な取組〕

- 岩出図書館から市内小学校６校、中学校２校に学校司書を１校につき年間３７回派遣していますが、今後は岩出図書館がリードしながら、学校の要望に基づき、さらに学校司書派遣事業を充実させ児童生徒の読書力・学力向上に努めます
- 朝の読書などによる、学校全体で取り組む読書活動を促進し、読書習慣を確立します
- ブックリストや推薦図書の紹介、図書館の新刊情報の提供をします
- 団体貸出等、岩出図書館との連携を図ります
- 保護者等に対し、読書推進を啓発します

- 始業前や休み時間に、読み聞かせボランティアによる本の読み聞かせを実施します
- 放課後子ども教室で本の読み聞かせを実施します
- 学童保育所で図書館ボランティアによる本の読み聞かせを実施します
- 図書館を使った調べる学習コンクールの地域コンクールを実施します
- 学年に応じたおすすめのブックリストや教科書に関連したブックリストなどのおすすめ本リストを活用し、児童生徒が本を手に取り読書をするきっかけ作りをします
- 学校図書館と子供たちを結びつけるために、読書相談や調べ学習の充実を図り、情報活用能力を育てます
- 子供たちへの読書指導と学校図書館の利用指導、図書委員や図書系の活動を支援します
- 学校・学校司書・図書館・地域が協働して、児童生徒の読書活動推進を実施します

(3) 障害のある子供の読書活動の推進

障害のある子供にとって、読書体験は情緒の安定や言語の獲得等、自立に向けての生きる力につながる大切な経験となります。それぞれの子供の障害等の状況や興味・関心に応じた本やさわる絵本、図書館ボランティアの協力で手作りされた布絵本、視聴覚資料、電子書籍等を提供し、合理的配慮に努めながら読書活動を積極的に進めていきます。

〔具体的な取組〕

- 点字本やさわる絵本、布絵本、録音図書等多様な資料の整備を充実させます
- 読み聞かせボランティアの協力を得て読み聞かせや対面朗読サービスを充実させます
- 図書館等における障害に対応した施設や設備を充実させます
- 図書館での滞在がより快適になるようなツールを気軽に利用しやすく提供します
- 読み聞かせボランティアと学校司書による特別支援学級への読み聞かせを実施します
- 図書館見学やおはなし会の開催など、要望に柔軟に対応しながら校外学習等を受入します
- 読み聞かせボランティアによる児童発達支援事業所への読み聞かせなどを実施します
- 岩出市電子図書館「いわでe-Library」で文字の拡大や音声での読み上げ機能等のある電子書籍を充実させます

(4) 家庭・地域・学校との連携による読書活動の推進

家庭・地域・学校との連携により、子供の読書活動を推進するためには、図書館だよりや保護者会等を通して、読書の意義を説明することが必要です。家庭で読書に親しむ機会を作るように働きかけたり、地域と図書館との連携を通して、読み聞かせや読書に関する講演会・イベントの実施等を行っていくことが望まれます。

〔具体的な取組〕

- 関係機関や各ボランティアグループと連携して読み聞かせなどの本に親しむ活動を実施します
- 関係機関や各ボランティアグループと連携して各種行事の開催に努めます
- 関係機関や各ボランティアグループと連携して子供が読書することの重要性を伝える活動を実施します

2 子供の読書活動を推進するための環境の整備・充実

(1) 図書館・図書室の整備・充実

図書館は、子供が学校外で本と出会い読書を楽しむことができる場であり、子供の読書活動に大きな役割を果たしています。そのため、岩出図書館、分館分室の図書資料を充実させていくとともに、感染症対策を行いながら保護者や子供が安心して利用しやすい環境整備をしていくことが必要です。また、岩出図書館は地域密着型図書館として、分館、分室との配本サービスやインターネット予約などの機能の充実や、分館、分室の立地条件や館内環境を生かした利用促進も積極的に実施し、地域における読書環境の更なる発展に努めます。また、岩出図書館キャラクターのブックろうを効果的に使用して、子供の興味関心をひきつけ、読書意欲を向上させるような工夫をします。

岩出図書館は岩出市文化文教ゾーンに位置し、ねごろ歴史の丘にもあることから、歴史、文化、観光の中心地であり、また大門池（市有地）の一部を埋め立てて建設したことにより池の水面を眺めながら、読書を楽しむことができる自然に恵まれた立地環境です。次代を担う子供たちに郷土の歴史、文化に関心や理解を深め、より一層の郷土愛をもってもらえるよう、岩出のふるさと絵本や民話、和歌山県に関する資料の収集保存に努めます。

なお、新型コロナウイルス感染症が第5類に分類されることによる影響等についてはそれぞれの課題・問題点の解消に向けた対策を進めます。

〔具体的な取組〕

- 子供の読書活動に関する図書資料や読書情報の整備・充実に努めます
- 分館、分室との配本サービスやインターネット予約などの利用を促進します
- 分館、分室の立地条件や館内環境を生かした利用促進を実施します
- 子供たちが落ち着いて本を読めるよう、児童コーナーなどのスペースを充実させます
- 10代の子供たちに興味、関心を持ってもらえるようヤングアダルトコーナーを充実させます
- 10代の子供たちの読書・学習意欲に応えられる図書の配置に努めます
- うちどくコーナーを常設します
- 岩出のふるさと絵本や民話など和歌山県に関する資料の収集、保存に努めます
- 図書館サービス向上のため、近隣公共図書館との交流、情報交換、協力貸出をします
- 子供向けウェブサイト（こどもようりようあんない・こどもページ）を活用し、貸出や予約ランキングなど読書意欲を向上させる情報を発信します
- 大学入試過去問題集コーナーを設置して、高校生の利用促進、学力の向上に努めます
- 感染症法上は、第5類に分類されますが、その時々感染状況や感染リスクに応じて図書消毒機の活用、消毒液やパーテーションの設置等、感染防止対策を講じて安心・安全な図書館運営に努めます
- 対面イベント等を中止せざるを得ない場合、オンライン方式のイベントに変更するなど、子供の読書活動が継続できるように努めます
- 岩出市電子図書館「いわでe-Library」で絵本や児童書、ヤングアダルト向けの電子書籍を充実させます

(2) 学校図書館の整備・充実

学校図書館は学校において読書を楽しむことができる場であるとともに、読書活動や読書指導の場として、子供たちの豊かな心を育み、自主的な学習活動を支援するという重要な役割を果た

しています。

学校図書館法において、学校図書館は「学校教育において欠くことのできない基礎的な設備」であり、「学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備」であるとされています。児童生徒の読書活動や読書指導の場である「読書センター」、学習活動の支援や授業の内容を豊かにしてその理解を深める「学習センター」、さらには、情報ニーズへの対応、情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター」という学校図書館の持つ3つの機能を充実させるとともに、その機能を十分に発揮できるようにしていくことが重要です。学校図書館が、児童生徒の豊かな心を育む役割を果たすことができるよう、児童生徒の発達段階等を踏まえ、教育課程の展開に寄与するような図書資料の整備を進めるとともに、岩出図書館や民間団体等との連携・協力しながら司書教諭や図書担当教職員、学校司書を中心に、すべての教職員がそれぞれに求められる役割を果たし、学校図書館を積極的に活用して主体的・対話的で深い学びの実現に役立てるなど、更なる教育活動の充実とともにその質の向上に努める必要があります。学校図書館ボランティアの支援として、知識と技術を向上させる講座などへの情報提供を行います。

〔具体的な取組〕

- 学校図書館の機能の充実に努めます
- 児童生徒が自ら資料を探ることができるように配慮・工夫します
- 児童生徒の読書意欲の喚起、調べ学習や探求的な学習に資するよう配慮・工夫します
- 図書資料の計画的な整備、充実に努めます
- 司書教諭及び教職員と学校司書との協力体制・連携の強化に努めます
- 図書館や民間団体等との連携・協力を努めます
- コンピュータを活用した情報化を促進します
- 感染症対策を講じ、学校図書館としての機能を可能な限り果たす工夫をし、児童生徒の学びをサポートできるよう努めます
- 学校図書館システムを効果的に利用し、児童生徒の読書意欲を向上させる取り組みをします
- 各学校の教職員と学校司書がそれぞれの取り組みを共有し、学校図書館の充実に努めます

（３）幼稚園や保育所（園）、認定こども園、子育て支援センターにおける読書時間確保等の工夫

幼児期からの読書習慣づくりをするために、幼稚園や保育所（園）、認定こども園、子育て支援センターにおいては、子供たちが絵本などに触れて親しむきっかけをつくるなどの読書環境づくりが大切です。子供たちが、安心して本に触れることのできる時間を確保できるよう、絵本コーナーを充実させ、保護者との連携・協力により子供たちに絵本の楽しさが伝わるような絵本を選ぶなどの工夫が必要です。また、蔵書数には限りがあるため、岩出図書館の団体貸出や大型絵本や大型紙芝居の貸出を利用するなど、子供たちが興味、関心をもつような取組が望まれます。

〔具体的な取組〕

- 子供たちが絵本を楽しめるように、絵本コーナーづくりを工夫します
- 絵本コーナーを活用し、子供たちに家庭への絵本の貸出をします
- 保護者等に、子供の発達段階に応じた本や絵本を紹介します
- 岩出図書館の団体貸出を利用し、さまざまな絵本・紙芝居等を用いて子供の興味関心を引き出

し、絵本が好きになるような読み聞かせをします

- 岩出図書館と連携して、図書館発行の読書啓発チラシの配付や、見学を行います

（４）子供の読書活動の推進に係る体制の整備

子供の読書活動を推進していくためには、子供読書にかかわる機関や民間団体等から幅広い意見を聴取し、地域社会全体で連携して子供の読書を推進する体制の整備が重要です。岩出図書館を中核施設としながら、ボランティア団体等のネットワーク化など連携・協力関係を進め、子供の読書活動を地域全体で推進する体制の整備に努めます。

〔具体的な取組〕

- 図書館、学校、民間団体、行政等からなる「子供読書活動推進会議」を開催します
- 子供の読書活動や読み聞かせ等の図書館ボランティアに関する情報を提供します
- 読み聞かせボランティア等からの読書活動に関わる相談に応じるとともに、ネットワーク化等の充実を図ります
- 総合保健福祉センターや保育所等の関係機関と地域との連携・協力を努めます
- 図書館ボランティア等の派遣を行います
- 図書館司書のスキルアップのため研修等を実施します
- 学校司書を市内小・中学校に派遣します

３ 子供の読書活動に関する理解と関心の普及

「子ども読書の日」（４月２３日）及び「こどもの読書週間」（４月２３日～５月１２日）及び「岩出市子ども読書の日」（３月第３土曜日）に、子供の読書活動についての理解を深めるとともに、子供たちが積極的に読書活動を行う意欲を高めるための事業や児童書の展示を実施しています。読書活動の意義や優れた取組、図書資料等の情報について、広報による啓発を行い、子供の読書活動を積極的に推進します。

〔具体的な取組〕

- 「子ども読書の日」「こどもの読書週間」「岩出市子ども読書の日」に様々なイベントを実施します
- 「第４次岩出市子供読書活動推進計画」の周知をします
- 子供の読書活動に関する特色ある取組等の情報収集や情報提供をします
- 子供の読書活動に関するウェブサイトの充実を努めます



中高生ビブリオバトル岩出市大会

参 考 資 料

○ 用 語 解 説 （50音順）

ICタグシステム

IC タグとは、IC チップの埋め込まれたタグ(シール)のことを指し、IC タグを図書館資料に貼付し、それぞれの資料情報を IC タグに記録することで図書館資料の管理等を行う仕組み。

アニマシオン

スペインのジャーナリストであるモンセラ・サルト（Montserrat Sarto 1919-）が、子供たちに読書の楽しさを伝えるとともに読む力を引き出すために 1970 年代から開発した、グループ参加型の読書指導メソッド。アニマシオンはラテン語のアニマ（魂・生命）に端を発し、人間の魂・生命を活性化するという意味。75 種類にまとめられた個々の手法は「作戦」と呼ばれ、物語や詩の中にわざと間違いを入れて読み聞かせた上で間違いを探させたり、あらすじをクイズにして出題したりといったさまざまなプログラムがあり、深く読む習慣、読解力、コミュニケーション能力を養うことを目指す。日本には 1997 年に刊行された『読書で遊ぼうアニマシオン：本が大好きになる 25 のゲーム』（モンセラット・サルト＝著 佐藤美智代＝訳 青柳啓子＝訳 柏書房）により紹介され、自分の考えで読み解き、伝えられる主体的な読み手を育てる試みとして注目されている。

岩出市電子図書館「いわで e-Library」

インターネットに接続したパソコンやスマートフォン、タブレット等を使って、図書館に行かなくても電子図書館所蔵の電子書籍を貸出・返却・予約等ができるインターネット上の図書館。利用できるのは、市内に在住あるいは、通勤、通学していて、岩出市立岩出図書館のカードを持っている方。

インターネット予約

家庭等のパソコンやスマートフォンから、岩出市立岩出図書館所蔵の本が予約できるサービス。利用できるのは、市内に在住あるいは、通勤、通学していて、岩出市立岩出図書館のカードを持っている方。インターネットで予約するためには、岩出図書館のウェブサイトなどでパスワードの取得が必要。

うちどく

「家読（うちどく）」とは「家庭読書」の略語で、「家族ふれあい読書」を意味する。家族みんなで読書をすることで家庭でのコミュニケーションを深めることを目的とした読書運動。

うちどくコーナー

うちどくノートに収録している、「うちどくにおすすめのブックリスト」に掲載している本や、関連する本を集めた図書館の本棚コーナー。

うちどくノート

うちどく活動をすすめるための、「わがやの「うちどく」のルール」、「書き込みノート」、「うちどくにおすすめのブックリスト」、「読書の記録」からなるA5サイズの岩出図書館発行の小冊子。ブックリストは小学1～3年生向け、4～6年生向け、中学生向けの3種類あり、市内小・中学生全員に学校を通して配付している。

親子読書支援事業（すくすく読書）

1歳8か月児健康診査対象者に絵本の引換券を配付し、来館者には親子での読書（読み聞かせ）を支援する絵本とトートバッグのプレゼント、ブックリストの配付をする。また、読書相談に応じるとともに、図書館の利用カード作成やおはなし会の案内も行い、親子での継続的な図書館利用の促進と読書の推進を図ることを目的とした事業。

学校司書

学校で勤務する司書の資格を持つ専門職員。司書教諭を補佐し、学校図書館機能の充実と活性化のために、市町村が独自に配置している。岩出市では岩出図書館に勤務している司書が、学校司書として派遣されている。

子ども読書年

平成12年（2000年）5月5日のこどもの日に、国立国際子ども図書館が開館するのを記念して、2000年を「新しい世紀に向かって、いっぱい本を読もう」という年にする国会決議が平成11年（1999年）8月になされた。参議院は村上正邦議員（国際子ども図書館設立推進議員連盟会長）、衆議員は肥田美代子議員（同議員連盟事務局長）が決議案を提案、日本の国会史上初めて、「読書」推進事業を両院で決議、採択。小渕総理大臣が所信表明を行った。

子ども読書の日

国民の間に広く子供の読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、4月23日を子ども読書の日としている。2001年（平成13）12月12日、公布・施行された。「子どもの読書活動の推進に関する法律」により定められている。

コミュニケーションボード

知的障害、聴覚障害、発達障害、精神障害などがある人のコミュニケーション支援を目的として作成された図版。指さして用いることが想定されている。

さわる絵本

視覚障害児にも絵本の楽しさを伝え、手で触れることで理解できるように工夫している絵本。

電子書籍

スマホやタブレット、PCなどの電子機器（端末）を使って読む、データ化した書籍のこと。

図書館ボランティア

主に岩出図書館で活動を行うボランティア。岩出図書館開館当初から、おはなし会・映画会の開催のほかチラシ作成や図書館の案内、布絵本の創作、本の補修、展示物の作成など様々な活動を行っている。

図書館を使った調べる学習コンクール

公益財団法人図書館振興財団が主催する図書館活用の促進と調べる学習の普及を目的としたコンクール。平成29年度から岩出市教育委員会主催で毎年、地域コンクールが実施されている。

日本十進分類法（NDC）

図書館での図書の効率的利用を図るための分類法で、アメリカのデューイ十進分類法を日本向けに改編し、1928年（昭和3）に森清が発表した。現在では全国の公共図書館や大学図書館等で採用されている。英語で表した言い方を短くして、NDC（エヌディーシー）とも呼ぶ。全ての本をその本の内容や種類によって分類しており、図書館資料の背ラベルに書いてある数字の記号は、この方法でつけられている。

ねごろ歴史の丘

ねごろ歴史資料館や旧和歌山県会議事堂（一乗閣）を中心とした、根来寺周辺の歴史と文化を伝える地域のこと。この区域内で、2017年（平成29）4月に道の駅「ねごろ歴史の丘」が認定され、岩出市の観光の中心地域となっている。

配本サービス

岩出図書館を拠点として、駅前ライブラリー、総合保健福祉センター図書室・中央公民館図書室・上岩出地区公民館図書室を結び、予約図書や返却された図書を集配するサービス。

バックナンバー

新聞、雑誌、年鑑など定期刊行物のすでに発行された古い号のこと。

ビブリオバトル

発表者（バトラー）がおすすめの本の魅力を5分間で紹介し合い、参加者全員で「1番読みたくなった本」（チャンプ本）を投票で決める書評ゲームで、知的書評合戦とも呼ばれる。2007年（平成19）谷口忠大により考案され、京都大学で行なわれたのが始まり。

ブックスタート

すべての乳児と保護者を対象に、早い時期から絵本を介してかけがえのないひとときを持つことを応援し、生涯にわたる本への愛情を育む機会を与えるために、絵本等を手渡す運動。

ブックトーク

1つのテーマに基づいて、何冊かの本を一定のシナリオに沿って紹介する技法で、聞き手自身が読書の楽しみに気づき、読書意欲を起こさせるようにすることを目的に行なわれる。

ブックリスト

ある基準や、あるテーマで選択した本を紹介する簡単な一覧。子供向けの場合、子供が本を読む手がかりになるように作られている。書名、作者、出版社等のほかに、簡単な内容紹介文をつけている。形態は、1枚の紙を折りたたんだものや、パンフレット状のもの等、様々である。

ブックろう

2016年（平成28）に開館10周年を記念して、名前を公募した、ふくろうがモチーフの岩出図書館キャラクター。

放課後子ども教室

子供の放課後の居場所づくりとして取り組んでいる事業。子供たちが放課後を安全に安心して過ごせるように、小学校の余裕教室等を活用して、地域住民（安全指導員・学習アドバイザー）と一緒に学習や企画行事（茶道、運動、お菓子作り等）をして過ごしている。岩出市では市内全小学校で、それぞれ全児童を対象に登録制で開室している。

訪問おはなし会

市内の保育所（園）、認定こども園の保育参観の日程に合わせて、読み聞かせボランティアによる読み聞かせと、家庭での読書の大切さを伝える岩出図書館の子供の読書活動推進のための啓発活動。

持ち込みによる自習

本来の図書館資料を使った調査・研究目的の調べ学習ではなく、自学・自習のために、持ち込みの資料で学習すること。

ヤングアダルト

おおむね12歳から18歳までの青年期利用者に対して、公共図書館が使用している言葉。

ユニバーサルデザイン

年齢、性別、身体的状況、国籍、言語、知識、経験などの違いに関係なく、すべての人が使いこなすことのできる製品や環境などのデザインを旨とする概念。

読み聞かせボランティア

児童、幼児に民話、創作よみもののおはなしや読み聞かせを行うボランティア。

吉村こども文庫

公益財団法人吉村奨学会からの寄付金を活用し、1,000冊余りのベストセラーや人気作家の絵本、児童書、参考図書を集めた図書館の本棚コーナー。

ライトノベル

10代から20代の読者を想定した、娯楽性の高い小説。会話を多用するなどして、気軽に読める内容のものが多く、「ラノベ」ともいう。

リーディングトラッカー

ディスレクシア（読み書き困難、読字障害等）のある人や視覚障害（視野狭窄や黄斑変性など）のある人の読書をサポートする定規のような形状の読書補助具。読みたい行だけに視点を集中し文章を読むことができ、集中して読書をしたい人にも便利。リーディングスリットやタイプスコープとも呼ばれる。

レファレンスサービス

情報を求めている利用者に対して、回答となる情報を提供したり、回答の含まれる情報源を提示、提供したりする図書館の利用サービス。



岩出図書館キャラクター ブックろう

7か月児保護者の皆様へのアンケート

◆該当するものに○をつけてください。

Q1. お子さんは絵本が好きですか。

1. 好き 2. 嫌い 3. わからない

Q2. お子さんといっしょに絵本を見たり、読んだりする機会はありますか。

1. よくある 2. 時々ある 3. あまりない

Q3. Q2で「3. あまりない」と答えた人へ・・・その理由は何ですか。

1. 時間がない 2. 必要がない 3. 子供が要求しない 4. 面倒 5. 絵本がない
6. 何を読んでいいかわからない 7. その他()

Q4. あなたは、お子さんと絵本を読む際に、パソコンやタブレット、スマートフォンを使って電子書籍を利用したことはありますか。

1. よく利用している 2. 時々利用している 3. 利用したことはない

Q5. Q4で、1・2と答えた人へ・・・お子さんと絵本を読む際に、電子書籍を利用する理由はなんですか。

1. 本を買ったり借りたりする手間がないから 2. かさばらないから 3. 子供がよるこぶから
4. その他()

Q6. 電子書籍と、子供の読書についてどのように思われますか。

1. デジタル化が進む中、紙の本も電子書籍も区別せず読めばよい 2. 電子書籍が普及しても紙の本を読ませたい 3. 状況に応じて電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい
4. その他()

Q7. 家庭でお子さんに絵本を読んであげるのは、おもに誰ですか。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. 兄姉 5. その他()

Q8. 家族間で、お子さんに読んでいる絵本や読んであげたい絵本について、話しあいますか。

1. よく話しあう 2. 時々話しあう 3. あまり話しあわない

Q9. お子さんに絵本を読んであげることは、大切だと思いますか。

1. 大切だと思う 2. あまり大切だとは思わない 3. どちらともいえない

Q10. お子さんに読んであげる絵本は、どちらで入手されますか。

1. 書店等で購入 2. 図書館で借りる 3. 電子書籍を利用 4. その他()

Q11. お子さんに読んであげる絵本は、どんな内容ですか。

1. おはなし 2. 紙芝居 3. 乗り物・虫・動物 4. 昔話 5. テレビなどのキャラクター本
6. その他()

Q12. 岩出図書館についてお聞きます。図書館はどれくらい利用しますか。

1. 週1回以上 2. 月1、2回程度 3. 年に数回 4. 利用していない

Q13. 次の図書館の子供向け行事の中で参加したことのある行事があれば、○をしてください。(複数回答可)

1. おはなし会 2. 映画(DVD上映)会 3. 1・2以外のイベント 4. 参加したことがない

Q14. 図書館のイベントで参加したいものはどれですか。

1. おはなし会 2. 映画(DVD上映)会 3. 体操など 4. リトミック 5. わらべうた・童謡
6. その他()

Q15. 岩出市在住・在勤・在学の利用者の方は岩出市電子図書館「いわで e-Library」で、読み聞かせのあるアニメーション絵本の電子書籍なども無料で貸出しています。「いわで e-Library」をご利用されたことはありますか。

1. 月1回以上 2. 半年に1回以上 3. 利用したことはないが利用してみたい 4. 利用するつもりはない

* 子供と本についての意見・感想があればお書きください。

()

ご協力ありがとうございました。

1歳8か月児保護者の皆様へのアンケート

◆該当するものに○をつけてください。

Q1. お子さんは絵本が好きですか。

1. 好き 2. 嫌い 3. わからない

Q2. お子さんといっしょに絵本を見たり、読んだりする機会はありますか。

1. よくある 2. 時々ある 3. あまりない

Q3. Q2で「3. あまりない」と答えた人へ・・・その理由は何ですか。

1. 時間がない 2. 必要がない 3. 子供が要求しない 4. 面倒 5. 絵本がない
6. 何を読んでいいかわからない 7. その他()

Q4. あなたは、お子さんと絵本を読む際に、パソコンやタブレット、スマートフォンを使って電子書籍を利用したことはありますか。

1. よく利用している 2. 時々利用している 3. 利用したことはない

Q5. Q4で、「1.よく利用している」「2.時々利用している」と答えた人へ・・・お子さんと絵本を読む際に、電子書籍を利用する理由は何ですか。

1. 本を買ったり借りたりする手間がないから 2. かさばらないから 3. 子供がよるこぶから
4. その他()

Q6. 電子書籍と、子供の読書についてどのように思われますか。

1. デジタル化が進む中、紙の本も電子書籍も区別せず読めばよい 2. 電子書籍が普及しても紙の本を読ませたい 3. 状況に応じて電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい
4. その他()

Q7. 家庭でお子さんに絵本を読んであげるのは、おもに誰ですか。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. 兄姉 5. 誰も読まない 6. その他()

Q8. 家族間で、お子さんに読んでいる絵本や読んであげたい絵本について、話しあいますか。

1. よく話しあう 2. 時々話しあう 3. あまり話しあわない

Q9. お子さんに絵本を読んであげることは、大切だと思いますか。

1. 大切だと思う 2. あまり大切だとは思わない 3. どちらともいえない

Q10. お子さんに読んであげる絵本は、どちらで入手されますか。

1. 書店等で購入 2. 図書館で借りる 3. 電子書籍を利用 4. その他()

Q11. お子さんに読んであげる絵本は、どんな内容ですか。

1. おはなし 2. 紙芝居 3. 乗り物・虫・動物 4. 昔話 5. テレビなどのキャラクター本
6. その他()

Q12. 岩出図書館についてお聞きます。図書館はどれくらい利用しますか。

1. 週1回以上 2. 月1、2回程度 3. 年に数回 4. 利用していない

Q13. 次の図書館の子供向け行事の中で参加したことのある行事があれば、○をしてください。(複数回答可)

1. おはなし会 2. 映画(DVD上映)会 3. 1・2以外のイベント 4. 参加したことがない

Q14. 図書館のイベントで参加したいものはどれですか。

1. おはなし会 2. 映画(DVD上映)会 3. 体操など 4. リトミック 5. わらべうた・童謡
6. その他()

Q15. 岩出市在住・在勤・在学の利用者の方は岩出市電子図書館「いわで e-Library」で、読み聞かせのあるアニメーション絵本の電子書籍なども無料で貸出しています。「いわで e-Library」をご利用されたことはありますか。

1. 月1回以上 2. 半年に1回以上 3. 利用したことはないが利用してみたい 4. 利用するつもりはない

アンケートは裏面に続きます

Q16. あなたは、1歳8か月健診時にもらった絵本プレゼント引換券を持って図書館へ本を受け取りにいきましたか。

1. 行った 2. 行っていない 3. これからいくつもり
4. 行くつもりがない(理由:)

Q17. Q16 で「1. 行った」と答えた人へ・・・その際、利用カードは作りましたか。

1. 作った 2. 作っていない 3. すでに利用カードを持っていた

Q18. Q16 で「2. 行っていない」と答えた方にお聞きます。本を受け取りに行かなかった理由はなんですか。(引換券を失くしていてもお子様の保険証等で対象者であることが確認出来たら絵本を受け取っていただけます。)

1. 時間がない 2. 欲しい本がない 3. 子供を図書館へ連れていくことに抵抗がある 4. 引換券を紛失
5. その他()

* 子供と本についての意見・感想があればお書きください。

()

ご協力ありがとうございました。

1、2、5歳児

保育所保護者の皆様へのアンケート

◆該当するものに○をつけてください。

Q1. お子さんは本(絵本)が好きですか。

1. 好き 2. 嫌い 3. わからない

Q2. お子さんといっしょに本(絵本)を見たり、読んだりする機会はありますか。

1. よくある 2. 時々ある 3. あまりない

Q3. Q2で「3. あまりない」と答えた人へ・・・その理由は何ですか。

1. 時間がない 2. 必要がない 3. 子供が要求しない 4. 面倒 5. 本がない
6. 何を読んでいいかわからない 7. 子供が自分で読む 8. その他()

Q4. あなたは、お子さんと絵本を読む際に、パソコンやタブレット、スマートフォンを使って電子書籍を利用したことはありますか。

1. よく利用している 2. 時々利用している 3. 利用したことはない

Q5. Q4で、1・2と答えた人へ・・・お子さんと絵本を読む際に、電子書籍を利用する理由はなんですか。

1. 本を買ったり借りたりする手間がないから 2. かさばらないから 3. 子供がよろこぶから
4. その他()

Q6. 電子書籍と、子供の読書についてどのように思われますか。

1. デジタル化が進む中、紙の本も電子書籍も区別せず読めばよい 2. 電子書籍が普及しても紙の本を読ませたい 3. 状況に応じて電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい
4. その他()

Q7. 家庭でお子さんに本(絵本)を読んであげるのは、おもに誰ですか。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. 兄弟 5. 誰も読まない 6. その他()

Q8. 家族間で、お子さんが読んでいる本(絵本)や読ませたい本(絵本)について話しあいますか。

1. よく話しあう 2. 時々話しあう 3. あまり話しあわない

Q9. お子さんに本(絵本)を読んであげるとは、大切だと思いますか。

1. 大切だと思う 2. あまり大切だとは思わない 3. どちらともいえない

Q10. お子さんに読んであげる本(絵本)は、どちらで入手されますか。

1. 書店等で購入 2. 図書館で借りる 3. 電子書籍を利用
4. その他()

Q11. お子さんに読んであげる本は、どんな本ですか。

1. 絵本 2. 紙芝居 3. 乗り物・虫・動物 4. 読み物・昔話 5. テレビなどのキャラクター本
6. 図鑑 7. その他()

Q12. 岩出図書館についてお聞きます。図書館はどれくらい利用しますか。

1. 週1回以上 2. 月1、2回程度 3. 年に数回 4. 利用していない

アンケートは裏面に続きます

Q13. 次の図書館の子供向け行事の中で参加したことのある行事があれば、○をしてください。(複数回答可)

1. おはなし会 2. 映画(DVD上映)会 3. 1・2以外のイベント 4. 参加したことがない

Q14. 図書館のイベントで参加したいものはどれですか。

1. おはなし会 2. 映画(DVD上映)会 3. 体操など 4. リトミック 5. わらべうた・童謡
6. その他()

Q15. 岩出市在住・在勤・在学の利用者の方は岩出市電子図書館「いわで e-Library」で、読み聞かせのあるアニメーション絵本の電子書籍なども無料で貸出しています。「いわで e-Library」をご利用されたことはありますか。

1. 月1回以上 2. 半年に1回以上 3. 利用したことはないが利用してみたい 4. 利用するつもりはない

*子供と本についての意見・感想があればお書きください。

()

ご協力ありがとうございました。

3、4歳児

保育所保護者の皆様へのアンケート

◆該当するものに○をつけてください。

Q1. お子さんは本(絵本)が好きですか。

1. 好き 2. 嫌い 3. わからない

Q2. お子さんといっしょに本(絵本)を見たり、読んだりする機会はありますか。

1. よくある 2. 時々ある 3. あまりない

Q3. Q2で「3. あまりない」と答えた人へ・・・その理由は何ですか。

1. 時間がない 2. 必要がない 3. 子供が要求しない 4. 面倒 5. 本がない
6. 何を読んでいいかわからない 7. 子供が自分で読む 8. その他()

Q4. あなたは、お子さんと絵本を読む際に、パソコンやタブレット、スマートフォンを使って電子書籍を利用したことはありますか。

1. よく利用している 2. 時々利用している 3. 利用したことはない

Q5. Q4で、1・2と答えた人へ・・・お子さんと絵本を読む際に、電子書籍を利用する理由はなんですか。

1. 本を買ったり借りたりする手間がないから 2. かさばらないから 3. 子供がよろこぶから
4. その他()

Q6. 電子書籍と、子供の読書についてどのように思われますか。

1. デジタル化が進む中、紙の本も電子書籍も区別せず読めばよい 2. 電子書籍が普及しても紙の本を読ませたい 3. 状況に応じて電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい
4. その他()

Q7. 家庭でお子さんに本(絵本)を読んであげるのは、おもに誰ですか。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. 兄姉 5. 誰も読まない 6. その他()

Q8. 家族間で、お子さんが読んでいる本(絵本)や読ませたい本(絵本)について話しあいますか。

1. よく話しあう 2. 時々話しあう 3. あまり話しあわない

Q9. お子さんに本(絵本)を読んであげることは、大切だと思いますか。

1. 大切だと思う 2. あまり大切だとは思わない 3. どちらともいえない

Q10. お子さんに読んであげる本(絵本)は、どちらで入手されますか。

1. 書店等で購入 2. 図書館で借りる 3. 電子書籍を利用
4. その他()

Q11. お子さんに読んであげる本は、どんな本ですか。

1. 絵本 2. 紙芝居 3. 乗り物・虫・動物 4. 読み物・昔話 5. テレビなどのキャラクター本
6. 図鑑 7. その他()

アンケートは裏面に続きます

Q12. 岩出図書館についてお聞きします。図書館はどれくらい利用しますか。

1. 週1回以上 2. 月1、2回程度 3. 年に数回 4. 利用していない

Q13. 次の図書館の子供向け行事の中で参加したことのある行事があれば、○をしてください。(複数回答可)

1. おはなし会 2. 映画(DVD上映)会 3. 1・2以外のイベント 4. 参加したことがない

Q14. 図書館のイベントで参加したいものはどれですか。

1. おはなし会 2. 映画(DVD上映)会 3. 体操など 4. リトミック 5. わらべうた・童謡
6. その他()

Q15. 岩出市在住・在勤・在学の利用者の方は岩出市電子図書館「いわで e-Library」で、読み聞かせのあるアニメーション絵本の電子書籍なども無料で貸出しています。「いわで e-Library」をご利用されたことはありますか。

1. 月1回以上 2. 半年に1回以上 3. 利用したことはないが利用してみたい 4. 利用するつもりはない

Q16. あなたは、1歳8か月健診時にもらった絵本プレゼント引換券を持って図書館へ本を受け取りにいきましたか。

1. 行った 2. 行っていない 3. 絵本を受け取れることを知らない

Q17. Q16で「1. 行った」と答えた人へ・・・その際、利用カードは作りましたか。

1. 作った 2. 作っていない 3. すでにカードを持っていた

Q18. Q16で「2. 行っていない」と答えた方にお聞きします。本を受け取りに行かなかった理由はなんですか。

1. 時間がない 2. 欲しい本がない 3. 子供を図書館へ連れていくことに抵抗がある 4. 引換券を紛失
5. その他()

*子供と本についての意見・感想があればお書きください。

()

ご協力ありがとうございました。

②小学3年生のみなさまへのアンケート

◆あてはまるものに○をつけてください。

Q1. あなたは本を読みますか。(1ヶ月間で コミック、ざっしをのぞく)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q2. Q1で、1～3とこたえた人へ・・・何をを読みますか。(いくつでも)

1. 物語 2. テーマの本 3. 学習マンガ 4. 絵本 5. その他()

Q3. Q1で、1・2とこたえた人へ・・・本を読む理由は何ですか。(2つまで)

1. 好きだから 2. いろいろなことを知ることができるから 3. 先生が読んでくれるから
4. 家族がよく本を読むから 5. 学校図書館の司書が本をしょうかいしてくれるから
6. その他()

Q4. Q1で、3・4とこたえた人へ・・・本を読まない理由は何ですか。(2つまで)

1. 読みたい本がない 2. 本が手に入らない 3. 学校図書館や図書館に行かない 4. 時間がない
5. 何を読んでいいかわからない 6. 本を読むのがきらい 7. その他()

Q5. あなたは、パソコンやタブレット、スマートフォンで、絵本や物語を読みますか。(1 か月間)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q6. Q5で、1・2とこたえた人へ・・・パソコンや、タブレットやスマートフォンで絵本や物語を読む理由はな
んですか。

1. いつでもどこでも読めるから 2. 本を買ったり借りたりしなくてもよいから
3. 文字を大きくできるなど便利だから 4. 絵が動いたり音がでるものがあり楽しいから
5. その他()

Q7. 学校図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. おしゃべり 5. 司書に会いに 6. その他()

Q8. 学校図書館へ、いつ行きますか。(いくつでも)

1. 休み時間 2. ほうかご 3. 司書がいるとき 4. ほとんど行かない 5. その他()

Q9. 学校図書館に読みたい本がありますか。

1. たくさんある 2. 少しある 3. あまりない 4. ほとんどない

Q10. 岩出図書館から学校図書館に司書が来ていることについてどう思いますか。(いくつでも)

1. 学校図書館に行きたくなる 2. 読みたいと思う本が増えた 3. 調べ物がしやすい
4. 図書の時間がもっとほしい 5. 何も思わない 6. その他()

Q11. 岩出図書館についてお聞きます。岩出図書館を利用しますか。

1. よくする 2. ときどきする 3. ほとんどない 4. したことがない

Q12. Q11 で、1～3とこたえた人へ・・・図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. 学校司書に会いに行く 5. 催し物もよおに参加する
6. CD・ビデオを借りる 7. その他()

Q13. 最近さいきん読んで面白おもしろかった本を教えてください。(コミック、ざっしをのぞく)

1. 本の題名() 2. ない

ごきょうりよくありがとうございました。

②小学6年生のみな様へのアンケート

◆あてはまるものに○をつけてください。

Q1. あなたは本を読みますか。(1ヶ月間で コミック、ざっしをのぞく)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q2. Q1で、1～3と答えた人へ・・・何をを読みますか。(いくつでも)

1. 物語 2. テーマの本 3. 学習マンガ 4. 絵本 5. その他()

Q3. Q1で、1・2と答えた人へ・・・本を読む理由は何ですか。(2つまで)

1. 好きだから 2. いろいろなことを知ることができるから 3. 先生が読んでくれるから
4. 家族がよく本を読むから 5. 学校図書館の司書が本をしょうかいしてくれるから
6. その他()

Q4. Q1で、3・4と答えた人へ・・・本を読まない理由は何ですか。(2つまで)

1. 読みたい本がない 2. 本が手に入らない 3. 学校図書館や図書館に行かない 4. 時間がない
5. 何を読んでいいかわからない 6. 本を読むのがきらい 7. その他()

Q5. あなたは、パソコンやタブレット、スマートフォンで、絵本や物語を読みますか。(1 か月間)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q6. Q5で、1・2と答えた人へ・・・パソコンや、タブレットやスマートフォンで絵本や物語を読む理由はなんですか。

1. いつでもどこでも読めるから 2. 本を買ったり借りたりしなくてもよいから
3. 文字を大きくできるなど便利だから 4. 絵が動いたり音がでるものがあり楽しいから
5. その他()

Q7. 学校図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. おしゃべり 5. 司書に会いに 6. その他()

Q8. 学校図書館へ、いつ行きますか。(いくつでも)

1. 休み時間 2. ほうかご 3. 司書がいるとき 4. ほとんど行かない 5. その他()

Q9. 学校図書館に読みたい本がありますか。

1. たくさんある 2. 少しある 3. あまりない 4. ほとんどない

Q10. 岩出図書館から学校図書館に司書が来ていることについてどう思いますか。(いくつでも)

1. 学校図書館に行きたくなる 2. 読みたいと思う本が増えた 3. 調べ物がしやすい
4. 図書の時間がもっとほしい 5. 何も思わない 6. その他()

Q11. 岩出図書館についてお聞きします。岩出図書館を利用しますか。

1. よくする 2. ときどきする 3. ほとんどない 4. したことがない

Q12. Q11 で、1～3と答えた人へ・・・図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. 学校司書に会いに行く 5. 催し物もよおに参加する
6. CD・ビデオを借りる 7. その他()

Q13. さいきん最近読んで面白おもしろかった本を教えてください。(コミック、ざっしをのぞく)

1. 本の題名() 2. ない

ご協力ありがとうございました。

②中学2年生の皆様へのアンケート

◆該当するものに○をつけてください。

Q1. あなたは本を読みますか。(1ヶ月間で コミックや雑誌を除く)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q2. Q1で1～3と答えた人へ・・・何を 읽습니다か。(いくつでも)

1. よみもの 2. テーマの本 3. 学習マンガ 4. 絵本 5. その他()

Q3. Q1で、1・2と答えた人へ・・・本を読む理由は何ですか。(2つまで)

1. 好きだから 2. いろいろなことを知ることができるから 3. 先生が紹介してくれる
4. 家族がよく本を読むから 5. 学校図書館の司書が本を紹介してくれるから
6. その他()

Q4. Q1で、3・4と答えた人へ・・・本を読まない理由は何ですか。(2つまで)

1. 読みたい本がない 2. 本が手に入らない 3. 学校図書館や図書館に行かない 4. 時間がない
5. 何を讀んでいいかわからない 6. 本を読むのが嫌い 7. その他()

Q5. あなたは、パソコンやタブレット、スマートフォンで、小説や物語を読みますか。(1 か月間)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q6. Q5で1・2と答えた人へ・・・パソコンや、タブレットやスマートフォンで小説や物語を読む理由はなんで
すか。

1. いつでもどこでも読めるから 2. 本を買ったり借りたりしなくてもよいから
3. 文字を大きくできるなど便利だから 4. 紙の本より読みやすいから
5. その他()

Q7. 自分で大切にしている、気に入った本があったら教えてください。(コミックや雑誌を除く)

1. 本の題名() 2. ない

Q8. 学校図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. おしゃべり 5. 司書に会いに 6. その他()

Q9. 学校図書館へ、いつ行きますか。(いくつでも)

1. 休み時間に行く 2. 放課後に行く 3. 司書がいるとき 4. ほとんど行かない 5. その他()

Q10. 学校図書館に読みたい本がありますか。

1. たくさんある 2. 少しある 3. あまりない 4. ほとんどない

Q11. 岩出図書館から学校図書館に司書が来ていることについてどう思いますか。(いくつでも)

1. 学校図書館に行きたくなる 2. 読みたいと思う本が増えた 3. 調べ物がしやすい
4. 図書の時間がもっとほしい 5. 何も思わない 6. その他()

Q12. 岩出図書館についてお聞きします。岩出図書館を利用しますか。

1. よくする 2. 時々する 3. ほとんどない 4. したことがない

Q13. Q12 で、1～3と答えた人へ・・・図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. 学校司書に会いに行く 5. 催し物に参加する
6. CD・ビデオを借りる 7. その他()

Q14. 最近読んで面白かった本を教えてください。(コミックや雑誌を除く)

1. 本の題名() 2. ない

ご協力ありがとうございました。

①小学生保護者の皆様へのアンケート

◆該当するものに○をつけてください。

Q1. あなたは本を読みますか。(1ヶ月間で コミックや雑誌を除く)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q2. Q1で、1～3と答えた人へ…何を读みますか。(いくつでも)

1. よみもの 2. 実用書 3. 専門書 4. その他()

Q3. Q1で、1・2と答えた人へ…本を読む理由は何ですか。(2つまで)

1. 好きだから 2. 情報や知識を得るため 3. 感性が豊かになるから 4. その他()

Q4. Q1で、3・4と答えた人へ…本を読まない理由は何ですか。(2つまで)

1. 読みたい本がない 2. 本が手に入らない 3. 図書館に行かない 4. 時間がない
5. 何を读んでいいかわからない 6. 本を読むのが嫌い 7. その他()

Q5. 子供と一緒に本を読んだり、今まで子供に昔話や本をよんであげたりしたことはありますか。

1. ある 2. 時々ある 3. ない

Q6. あなたは、お子さんと本を読む際に、パソコンやタブレット、スマートフォンを使って電子書籍を利用したことがありますか。

1. よく利用している 2. 時々利用している 3. 利用したことがない

Q7. Q6で、1・2と答えた人へ…お子さんと本を読む際に、電子書籍を利用する理由はなんですか。

1. いつでもどこでも読めるから 2. 本を買ったり借りたりする手間がないから 3. かさばらないから
4. 子供がよろこぶから 5. その他()

Q8. 電子書籍と、子供の読書についてどのように思われますか。

1. デジタル化が進む中、紙の本も電子書籍も区別せず読めばよい 2. 電子書籍が普及しても紙の本を読ませたい 3. 状況に応じて電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい
4. その他()

Q9. あなたが今まで読んだ本の中で、子供と一緒に読みたい本を教えてください。(コミック、雑誌を除く)

1. 本の題名() 2. ない

Q10. 子供が本を読むのは良いことだと思いますか。

1. 思う 2. ゲームやマンガよりはいい 3. どちらでもない 4. 思わない 5. その他()

Q11. 子供が読書を楽しむために必要なことは何ですか。また、していることはありますか。

1. 親子で本を読む 2. 本について話す 3. 図書館に行く 4. 本を購入する 5. 学校で読書の時間を増やす
6. その他() 7. 特に何もしていない

Q12. どうすれば子供がもっと本を読むようになると思われますか。

1. 図書館に行く 2. 家庭で身近に本を置き話題にする 3. 読み聞かせの機会を増やす
4. 大人が本を読む(読んでいる姿をみせる) 5. 学校で読書の時間を増やす 6. テレビやゲームの時間を減らす 7. その他()

Q13. 岩出図書館から学校図書室に司書が派遣されていることについてどう思いますか。(いくつでも)

1. いいことだ 2. 行かなくていい 3. わからない 4. 派遣されていることを知らなかった
5. その他()

Q14. 岩出図書館についてお聞きします。岩出図書館を利用しますか。

1. よくする 2. ときどきする 3. ほとんどない 4. したことがない

Q15. Q14で、1～3と答えた人へ…図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. 催し物に参加する 5. CD・ビデオを借りる
6. その他()

Q16. 子供と本についてなど、意見・感想があればお書きください。

()

ご協力ありがとうございました。

①中学生保護者の皆様へのアンケート

◆該当するものに○をつけてください。

Q1. あなたは本を読みますか。(1ヶ月間で コミックや雑誌を除く)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q2. Q1で1～3と答えた人へ…何を 읽습니다か。(いくつでも)

1. よみもの 2. 実用書 3. 専門書 4. その他()

Q3. Q1で、1・2と答えた人へ…本を読む理由は何ですか。(2つまで)

1. 好きだから 2. 情報や知識を得るため 3. 感性が豊かになるから 4. その他()

Q4. Q1で、3・4と答えた人へ…本を読まない理由は何ですか。(2つまで)

1. 読みたい本がない 2. 本が手に入らない 3. 図書館に行かない 4. 時間がない
5. 何を讀んでいいかわからない 6. 本を読むのが嫌い 7. その他()

Q5. 子供と一緒に本を読んだり、今まで子供に昔話や本を読んであげたりしたことはありますか。

1. ある 2. 時々ある 3. ない

Q6. あなたは、電子書籍を読んだことがありますか。(1ヶ月間で コミックや雑誌を除く)

1. よく読む(5冊以上) 2. ときどき読む(2～3冊) 3. あまり読まない(1冊) 4. 読まない(0冊)

Q7. 電子書籍と、子供の読書についてどのように思われますか。

1. デジタル化が進む中、紙の本も電子書籍も区別せず読めばよい 2. 電子書籍が普及しても紙の本を読ませたい 3. 状況に応じて電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい
4. その他()

Q8. あなたが今まで読んだ本の中で、子供と一緒に読みたい本を教えてください。(コミックや雑誌を除く)

1. 本の題名() 2. ない

Q9. 子供が本を読むのは良いことだと思いますか。

1. 思う 2. ゲームやマンガよりはいい 3. どちらでもない 4. 思わない 5. その他()

Q10. 子供が読書を楽しむために必要なことは何ですか。また、していることはありますか。

1. 親子で本を読む 2. 本について話す 3. 図書館に行く 4. 本を購入する 5. 学校で読書の時間を増やす
6. その他() 7. 特に何もしていない

Q11. どうすれば子供がもっと本を読むようになると思いますか。

1. 図書館に行く 2. 家庭で身近に本を置き話題にする 3. 読み聞かせの機会を増やす
4. 大人が本を読む(読んでいる姿をみせる) 5. 学校で読書の時間を増やす 6. テレビやゲームの時間を減らす 7. その他()

Q12. 岩出図書館から学校図書室に司書が派遣されていることについてどう思いますか。(いくつでも)

1. いいことだ 2. 行かなくていい 3. わからない 4. 派遣されていることを知らなかった
5. その他()

Q13. 岩出図書館についてお聞きします。岩出図書館を利用しますか。

1. よくする 2. ときどきする 3. ほとんどない 4. したことがない

Q14. Q13 で、1～3と答えた人へ…図書館には何をしに行きますか。(いくつでも)

1. 本を借りる 2. 本を読む 3. 調べもの 4. 催し物に参加する 5. CD・ビデオを借りる
6. その他()

Q15. 子供と本についてなど、意見・感想があればお書きください。

()

ご協力ありがとうございました。

アンケート結果

留意事項

※比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下第1位を四捨五入して算出しているため、合計が100％を上下している場合があります。

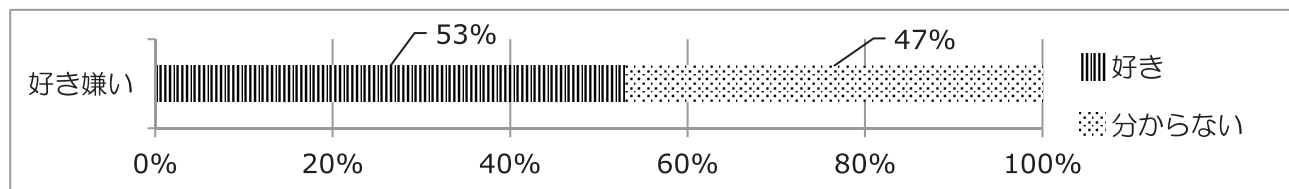
※文中の選択肢等の文言は一部簡略化している場合があります。

※意見や感想等については、書いていただいた通り記載しています。

乳幼児（7 か月）保護者

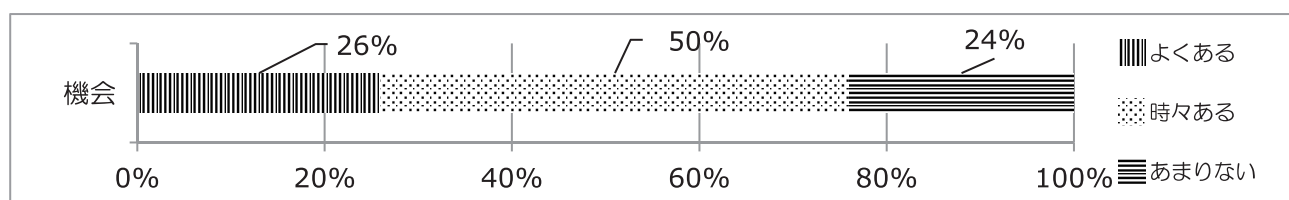
回答者数
58人

問1 お子さんは本が好きですか

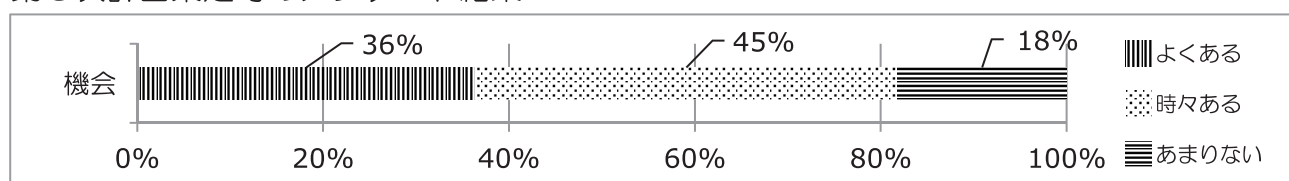


絵本が好きであるかという問いでは、「好き」が53%となっており、「分らない」が47%となっている。

問2 お子さんと一緒に絵本を見たり、読んだりする機会はありますか

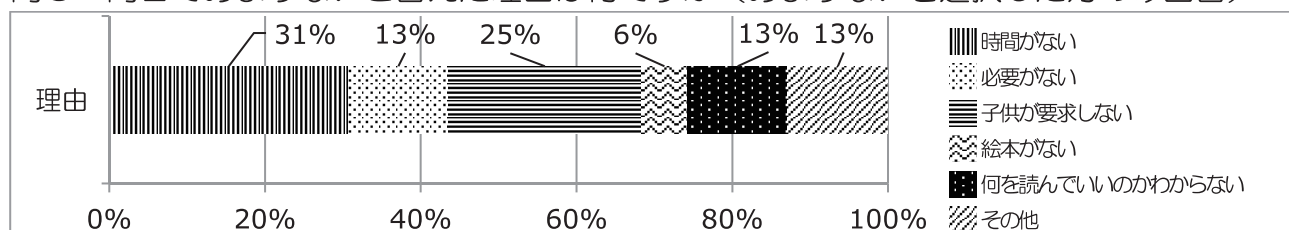


第3次計画策定時のアンケート結果



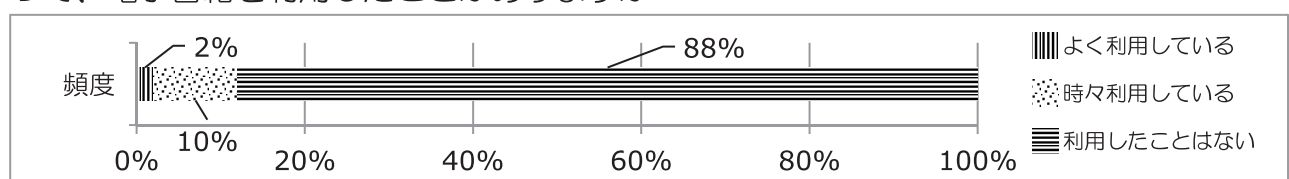
子供に読み聞かせをしているかという問いでは、第3次計画策定時では「よくある」が36%「時々ある」が45%、今回は、「よくある」が26%、「時々ある」が50%とほとんどの家庭で子供に対して読み聞かせをしていると答えている。

問3 問2であまりないと答えた理由は何ですか（あまりないを選択した方のみ回答）



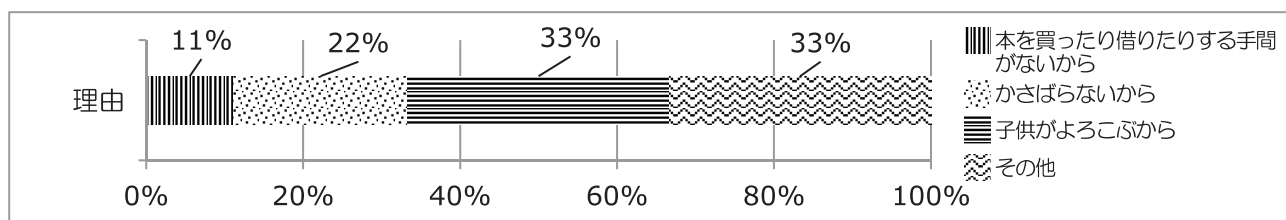
子供と一緒に絵本を見る機会があまりない理由としては、「時間がない」が31%と最も多く、次いで「子供が要求しない」25%となっている。

問4 あなたは、お子さんと絵本を読む際に、パソコンやタブレット、スマートフォンを使って、電子書籍を利用したことがありますか



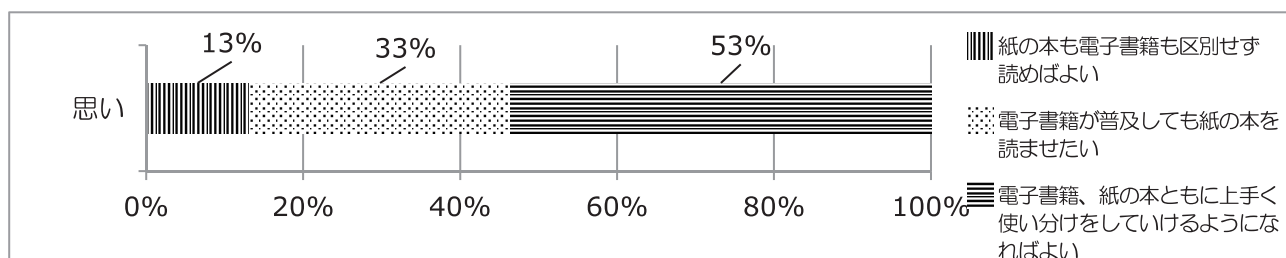
子供と絵本を読む際に、パソコンやタブレット、スマートフォンを使っての電子書籍の利用については、「利用したことはない」が88%と最も多くなっている。

問5 お子さんと絵本を読む際に、電子書籍を利用する理由はなんですか（問4でよく利用している、ときどき利用しているの選択者のみ）



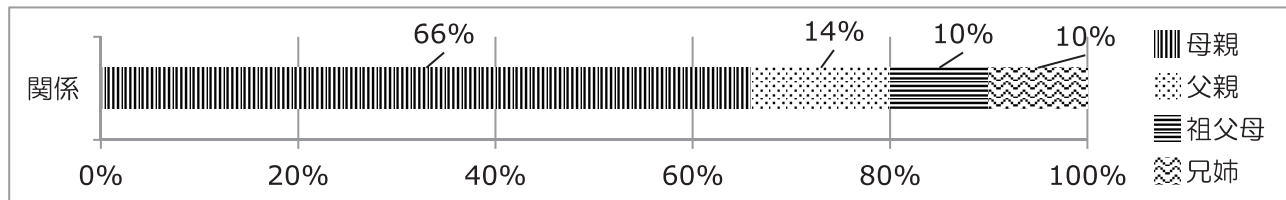
子供と絵本を読む際に、電子書籍を利用する理由としては、「子供がよろこぶから」が33%と多くなっている。その他の回答では、「手元にある絵本がまだ少ないため」や「子供がどのような反応をするか知りたかった」などがあつた。

問6 電子書籍と、子供の読書についてどのように思われますか

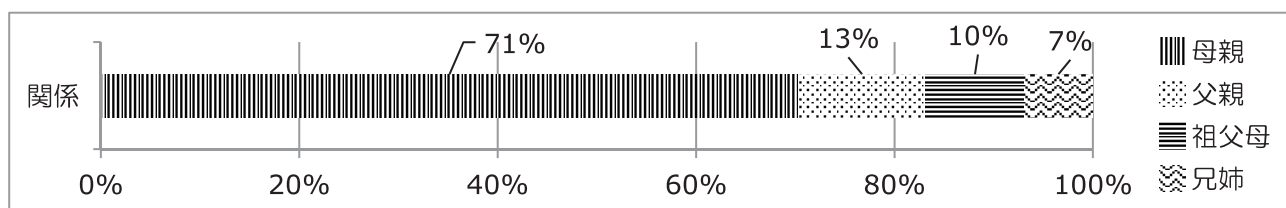


電子書籍と、子供の読書については、「状況に応じて電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい」が53%で最も多く、次いで「電子書籍が普及しても紙の本を読ませたい」が33%となっている。

問7 家庭でお子さんに絵本を読んであげるのは、おもに誰ですか

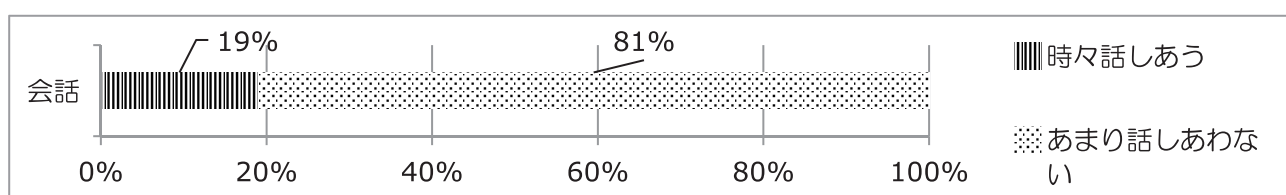


第3次計画策定時のアンケート結果



家庭で子供に読み聞かせを行うのは、第3次計画策定時、今回とも「母親」が71%、66%と最も多くなっている。

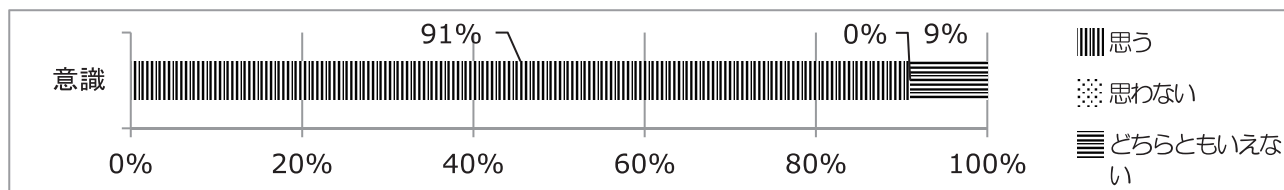
問8 家族間で、お子さんに読んでいる絵本や、読んでもらいたい絵本について話しあいますか



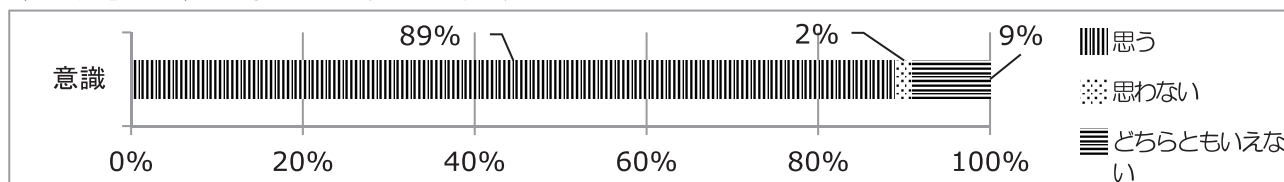
子供に読んでいる絵本について話題にするかという問いでは、「あまり話しあわない」が81%と最も

多くなっている。あまり家庭では本を話題にしていないと答えている。

問9 お子さんに絵本を読んであげることは、大切だと思いますか

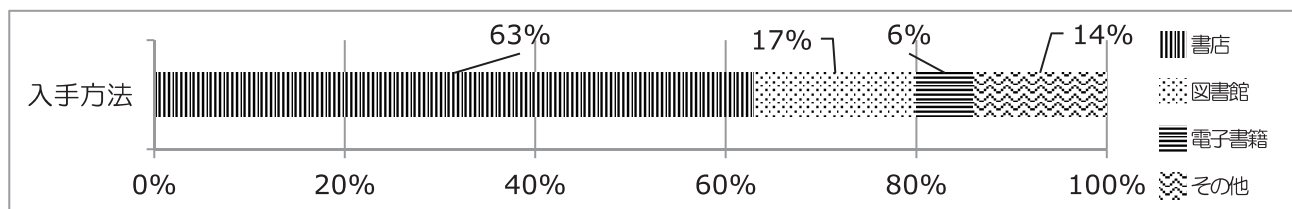


第3次計画策定時のアンケート結果



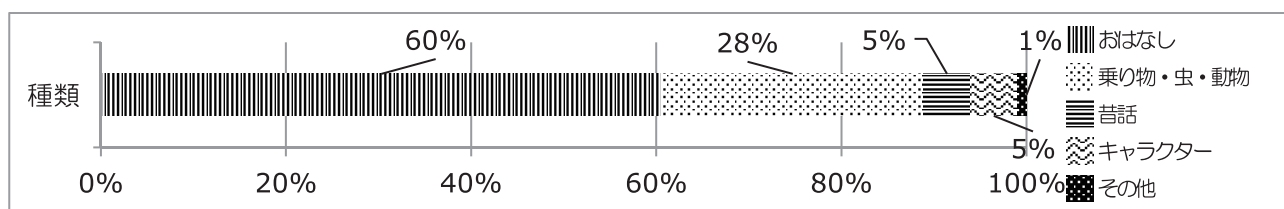
子供に絵本を読んであげることに對して、第3次計画策定時、今回とも大切だと「思う」が89%、91%でほとんどの人が大切だと思っている。

問10 お子さんに読んであげる本は、どちらで入手されますか



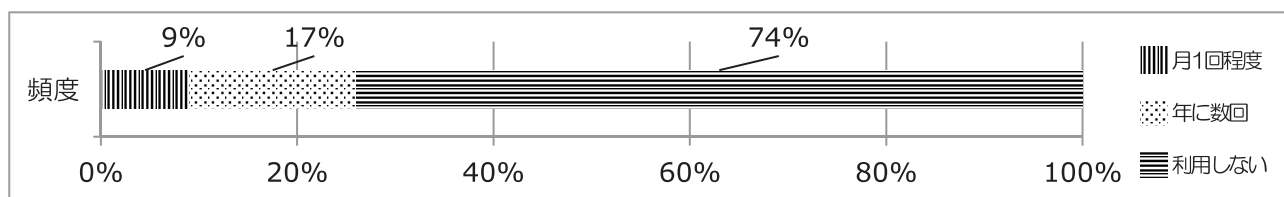
子供に読んであげる絵本は「書店等で購入」が63%と最も多く、次いで「図書館」が17%、電子書籍の利用については6%とあまり利用されていなかった。その他の回答では、「プレゼント」、「健診時にもらった」等があった。

問11 お子さんに読んであげる絵本は、どんな内容ですか



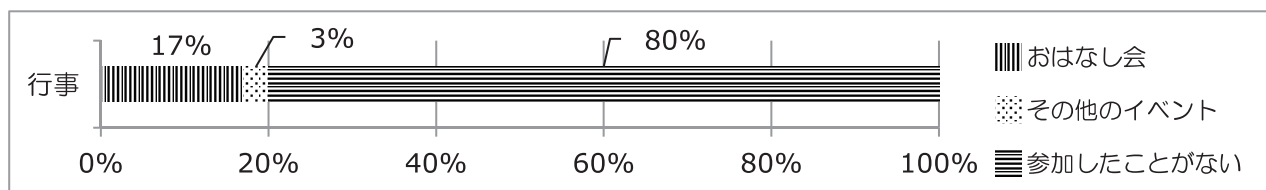
子供に読んであげる絵本の種類については、「おはなし」が60%と最も多く、次いで「乗り物・虫・動物」が28%となっている。

問12 図書館はどれくらい利用しますか



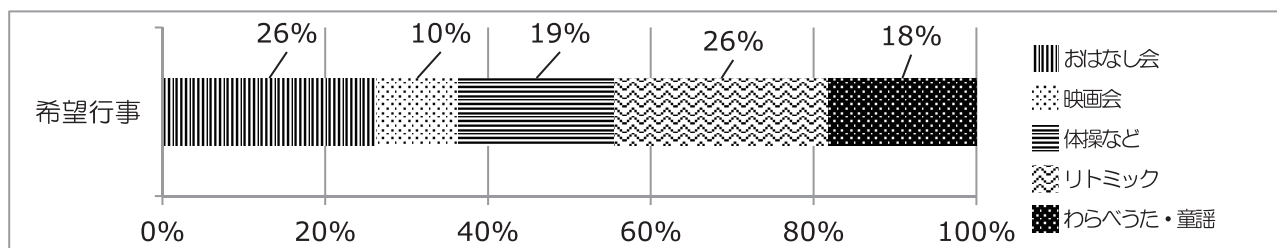
図書館の利用頻度は「利用しない」が74%と最も多く、あまり利用されていない。

問１３ 次の図書館の子供向け行事のなかで参加した行事がありますか



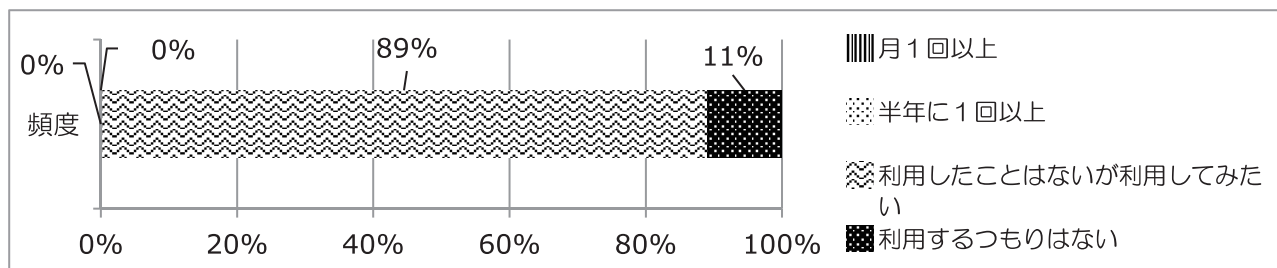
図書館での子供向け行事に、「参加したことがない」が80%で最も多かった。

問１４ 図書館のイベントで参加したいものはどれですか



参加したいイベントは、「おはなし会」「リトミック」が26%と最も多く、次いで「体操など」19%となっている。

問１５ 岩出市在住・在勤・在学の利用者の方は岩出市電子図書館「いわで e - Library」で、読み聞かせのあるアニメーション絵本の電子書籍なども無料で貸出しています。「いわで e - Library」をご利用されたことはありますか



岩出市電子図書館「いわで e - Library」を利用したことがあるかについて、「利用したことはないが利用してみたい」が89%と最も多くなっている。

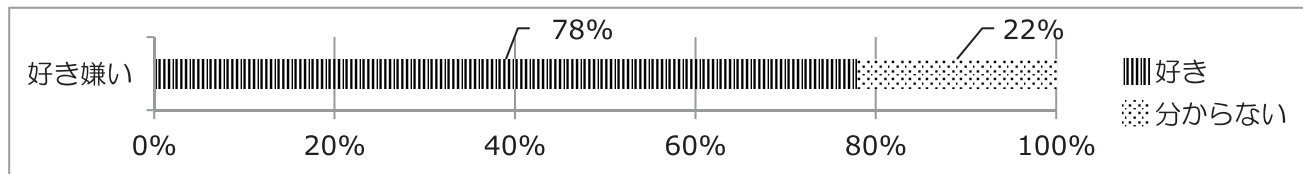
※ 子供と本についての意見・感想（自由記述）

月齢に応じたおすすめの子供の絵本を紹介してほしい。
今まであまり絵本について考えていなかったので、絵本を読む機会を増やしてみようと思いました。
最近、紙の絵本を読むと、なめたり噛んだりしたがりとちゃんと読めません。布の本だと内容がしっかりしたものが少ないのでどうしたら良いのかな・・・と思ってしまいます。
4か月健診で本をいただけて、とても良かったです。子供がとても喜びました。図書館で「赤ちゃんの本」コーナーがあるのも、選書する上で、とても助かっています。今後とも、私たち市民が本に手をのばしたくなる環境づくりをよろしくお願いします。
4カ月健診の時に頂いた「だあれだ だれだ」がすごく良かったです！！

回答者数
63人

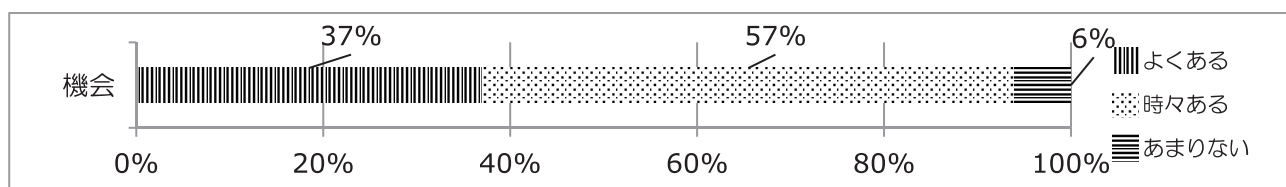
1歳8か月児保護者

問1 お子さんは本が好きですか



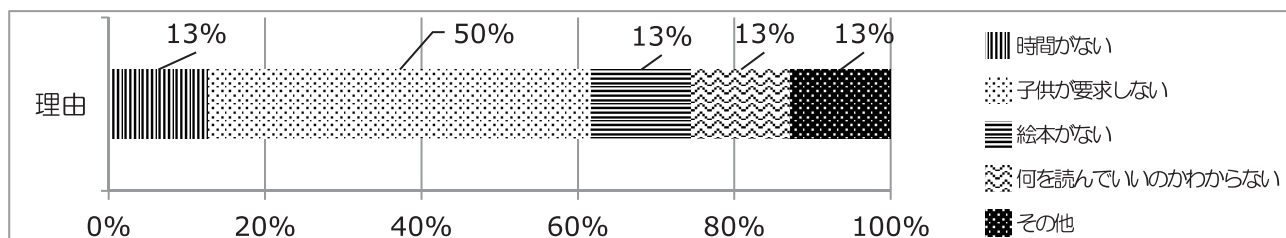
絵本が好きであるかという問いでは、「好き」が78%となっており、「分らない」が22%となっている。

問2 お子さんと一緒に絵本を見たり、読んだりする機会はありますか



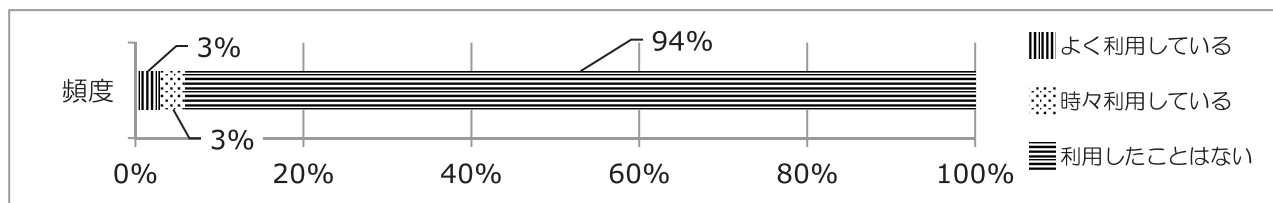
子供に読み聞かせをしているかという問いでは、「よくある」が37%「時々ある」が57%とほとんどの家庭で子供に対して読み聞かせをしていると答えている。

問3 問2であまりないと答えた理由は何ですか（あまりないを選択した方のみ回答）



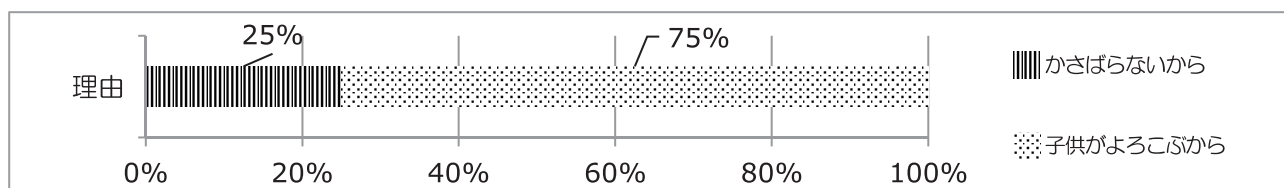
子供と一緒に絵本を見る機会が少ない理由としては、「子供が要求しない」が50%と最も多くなっている。

問4 あなたは、お子さんと絵本を読む際に、パソコンやタブレット、スマートフォンを使って、電子書籍を利用したことがありますか



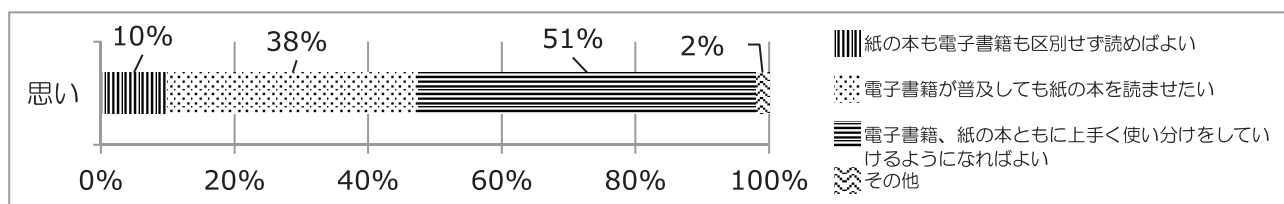
子供と絵本を読む際に、パソコンやタブレット、スマートフォンを使っての電子書籍の利用については、「利用したことはない」が94%と最も多くなっている。

問5 お子さんと絵本を読む際に、電子書籍を利用する理由はなんですか（問4でよく利用している、ときどき利用しているの選択者のみ）



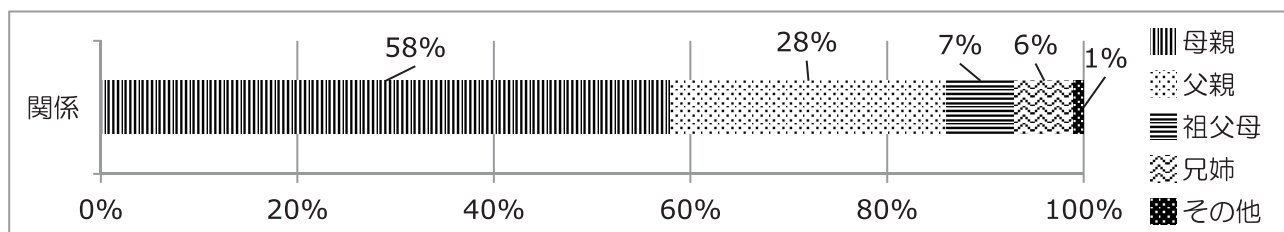
子供と絵本を読む際に、電子書籍を利用する理由としては、「子供がよろこぶから」が75%と最も多くなっている。次いで「かさばらないから」が25%となっている。

問6 電子書籍と、子供の読書についてどのように思われますか



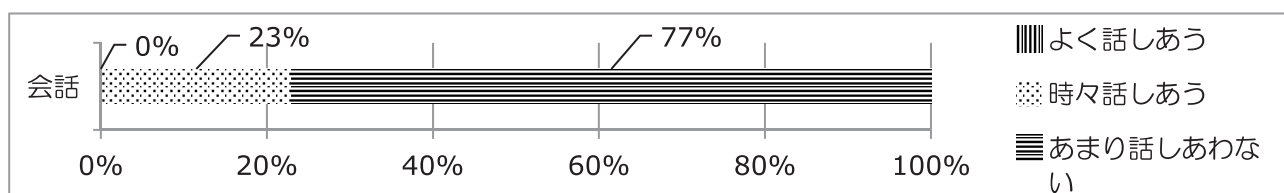
電子書籍と、子供の読書については、「状況に応じて電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい」が51%で最も多く、次いで「電子書籍が普及しても紙の本を読ませたい」が38%となっている。

問7 家庭でお子さんに絵本を読んであげるのは、おもに誰ですか



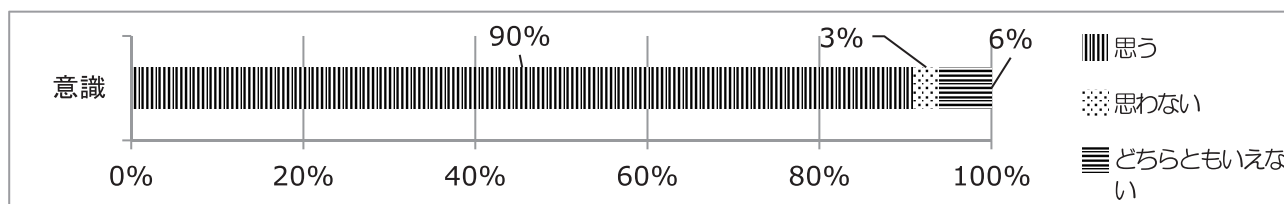
家庭で子供に読み聞かせを行うのは、「母親」が58%と最も多くなっている。

問8 家族間で、お子さんに読んでいる絵本や、読んであげたい絵本について話しあいますか



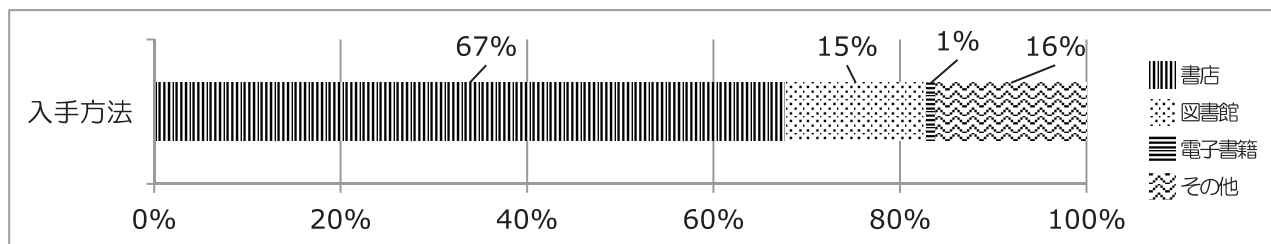
子供に読んでいる絵本について話題にするかという問いでは、77%と最も多くなっている。あまり家庭では本を話題にしていないと答えている。

問9 お子さんに絵本を読んであげることは、大切だと思いますか



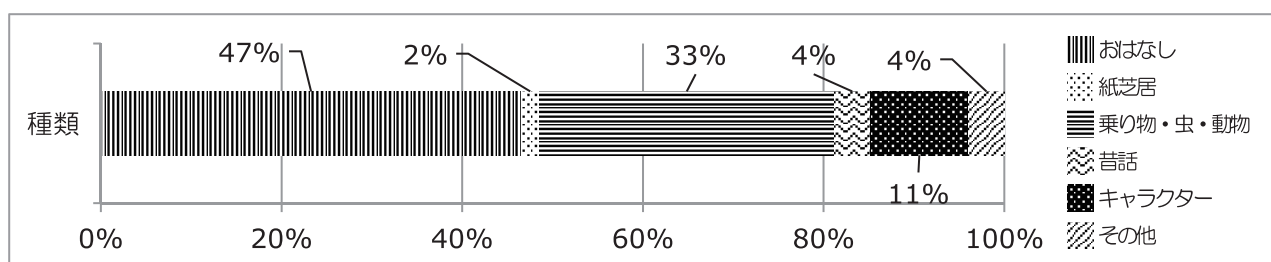
子供に絵本を読んであげることに対して、「思う」が90%でほとんどの人が大切だと思っている。

問10 お子さんに読んであげる本は、どちらで入手されますか



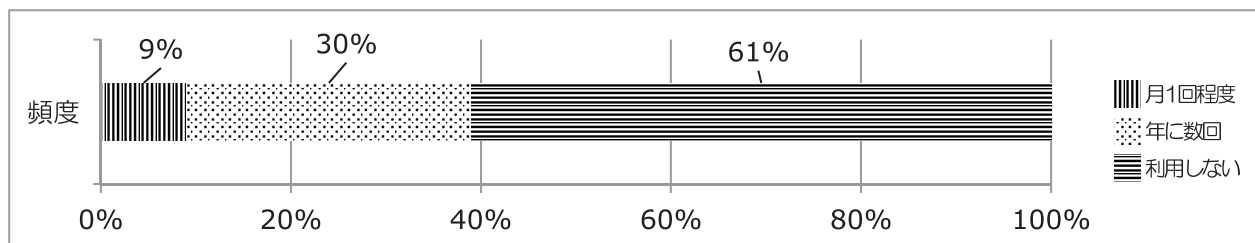
子供に読んであげる絵本は「書店等で購入」が67%と最も多くなっている。次いで「図書館」が15%であった。電子書籍については、ほとんど利用されていない。その他の回答では、「プレゼント」、「ネットで購入」「兄弟のおさがり」等があった。

問11 お子さんに読んであげる絵本は、どんな内容ですか



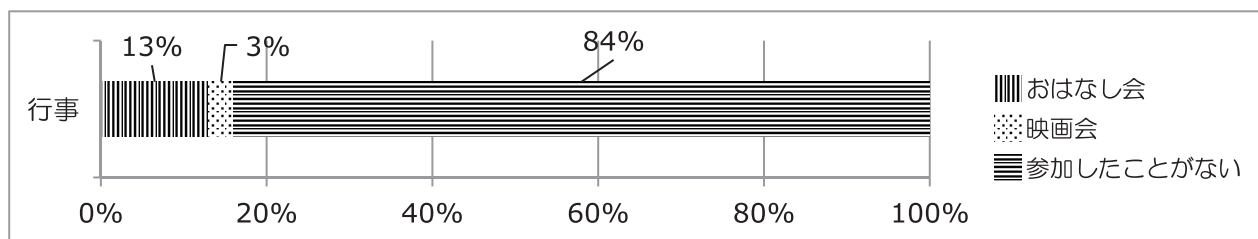
子供に読んであげる絵本の種類については、「おはなし」が47%と最も多く、次いで「乗り物・虫・動物」が33%となっている。

問12 図書館はどれくらい利用しますか



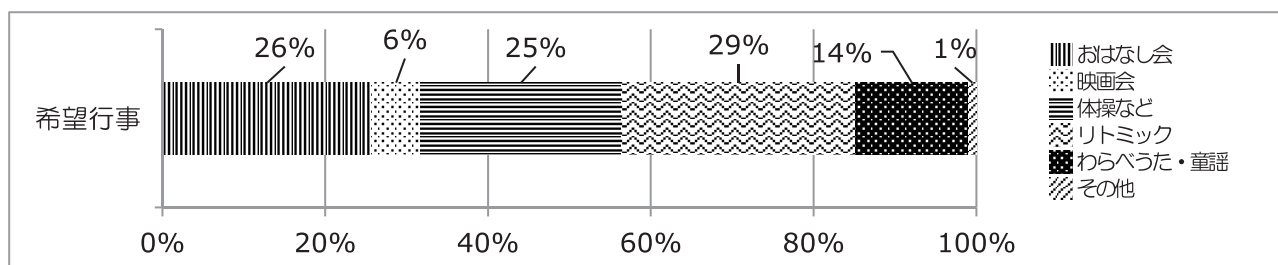
図書館の利用頻度は「利用しない」が61%となっており、あまり利用されていない。

問13 次の図書館の子供向け行事のなかで参加した行事がありますか



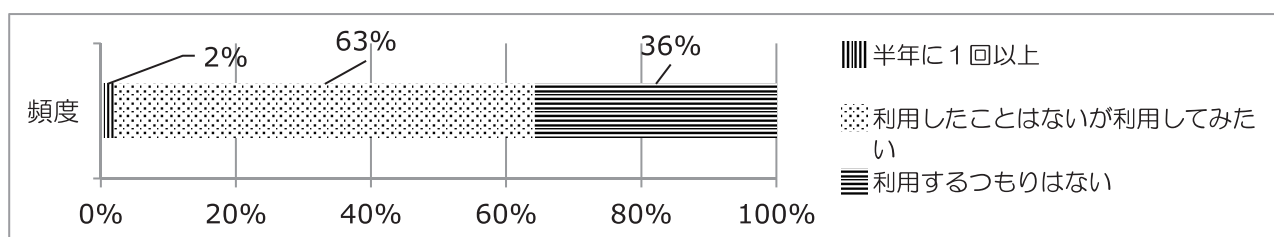
図書館での子供向け行事に、「参加したことがない」が84%で最も多かった。

問14 図書館のイベントで参加したいものはどれですか



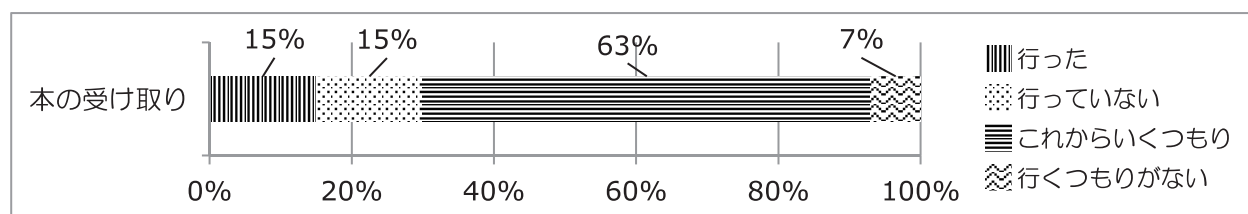
参加したいイベントは、「リトミック」が29%と最も多く、次いで「おはなし会」26%となっている。

問15 岩出市在住・在勤・在学の利用者の方は岩出市電子図書館「いわで e - Library」で、読み聞かせのあるアニメーション絵本の電子書籍なども無料で貸出しています。「いわで e - Library」をご利用されたことはありますか



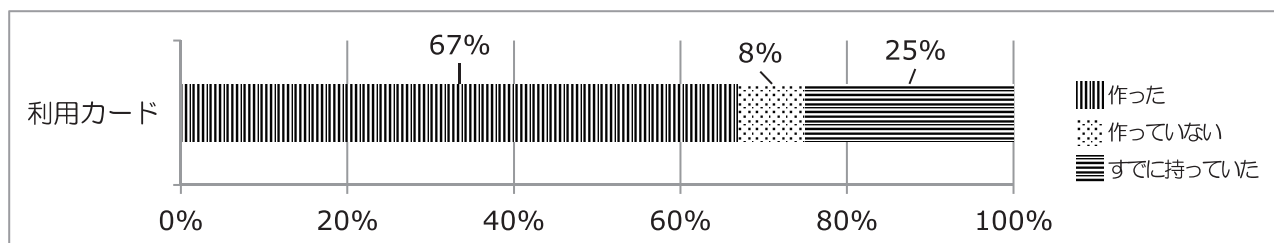
岩出市電子図書館「いわで e - Library」を利用したことがあるかについて、「利用したことはないが利用してみたい」が63%と最も多くなっている。

問16 あなたは、1歳8か月健診時にもらった絵本プレゼント引換券を持って図書館へ本を受け取りにいきましたか



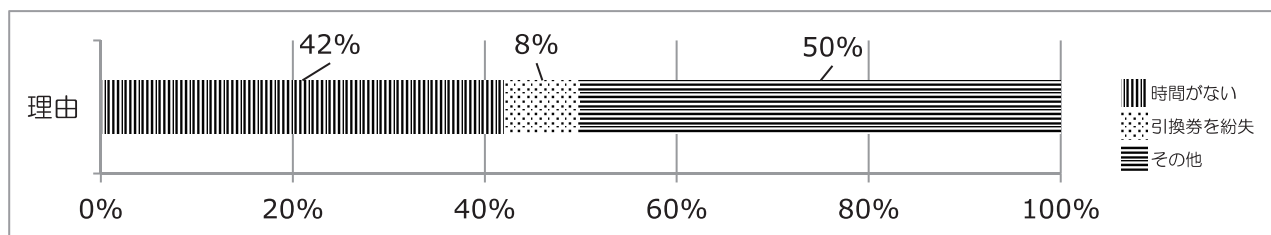
1歳8か月健診時にもらった絵本プレゼント引換券を持って図書館へ本を受け取りにいったかについては、「これからいくつもり」が63%と最も多くなっている。「行くつもりがない」の理由として「時間がない。子供を図書館に連れていくことに抵抗がある」や「プレゼントの絵本をすでに持っている」等があった。

問17 問16で絵本プレゼント引換券を持って図書館へ本を受け取りに行った際、利用カードを作りましたか（行ったと選択した方のみ回答）



絵本プレゼント引換券を持って図書館へ本を受け取りに行った際、利用カードを作ったかについては、「作った」が67%と最も多くなっている。

問18 問16で本を受け取りに行かなかった理由はなんですか(行っていないを選択した方のみ回答)



本を受け取りに行かなかった理由について、「時間がない」が42%となっている。その他の回答では、「忘れていた」や「プレゼントの絵本を持っている」「急いでいない」などがあつた。

※ 子供と本についての意見・感想(自由記述)

絵本を見ることで、色や物の名前など指さしをしたりしているので、とても大切だと思った。はらぺこあおむしは大好きで、自分でも、どんどん虫などにも興味を持っている。

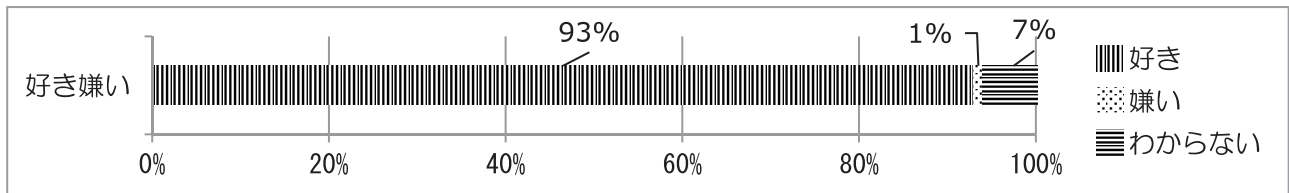
まだあまり本に興味がない。本も全て破りボロボロ。もう少し先に読ませたい。

月齢が低いころはよく絵本を借りに行っていましたが、歩くようになり、ピ-ピ-音のなるサンダルで連れて行った時に、図書館の方が走って来られて、今すぐスリッパにはきかえて下さい！と言われました。まだうまく歩けない子にスリッパをはかせるのも不安でしたし、コロナ渦で消毒されているか分からないものをはかせたくなかったので、抱っこしますと、と伝えすぐに帰宅しました。この時期に子供と行ける場所が少ない中、図書館でも居づらさを感じ当時はとても悲しくなりました。子供の歩く音はそんなにうるさいのでしょうか？和歌山市や海南市の図書館のように楽しめる場所になってほしいと思います。あれから岩出市の図書館はあまり利用したいと思いません・・・

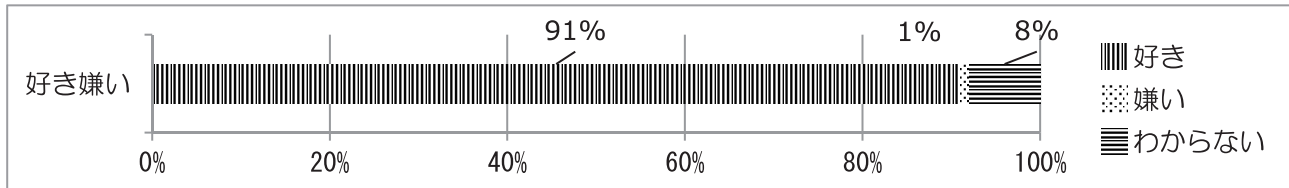
保育所児保護者

回答者数
147人

問1 お子さんは本（絵本）が好きですか

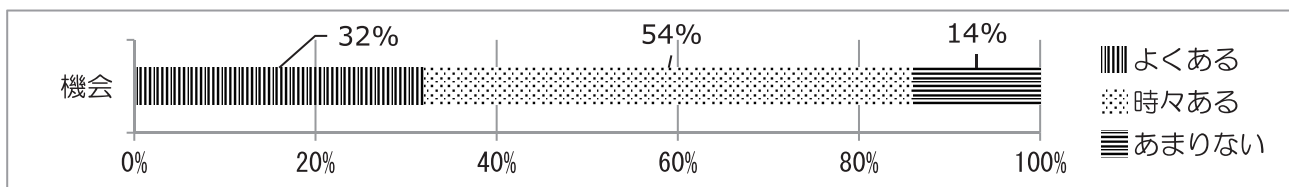


第3次計画策定時アンケート結果

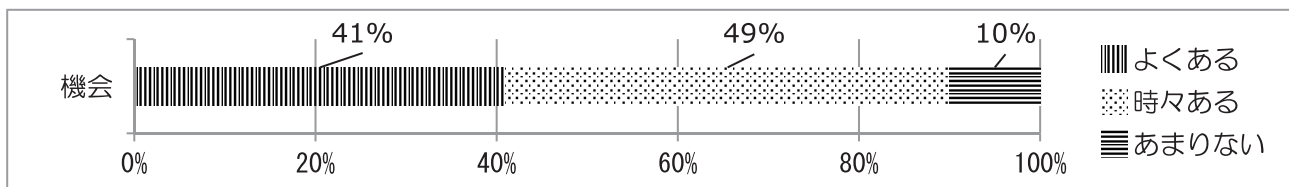


本が好きであるかという問いでは、第3次計画策定時は「好き」が91%、今回は93%とほとんどが好きと答えている。

問2 お子さんと一緒に本（絵本）を見たり、読んだりする機会がありますか

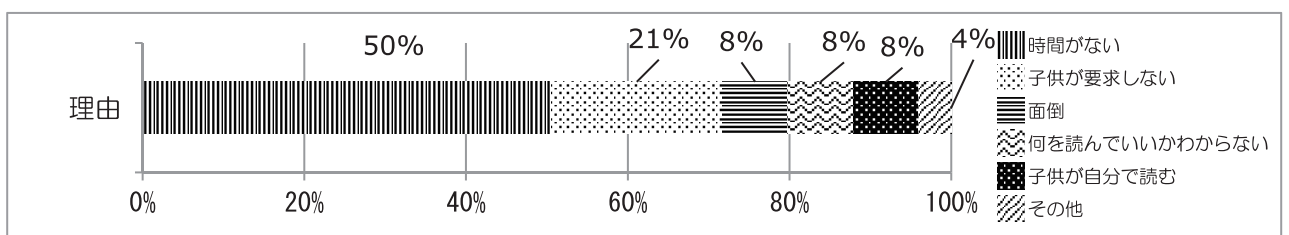


第3次計画策定時アンケート結果



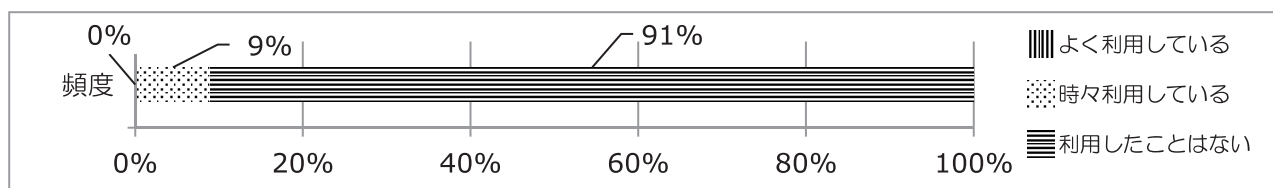
子供に読み聞かせをしているかという問いでは、第3次計画策定時「よくある」が41%、「時々ある」が49%、今回は「よくある」32%、「時々ある」が54%とほとんどの家庭で子供に対して読み聞かせをする機会があると答えている。

問3 問2であまりないと答えた理由は何ですか（あまりないを選択した方のみ回答）



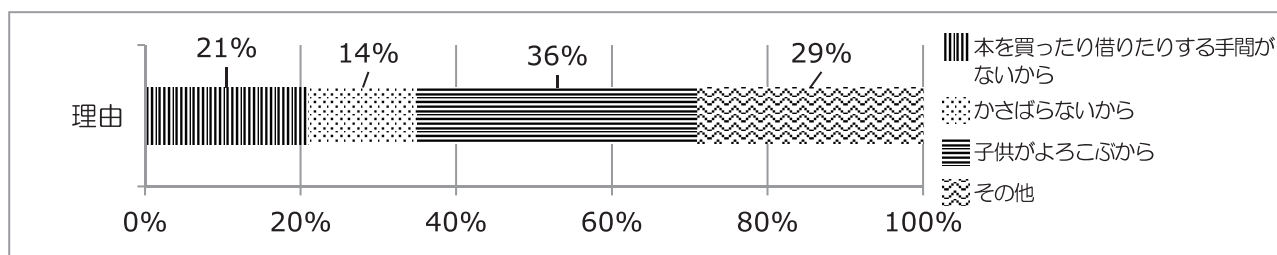
子供と一緒に本を見る機会があまりない理由としては「時間がない」が50%と最も多く、次いで「子供が要求しない」が21%となっている。

問4 あなたは、お子さんと絵本を読む際に、パソコンやタブレット、スマートフォンを使って、電子書籍を利用したことがありますか



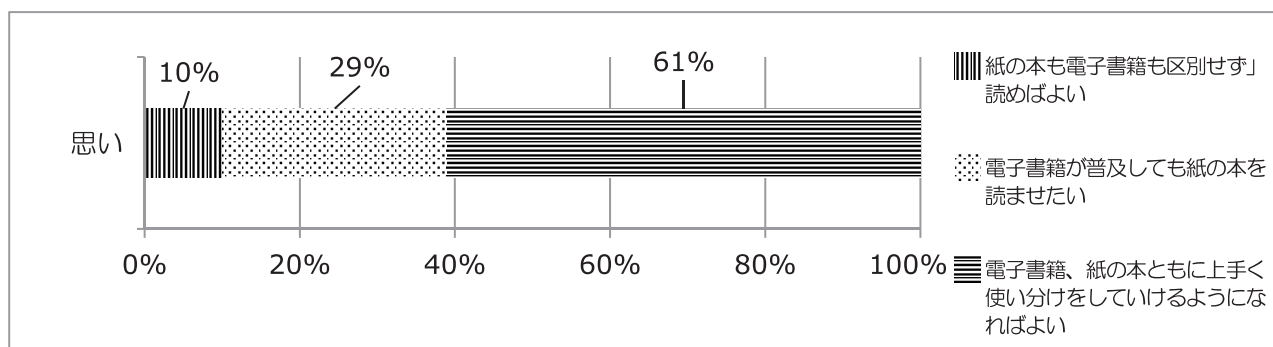
子供と絵本を読む際に、パソコンやタブレット、スマートフォンを使っの電子書籍の利用については、「利用したことはない」が91%と最も多くなっている。

問5 お子さんと絵本を読む際に、電子書籍を利用する理由は何ですか（問4でよく利用している、時々利用しているの選択者のみ）



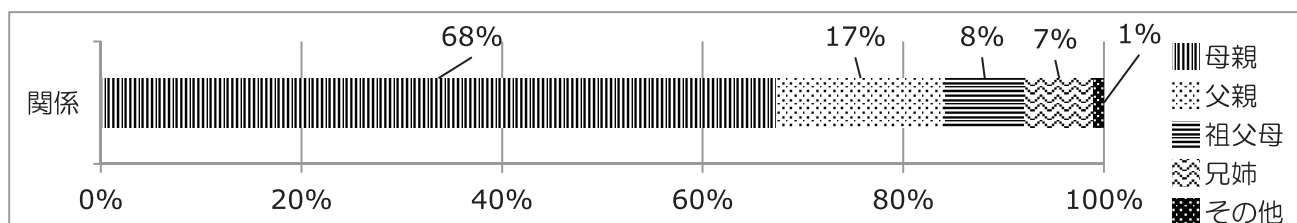
子供と絵本を読む際に、電子書籍を利用する理由としては、「子供がよろこぶから」が36%と最も多くなっている。その他の回答では、「外出中につかやすい」「たくさん本の中から選べる」などがあつた。

問6 電子書籍と、子供の読書についてどのように思われますか

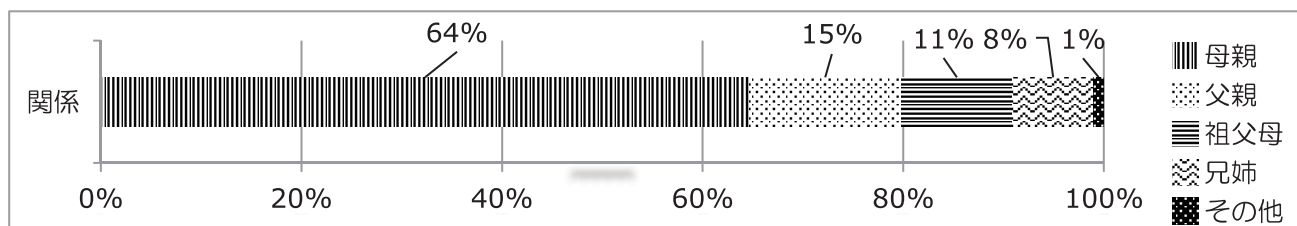


電子書籍と、子供の読書については、「状況に応じて電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい」が61%で最も多く、次いで「電子書籍が普及しても紙の本を読ませたい」が29%となっている。

問7 家庭でお子さんに本（絵本）を読んであげるのは、おもに誰ですか

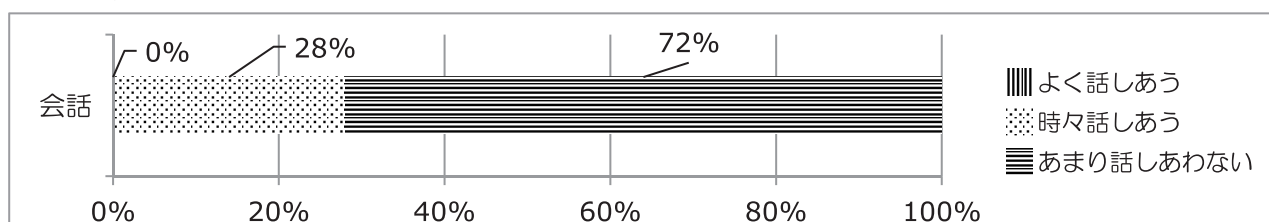


第3次計画策定時アンケート結果



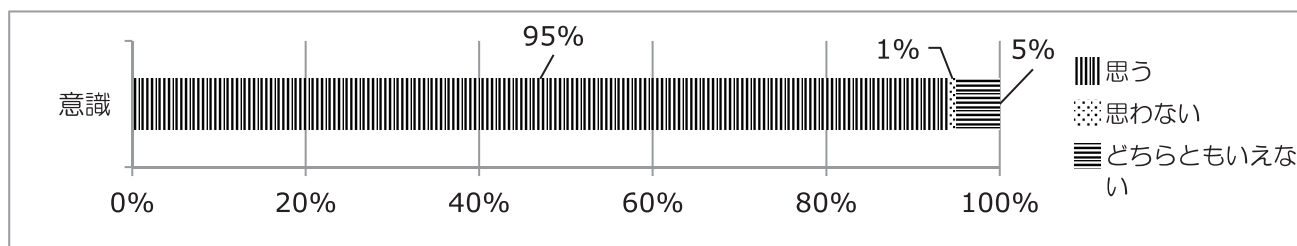
家庭で子供に読み聞かせを行うのは第3次計画策定時の64%と同様に「母親」が68%と最も多く、次いで「父親」17%、「祖父母」8%となっている。その他の回答では「本人」があった。

問8 家庭のなかでお子さんが読んでいる本（絵本）、読ませたい本（絵本）について話しますか

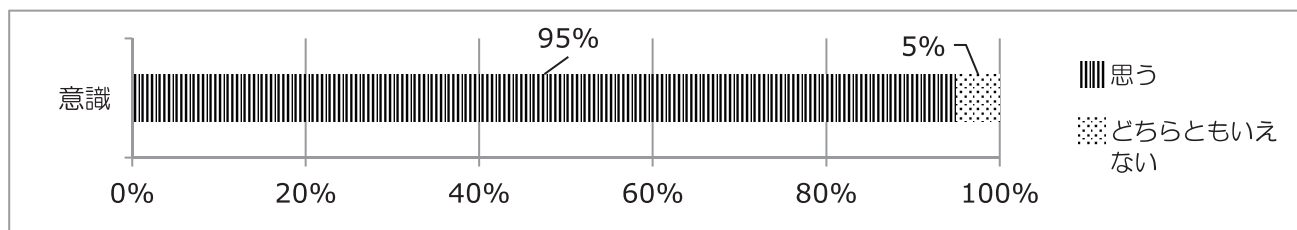


子供が読む本について話しかうかという問いでは、「あまり話しかわない」が72%となっており、半数以上の家庭であまり本について話しかわないと答えている。

問9 お子さんに本（絵本）を読んであげることが、大切だと思いますか

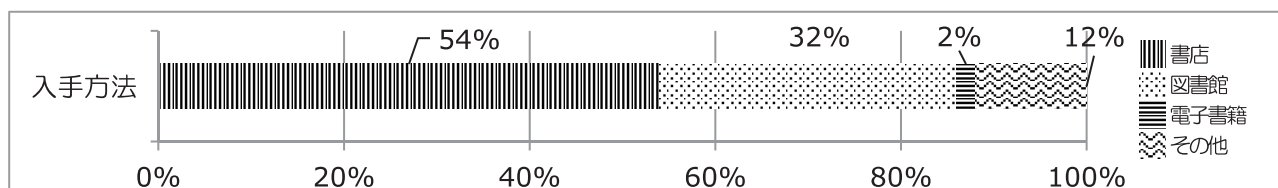


第3次計画策定時アンケート結果



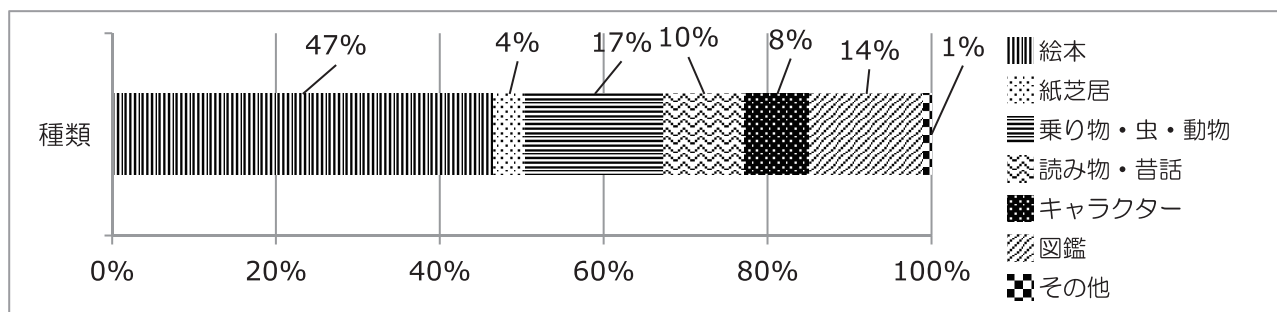
子供に本を読んであげることに対して、第3次計画策定時、今回とも大切だと「思う」が95%でほとんどの人が大切だと思っている。

問10 お子さんに読んであげる本（絵本）は、どちらで入手されますか



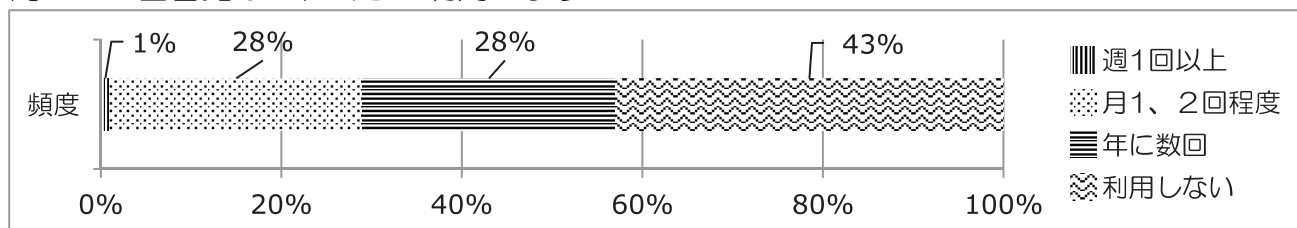
子供に読んであげる絵本は「書店等で購入」が54%と最も多くなっている。電子書籍の利用については、2%とあまり利用されていなかった。その他の回答では、「保育所から借りてくる」、「インターネットで購入」等があった。

問１１ お子さんに読んであげる本は、どんな本ですか

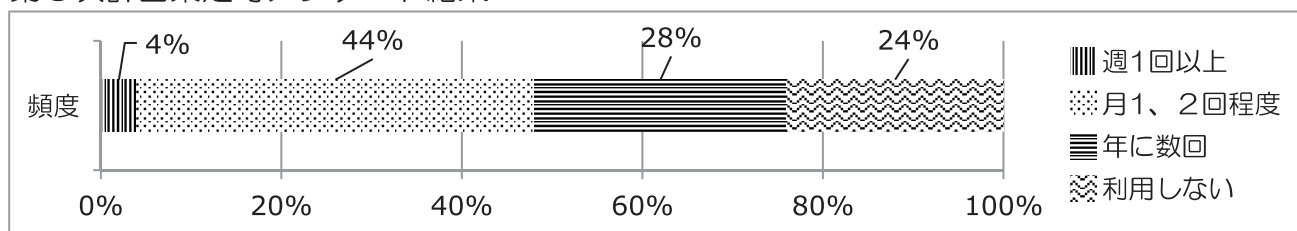


子供に読んであげる本の種類については、「絵本」が47%と最も多く、次いで「乗り物・虫・動物」17%、「図鑑」14%となっている。

問１２ 図書館はどれくらい利用しますか

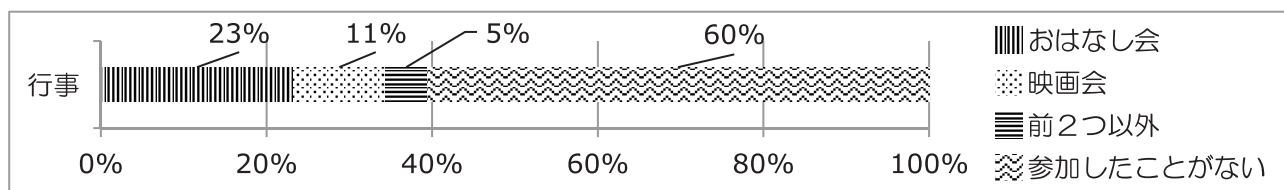


第3次計画策定時アンケート結果



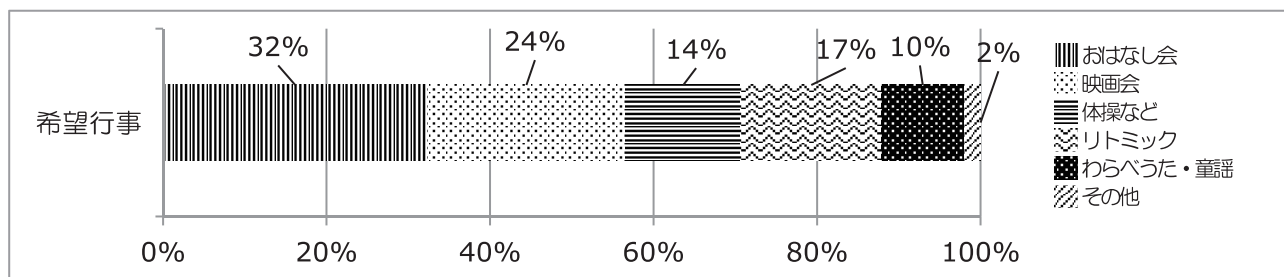
図書館の利用頻度は第3次計画策定時では、「月1回程度」が44%で最も高く、今回は「利用しない」が43%で最も高くなった。

問１３ 次の図書館の子供向け行事のなかで参加した行事がありますか



図書館での子供向け行事に参加したことがあるかという問いでは「参加したことがない」が60%、「おはなし会」23%、「映画会」11%とあまり参加されていない。

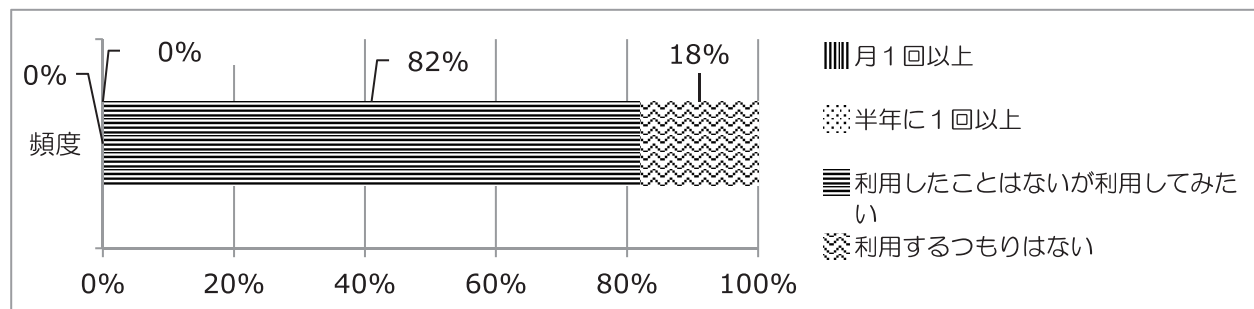
問１４ 図書館のイベントで参加したいものはどれですか



参加したいイベントは、「おはなし会」が32%と最も多く、次いで「映画会」24%となっており、

その他の回答では「工作」等があった。

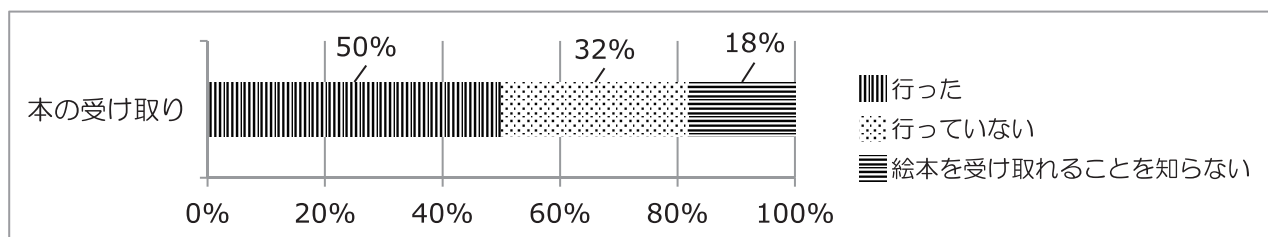
問15 岩出市在住・在勤・在学の利用者の方は岩出市電子図書館「いわで e - Library」で、読み聞かせのあるアニメーション絵本の電子書籍なども無料で貸出しています。「いわで e - Library」をご利用されたことはありますか



岩出市電子図書館「いわで e - Library」を利用したことがあるかについて、「利用したことはないが利用してみたい」が82%と最も多くなっている。

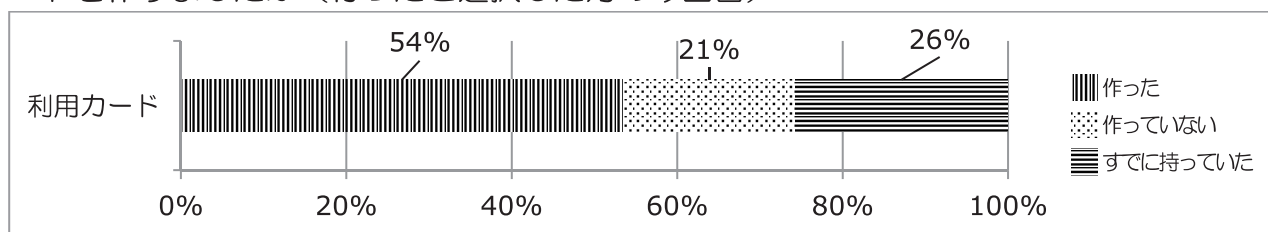
（以下3、4歳児のみ回答）

問16 あなたは、1歳8か月健診時にもらった絵本プレゼント引換券を持って図書館へ本を受け取りにいきましたか



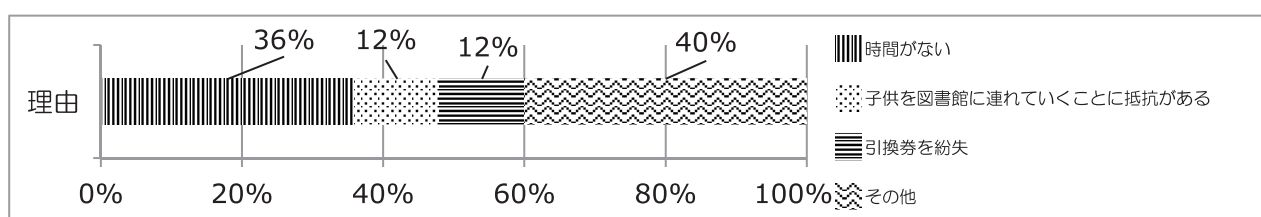
1歳8か月健診時にもらった絵本プレゼント引換券を持って図書館へ本を受け取りに行ったかについては、「行った」が50%となっており、本を受け取りに行っている人は半数であった。

問17 問16で絵本プレゼント引換券を持って図書館へ本を受け取りに行った際、利用カードを作りましたか（行ったと選択した方のみ回答）



絵本プレゼント引換券を持って図書館へ本を受け取りに行った際、利用カードを作ったかについては、「作った」が54%と最も多くなっている。

問18 問16で本を受け取りに行かなかった理由はなんですか（行っていないを選択した方のみ回答）



本を受け取りに行かなかった理由について、「時間がない」が36%となっており、「子供を図書館に連れていくことに抵抗がある」「引換券を紛失」が12%となっている。その他の回答では、「忘れていた」や「すでに同じ絵本を持っていたので」「岩出市にその時に住んでいなかったため」などがあった。

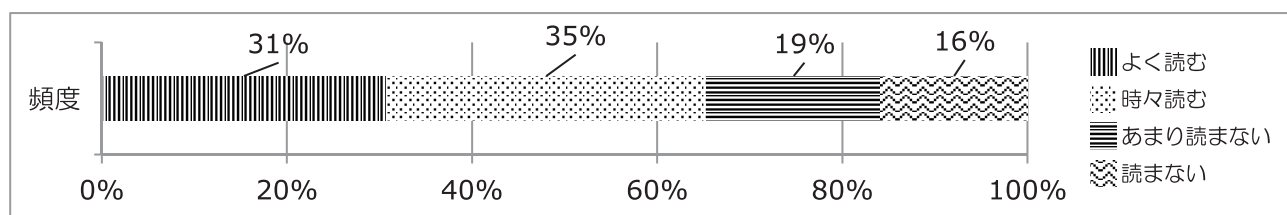
※ 子供と本についての意見・感想（自由記述）

1 歳児	できるだけ本を見せてやりたいと思う。
	絵本そのものがあると、くり返し見れるのがいいと思います。親子のふれあいにもなると思う。子供もお気に入りの絵本があり、すぐに持ってきて、読んでほしいとアピールします。
2 歳児	歳別でオススメがわかりやすいと選びやすい。
	図書館はしずかにしないといけない場所のような気がしてはしりまわったりしゃべったりするうちの2歳児が行ってもいいのか・・・少し抵抗があります。イベントなども行われているようですが、どれくらいの年代の子がいるのか気になります。
	好きな本などたくさん見たり読んだりしたいです。
3 歳児	岩出図書館は何度か利用したことがあるのですが、子供の本を借りて帰っても、傷めてしまわないか毎回ヒヤヒヤしてしまいます。もちろん、厚紙の丈夫な本を選んで借りたりもしています。親の目の届く所でのみ読ませています。普通の紙の絵本も1部だけでも何か傷つきにくく加工して下さると安心して読ませることが出来ます。厚紙の絵本は3才の子には少しもの足りないようなので・・・。お手数ですが、検討していただけるとうれしいです。
	4 歳向けのオススメがあればおたよりで教えて頂けたらうれしいです。
4 歳児	1～3歳頃は積極的に絵本をそろえましたが、今は新しいものを追加できていません。自分が”良い！”と思っている絵本以外にも良い絵本はたくさんあると思うので色々知っていきたいです。
	今はネットですぐ何でも調べられるが、辞書を引くという基礎を作ってあげたい
	1 歳8か月健診での絵本プレゼントでいただいた本、今も楽しく読んでいます！！毎健診時こういうプレゼントがあれば嬉しいなと思います。
5 歳児	できるだけ本を見せてやりたいと思う。
	どこかで以前TVで図書館の借りた本の題名、著者名などを図書館の通帳に記入するサービスが紹介されていました。岩出市の図書館でもそのような工夫があれば、子供たちが喜び、いつどんな本をかりたかの記録が本人にもわかるのでいいのではないかと思います。

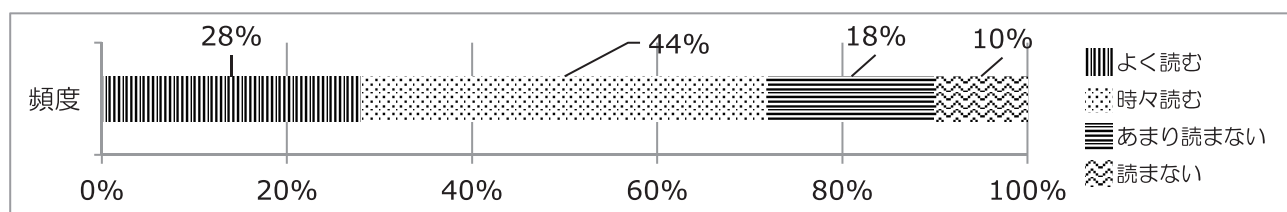
小学3年生

回答者数
173人

問1 あなたは本を読みますか

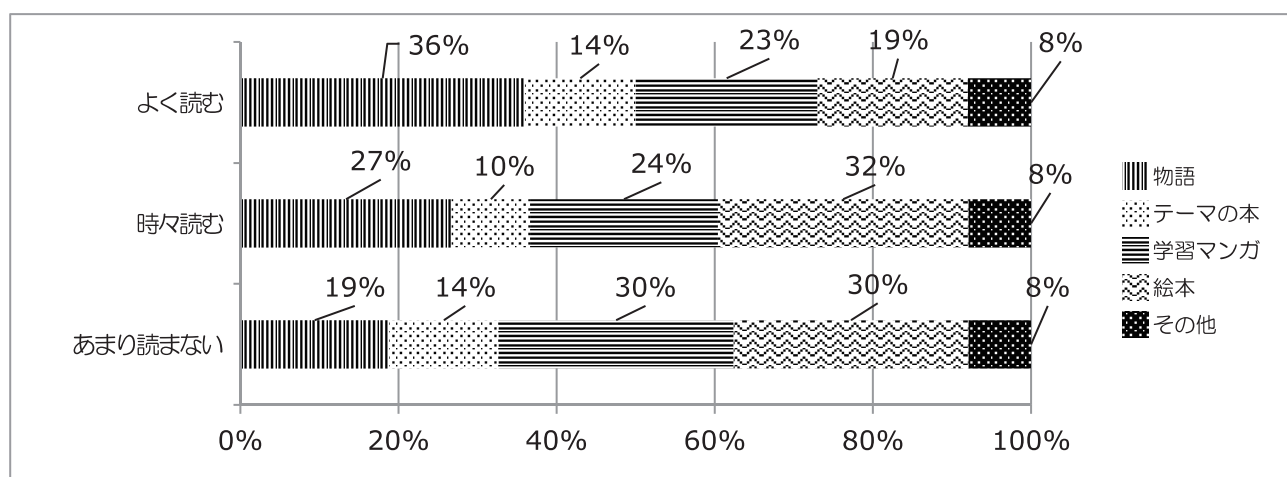


第3次計画策定時アンケート結果



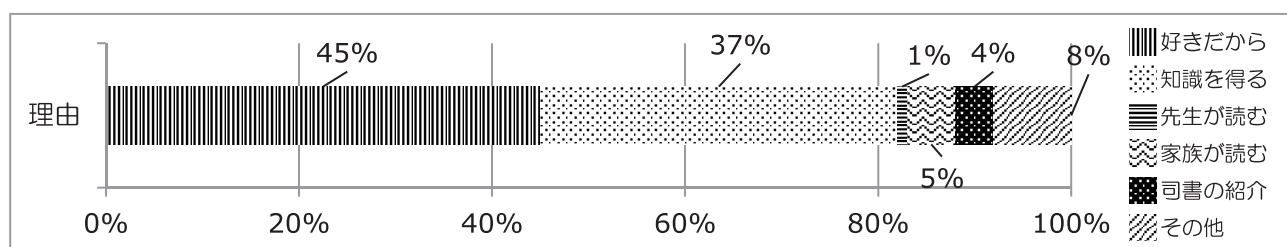
本をよく読むかという問いでは、第3次計画策定時では「よく読む」「時々読む」を合わせると72%、今回は「よく読む」「時々読む」合わせて66%と答えている。

問2 何を読みますか



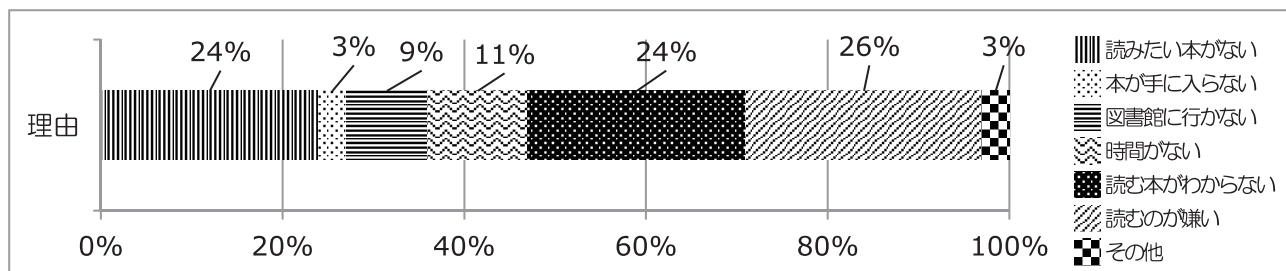
本を読む頻度にかかわらず、物語、学習マンガ、絵本等色々なジャンルの本が読まれている。

問3 本を読む理由は何ですか（問1でよく読む、時々読むの選択者のみ）



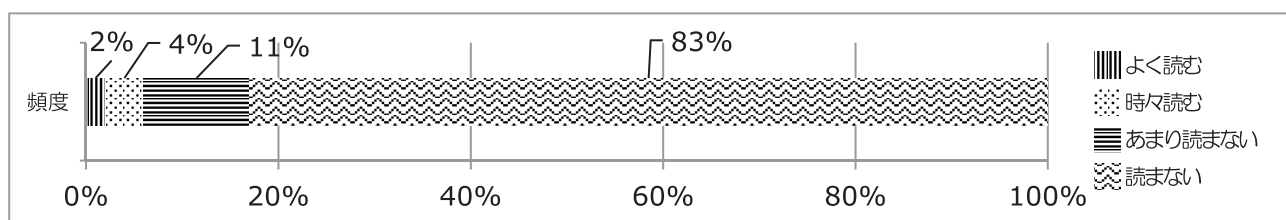
本を読む理由は、「好きだから」45%と最も多く、次いで「いろいろなことを知ることができる」37%となっている。その他の回答では、「しょうらいのためになるから」や「ひまだから」などがあつた。

問4 本を読まない理由は何ですか（問1であまり読まない、読まないの選択者のみ）



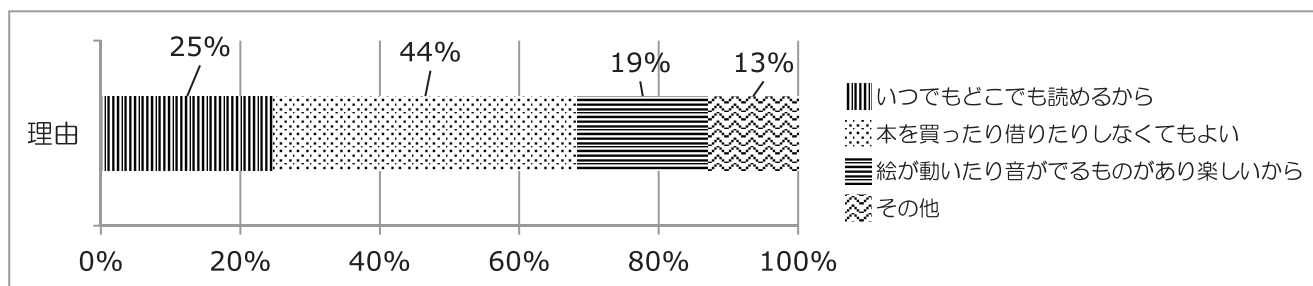
本を読まない理由は、「読むのが嫌い」が26%と最も多く、次いで、「読みたい本がない」「読む本がわからない」が24%となっている。

問5 あなたは、パソコンやタブレット、スマートフォンで、絵本や物語を読みますか



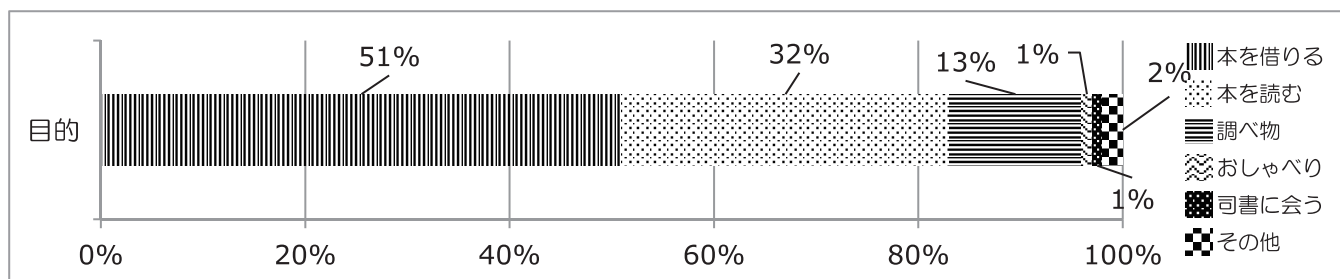
パソコンやタブレット、スマートフォンで、絵本や物語を読むかについては、「読まない」が83%と最も多くなっている。

問6 パソコンや、タブレットやスマートフォンで絵本や物語を読む理由はなんですか（問5でよく読む、ときどき読むの選択者のみ）



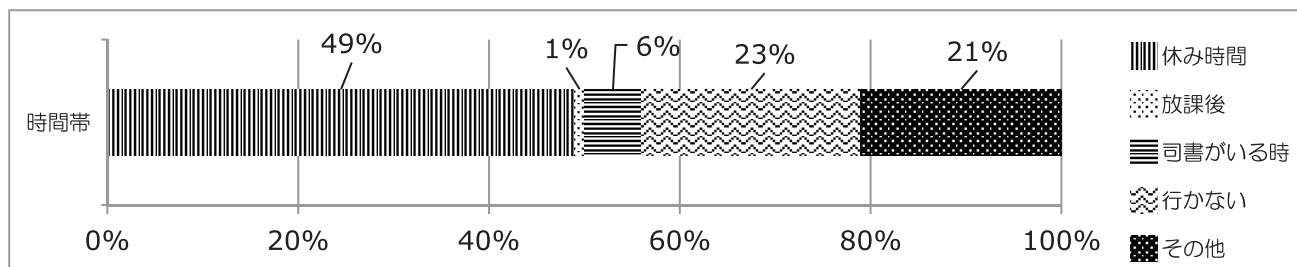
パソコンや、タブレットやスマートフォンで絵本や物語を読む理由については、「本を買ったり借りたりしなくてもよい」が44%と最もおおくなっている。

問7 学校図書室には何をしに行きますか

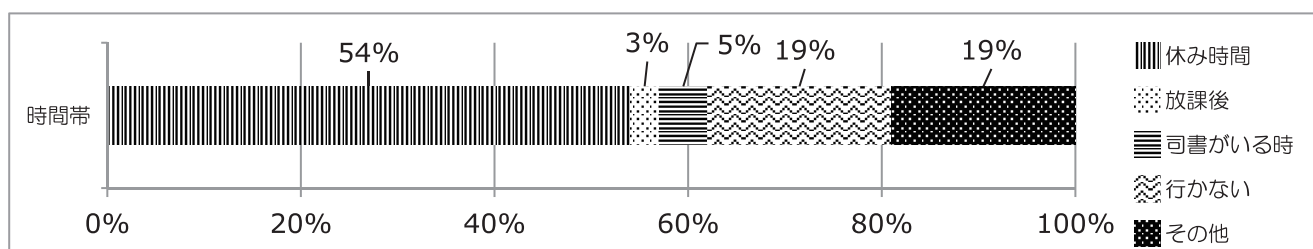


図書室の利用目的については、「本を借りる」が51%、「本を読む」が32%となっている。

問8 学校図書室へいつ行きますか

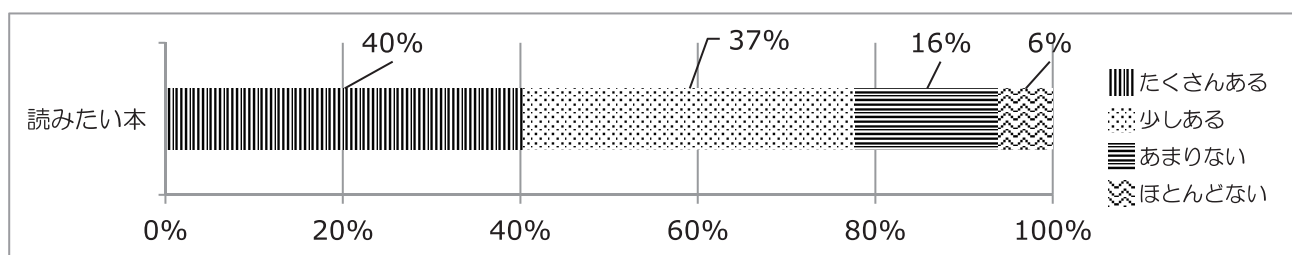


第3次計画策定時アンケート結果

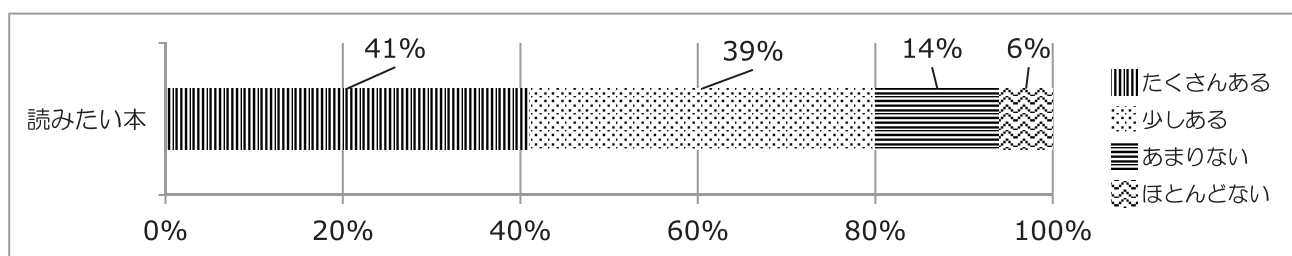


図書室を利用する時間帯について、第3次計画策定時、今回とも「休み時間」が54%、49%と最も多く、その他の回答では、「授業中」、「図書の時間」などがあつた。

問9 学校図書室に読みたい本がありますか

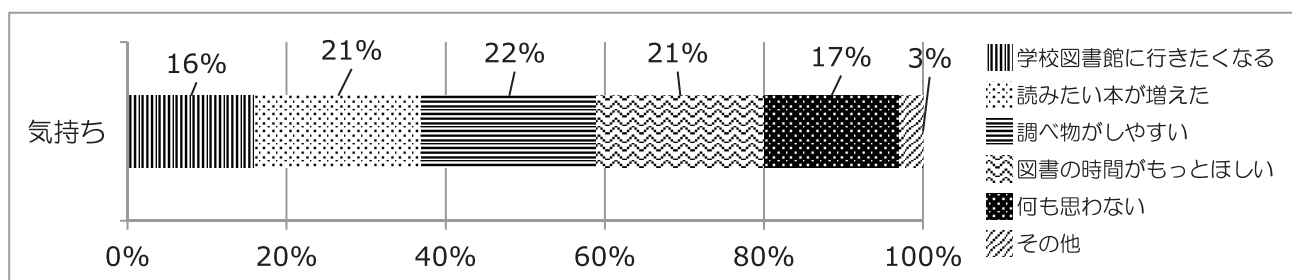


第3次計画策定時アンケート結果



読みたい本があるかについて、第3次計画策定時、今回とも「たくさんある」が41%、40%と最も多く、次いで「少しある」39%、37%となっている。

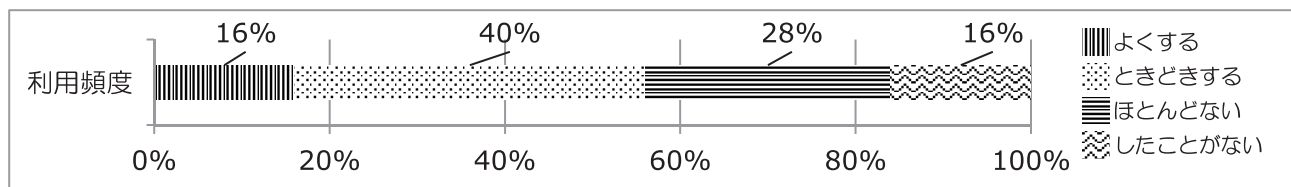
問10 岩出図書館から学校図書館に司書が来ていることについてどう思いますか



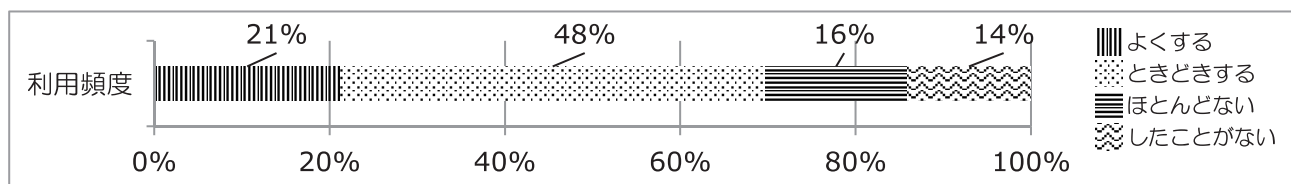
岩出図書館から学校図書館に司書を派遣したことにより子供たちの学校図書館への気持ちの変化として、「調べものがしやすい」が22%と最も多く、次いで「読みたい本が増えた」、「図書の時間がもっとほしい」が21%と22%となっている。

ほしい」となっている。

問１１ 岩出図書館を利用しますか

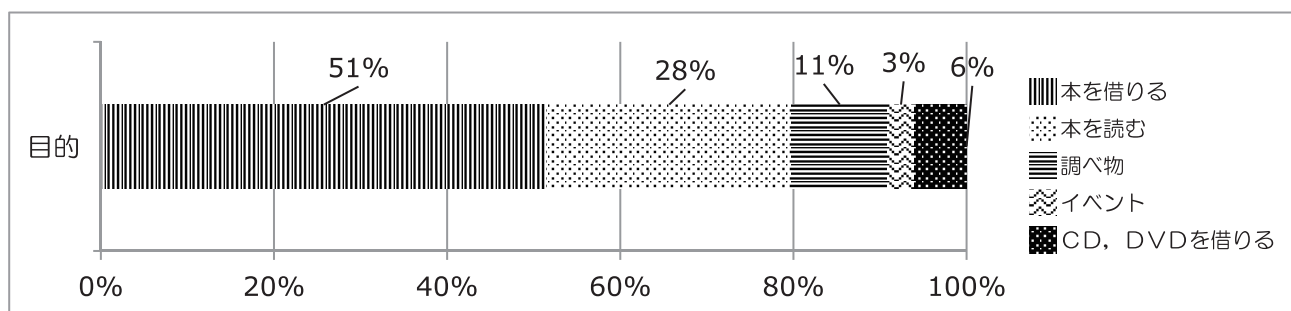


第3次計画策定時アンケート結果



岩出図書館を利用するかについて、第3次計画策定時は、「よくする」「ときどきする」が併せて69%、今回は、「よくする」「ときどきする」が56%となり減少している。

問１２ 岩出図書館には何をしにいきますか（問１１でしたことがない以外の選択者のみ）



岩出図書館へ行く目的について、「本を借りる」が51%と最も多く、次いで「本を読む」28%、「調べ物」11%となっている。

問１３ 最近、読んでおもしろかった本を教えてください（自由記述）（コミック、雑誌除く）

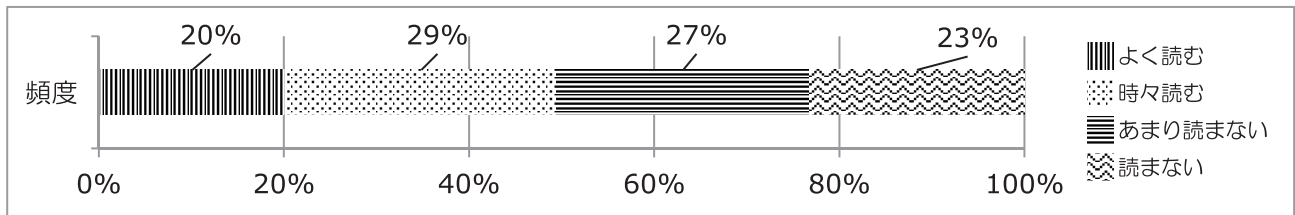
本の題名	件数	本の題名	件数
サバイバルシリーズ	10	なつのいちにち	1
ひみつシリーズ	7	へんしんコンサート	1
11歳のバースデー	5	へんしんトイレ	1
名探偵コナンシリーズ	5	うちゅうめいろ	1
ミッケシリーズ	4	ハリーポッターシリーズ	1
銭天堂	4	しあわせの子犬たち	1
かいけつゾロリシリーズ	3	そのときがくるくる	1
おしりたんていシリーズ	2	ゆずのどうぶつカルテ	1
ドラえものの学習シリーズ	2	エトワール	1
生きもの図鑑	2	シャーロック・ホームズ	1
忍たま乱太郎シリーズ	2	なんとかの冒険	1
バムとケロシリーズ	2	都市伝説大百科	1

本の題名	件数	本の題名	件数
グレッグのダメ日記	2	のらねこぐんだん	1
ルルとラシシリーズ	2	NEOうちゅう	1
妖怪捕物帖	2	星のカービィの小説	1
すがたをかえる肉	1	ゆずのカルテ	1
火曜日のごちそうはヒキガエル	1	青葉の笛	1
オオカミ王ロボ	1	平家物語	1
きょうりゅう図鑑	1	ホラーバス	1
ドラえもん まんがでおぼえる英語辞典	1	信じられない現実の大図鑑	1
めざせどうぶつのおいしゃさん	1	水の生きもの図鑑	1
ソフィアとアイビーののろい	1	色わけ図鑑	1
おばけのおいしゃさん	1	ひみつの花園	1
すいかの種	1	どこ？	1
おどるかつおぶし	1	まほうの絵本屋さん	1
りらのひみつのへや	1	おにの面	1
はなむぐり	1	ほねほねざうるす	1
へいわとせんそう	1	はれときどきぶた	1
ふたりはきょうも	1	ミラクルかんたん！スイーツマジック	1
ねぎたろう	1	いなりまちゆききつねでんしゃ	1
あるなしなぞなぞ	1	ただのしろいふうとう	1
りんごかもしれない	1	世界の危険生物 図鑑	1
さるじぞう	1	鬼滅の刃	1
かんけんのひみつ	1	空想科学読本	1
ぼくがきょうりゅうだったとき	1	ねこの学校	1
ココロ屋つむぎのなやみ	1	実験対決シリーズ	1
宇宙の終わりってどうなるの？	1	学研の図鑑 カブトムシ クワガタムシ	1
伝説の迷路	1	NEOPOCKET 昆虫	1
時の迷路	1	日食 月食 オーロラ	1
いじめ	1	黄色い本	1
くらしの中のトイレの歴史	1	動物探偵ミア	1
あるかしら書店	1	おばけのぼーちゃんなぞのおばけめいろ	1
動物と話せる少女リリアーネ	1	チップとチョコのおるすばん	1

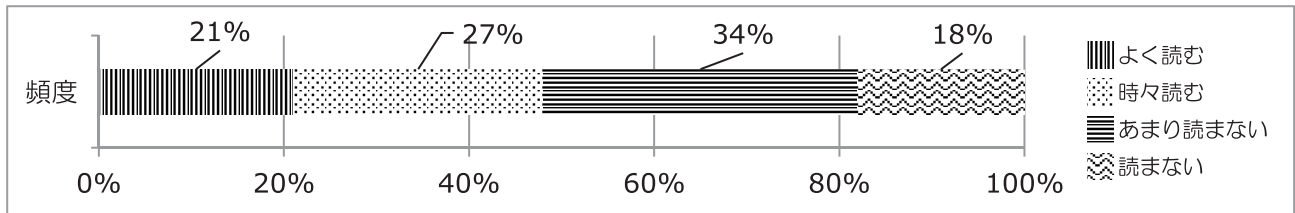
小学6年生

回答者数
171人

問1 あなたは本を読みますか

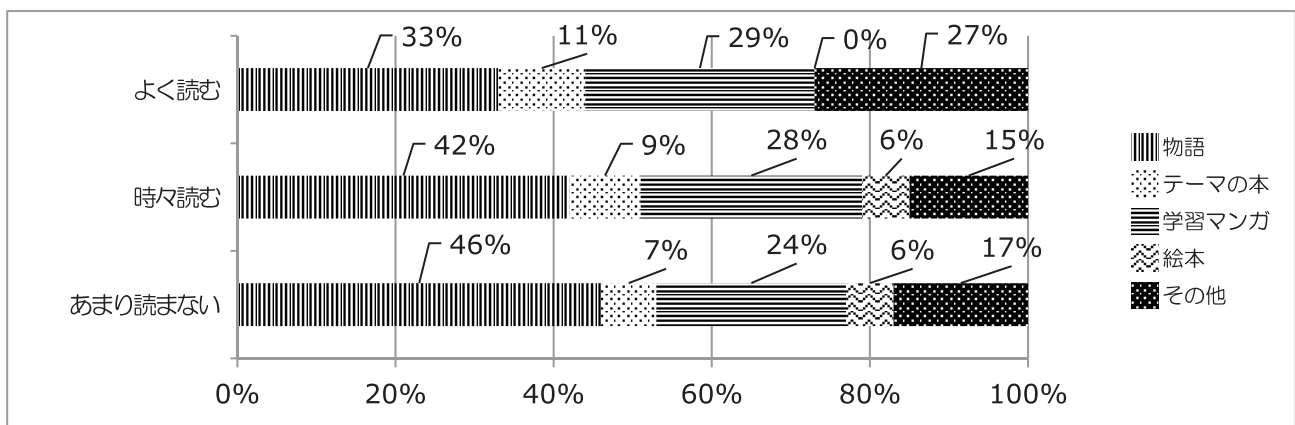


第3次計画策定時アンケート結果



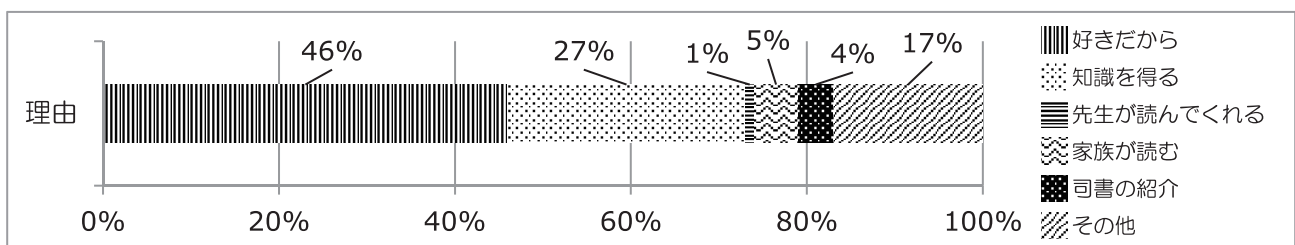
本をよく読むかという問いでは、第3次計画策定時では「よく読む」「時々読む」を合わせると48%、今回は「よく読む」「時々読む」合わせて49%とほぼ同じ割合となっている。

問2 何を読みますか



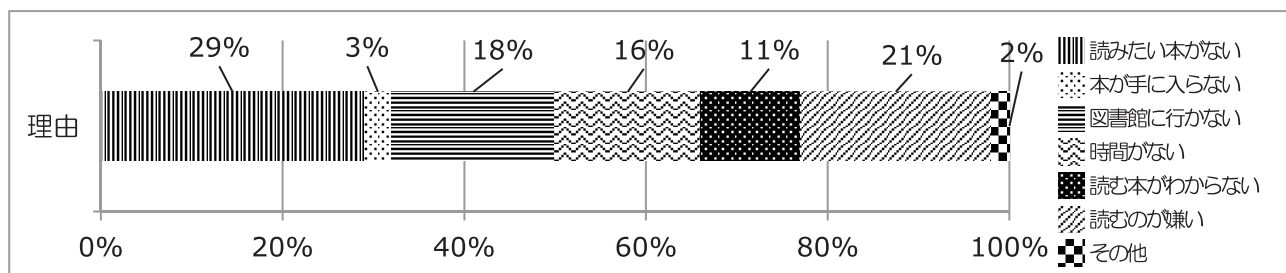
本の読む頻度別にみると、全体的に「物語」を読んでいる割合が最も多い。

問3 本を読む理由は何ですか（問1でよく読む、時々読むの選択者のみ）



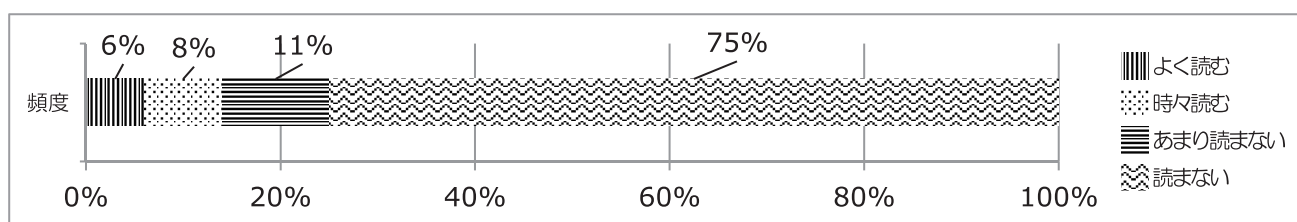
本を読む理由は、「好きだから」46%と最も多く、次いで「いろいろなことを知ることができる」27%、「家族がよく本を読む」5%となっている。また、岩出図書館から派遣している司書からの紹介は4%となっている。その他の回答では、「じゅくの先生が紹介してくれるから」「好きな人が書いているから」などがあった。

問4 本を読まない理由は何ですか（問1であまり読まない、読まないの選択者のみ）



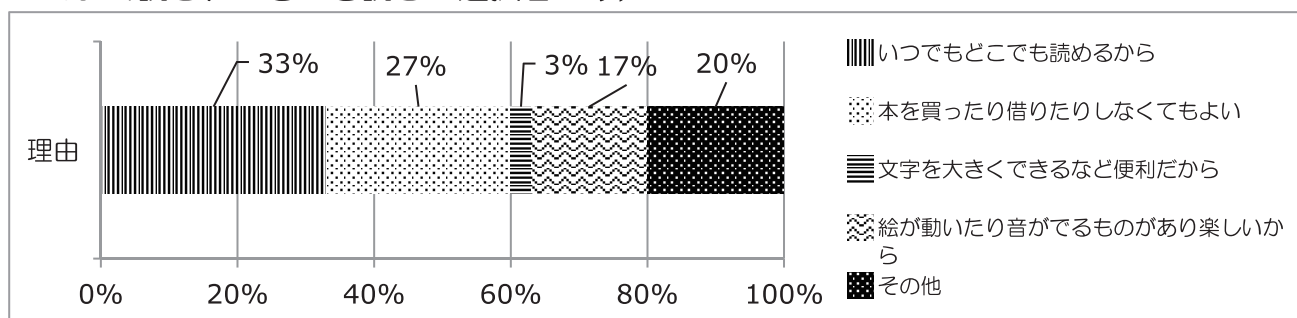
本を読まない理由は、「読みたい本がない」が29%と最も多く、次いで「本を読むのがきらい」21%、「学校図書館や図書館に行かない」18%となっている。

問5 あなたは、パソコンやタブレット、スマートフォンで、絵本や物語を読みますか



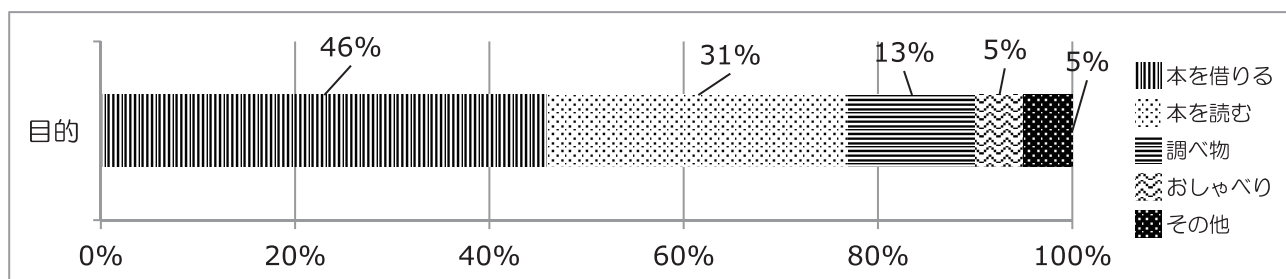
パソコンやタブレット、スマートフォンで、絵本や物語を読むかについては、「読まない」が75%と最も多くなっている。

問6 パソコンや、タブレットやスマートフォンで絵本や物語を読む理由はなんですか（問5でよく読む、ときどき読むの選択者のみ）



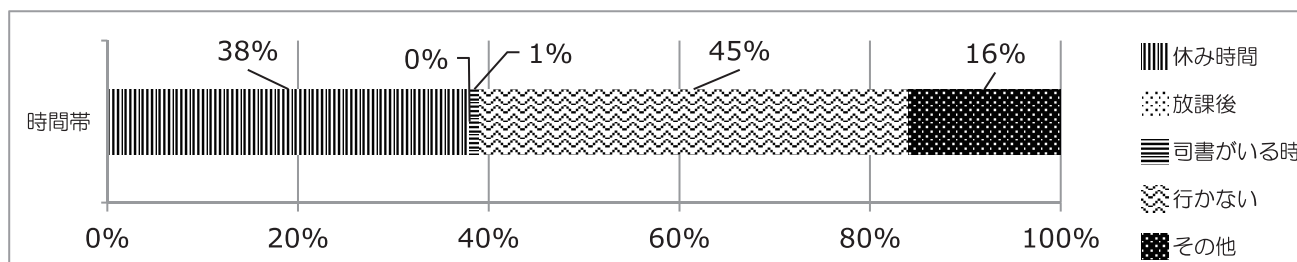
パソコンや、タブレットやスマートフォンで絵本や物語を読む理由については、「いつでもどこでも読めるから」が33%、次いで「本を買ったり借りたりしなくてもよい」27%となっている。

問7 学校図書室には何をしに行きますか

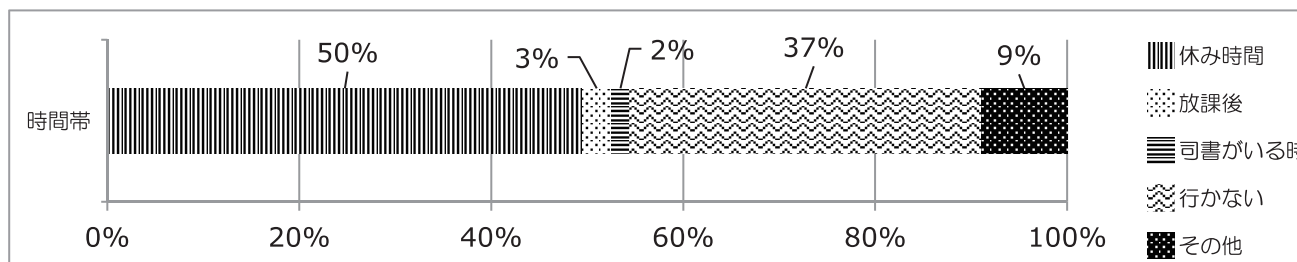


図書室の利用目的については、「本を借りる」が46%、「本を読む」が31%となっている。

問8 学校図書室へいつ行きますか

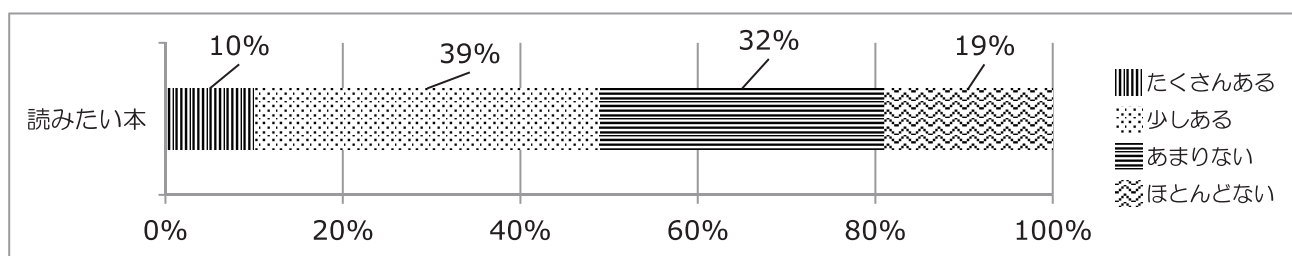


第3次計画策定時アンケート結果

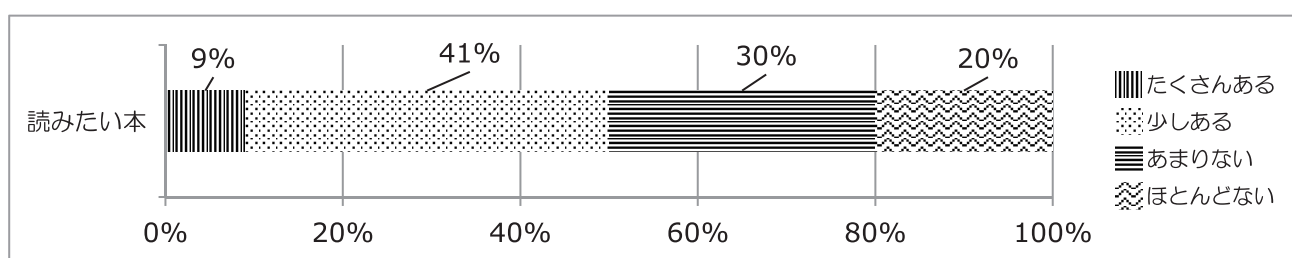


図書室を利用する時間帯について、第3次計画策定時は「休み時間」が50%と最も多かったが、今回は、「ほとんど行かない」が45%と最も多かった。その他の回答では、「授業中」、「図書の時間」などがあつた。

問9 学校図書室に読みたい本がありますか

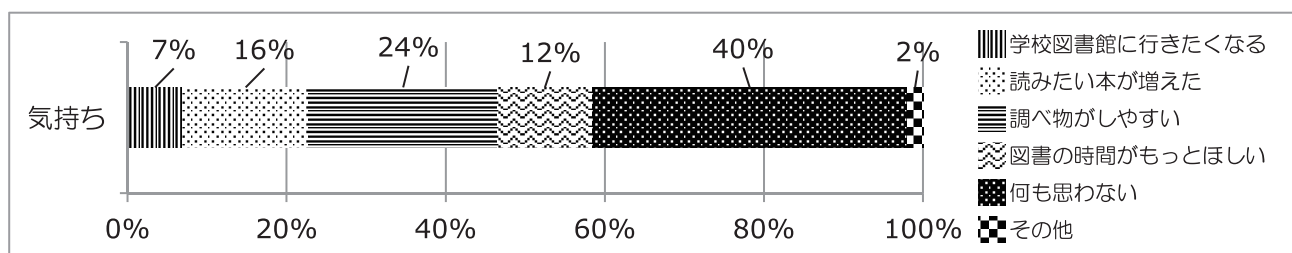


第3次計画策定時アンケート結果



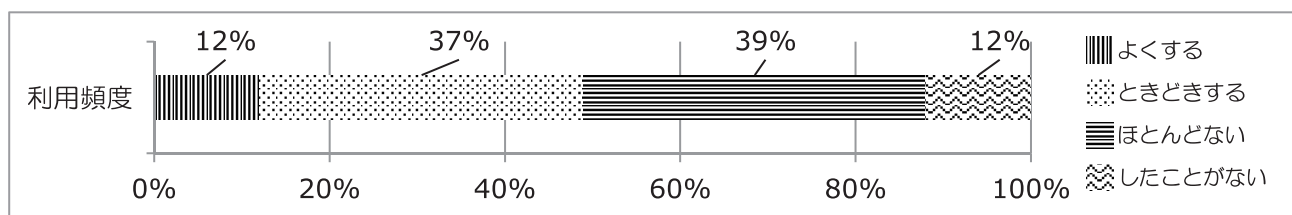
読みたい本があるかについて、第3次計画策定時、今回とも「少しある」が41%、39%と最も多く、次いで「あまりない」が30%、32%となっている。

問10 岩出図書館から学校図書館に司書が来ていることについてどう思いますか

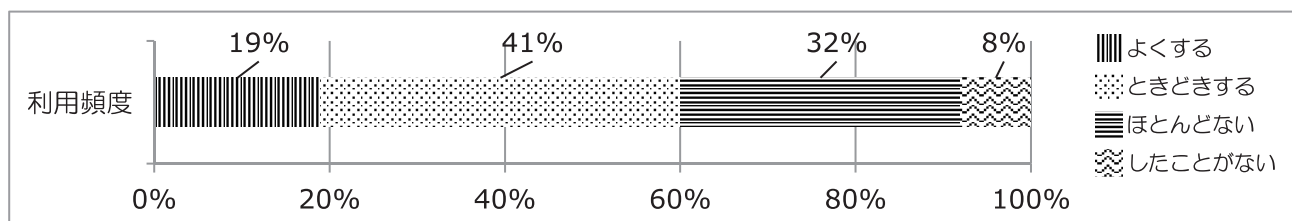


岩出図書館から学校図書館に司書を派遣したことにより子供たちの学校図書館への気持ちの変化として、「調べ物がしやすい」が24%と最も多く、次いで「読みたい本が増えた」が16%となっている。

問1 1 岩出図書館を利用しますか

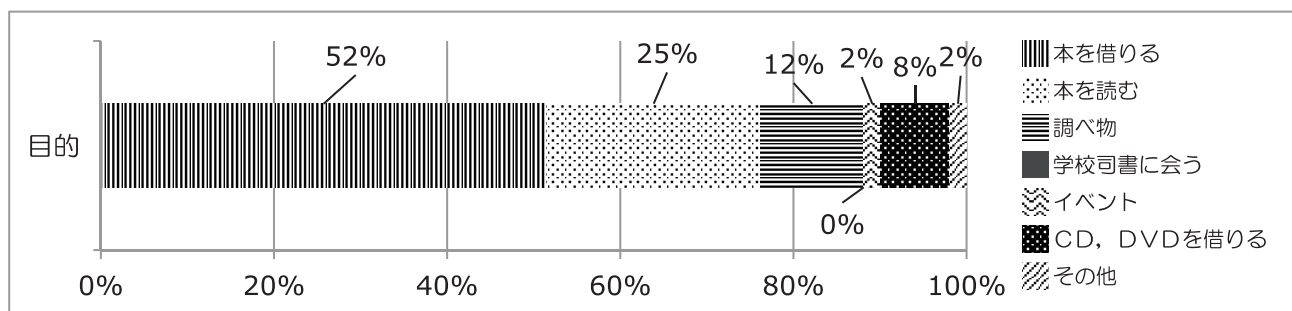


第3次計画策定時アンケート結果



岩出図書館を利用するかについて、第3次計画策定時には「よくする」「ときどきする」が併せて60%、今回は、「よくする」「ときどきする」が併せて49%となった。

問1 2 岩出図書館には何をしにいきますか（問1 2でしたことがない以外の選択者のみ）



岩出図書館へ行く目的について、「本を借りる」が52%と最も多く、次いで「本を読む」が25%、「調べ物」が12%となっている。

問1 3 最近、読んでおもしろかった本を教えてください（自由記述）（コミック、雑誌除く）

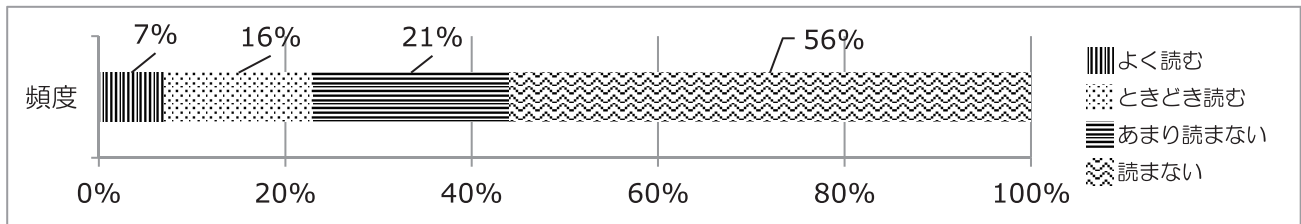
本の題名	件数	本の題名	件数
5秒後に意外な結末	5	銀河鉄道の夜	1
名探偵コナンシリーズ	4	そして5人がいなくなる	1
銭天堂	4	また、同じ夢を見ていた	1
ハリーポッターシリーズ	3	おはなしのろうそく	1
ぼくらシリーズ	3	妖怪の子預かります	1
サバイバルシリーズ	2	夜の小学校で	1
54字の物語	2	人は話し方が9割	1
ラストで君は「まさか！」と言う シリーズ	2	夢をかなえるゾウ	1
総長さま、溺愛中につき。	2	実験対決シリーズ	1
ざんねんな生き物辞典	2	日本史探偵コナンシリーズ	1
ジュニア空想科学読本シリーズ	2	野イチゴジュニア文庫	1
スパイ教室	2	死にたがりの君に贈る物語	1

本の題名	件数	本の題名	件数
あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら	1	生きてさえいれば	1
スガリさんの感想文はいつだって斜め上	1	戦国人物伝 徳川家康	1
霧島君は普通じゃない	1	今日から死神やってみた	1
推し、燃ゆ	1	パンプキン	1
赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。	1	変な家	1
だから僕は大人になれない	1	学習マンガ 日本の歴史	1
サマーウォーズ	1	アスリートの魂	1
ホームレス中学生	1	なるほど忍者大図鑑	1
ひみつシリーズ	1	モモ	1
わたしの本	1	君の名は	1
ねこまつりのしょうたいじょう	1	竜とそばかすの姫	1
キッドナップ・ツアー	1	東大ナゾトレ	1
君の顔では泣けない	1	少女ポリアンナ	1
ゲームの攻略本	1	怪狩り	1
三毛猫ホームズの推理日記	1	だから僕は大人になれない	1
最悪な一日	1	人間失格	1
教科書に出てくる歴史人物物語シリーズ	1	UFO すくい	1
学校は行かなくてもいい	1	グレッグのダメ日記	1
5分後に涙	1	かみさまにあいたい	1
つきよのキャベツくん	1	恋に至る病	1
君の脾臓を食べたい	1	歴史漫画タイムワープシリーズ	1
チョコレート工場の秘密	1	ドラゴンクエストモンスター大図鑑	1
夏休みルーム	1	サステナブル・ビーチ	1
トム・ソーヤーの冒険	1	カナとイセタの宝石探し	1
世界一クラブ	1	恋する5ページ名作	1
失はれる物語	1	論理的に説明する技術	1
ズッコケシリーズ	1		

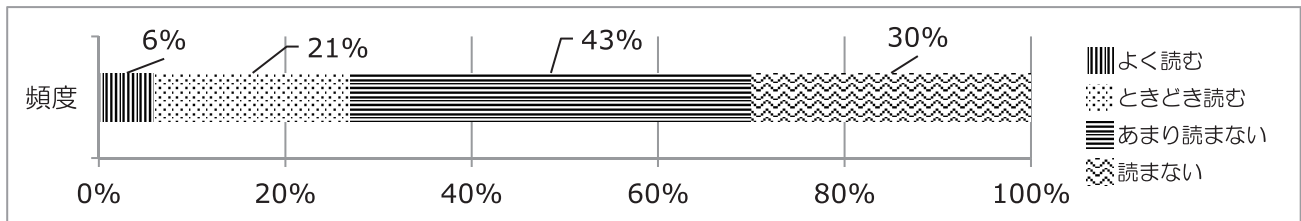
中学2年生

回答者数
68人

問1 あなたは本を読みますか

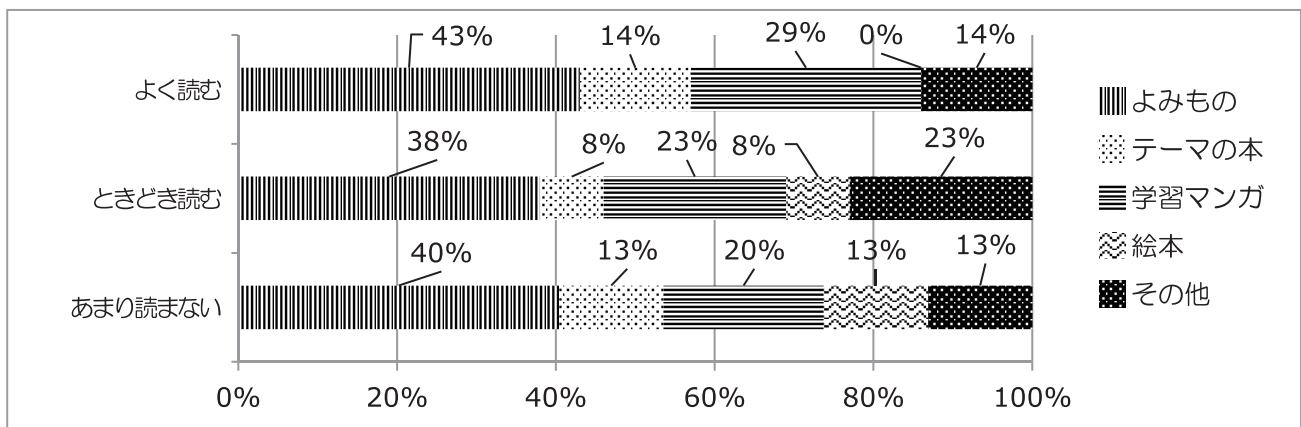


第3次計画策定時アンケート結果



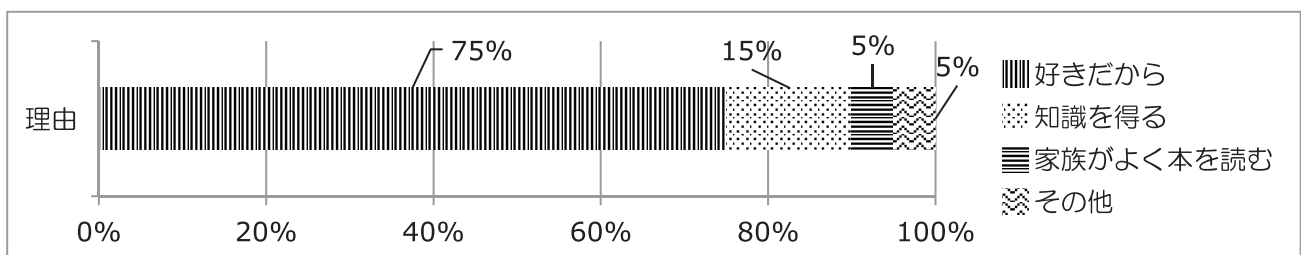
本をよく読むかという問いでは、第3次計画策定時では「よく読む」「ときどき読む」を合わせると27%となっており、今回は「よく読む」「ときどき読む」を合わせて23%となり減少している。

問2 何を読みますか



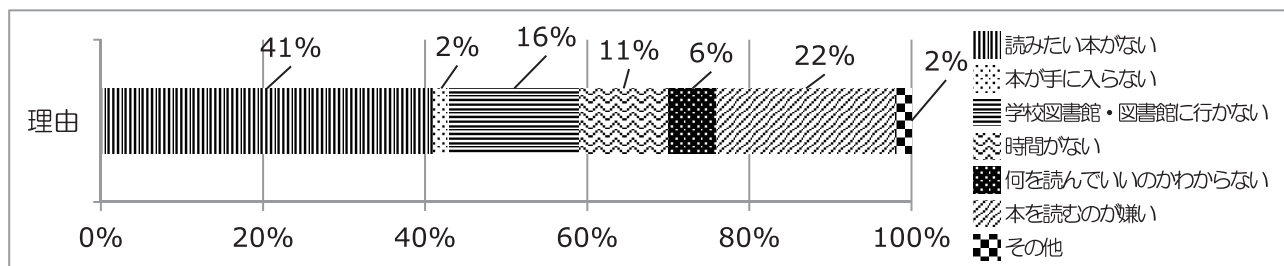
本の読む頻度別にみると、全体的に「よみもの」の割合が最も多く、次いで「学習マンガ」の割合が高くなっている。

問3 本を読む理由は何ですか（問1でよく読む、ときどき読むの選択者のみ）

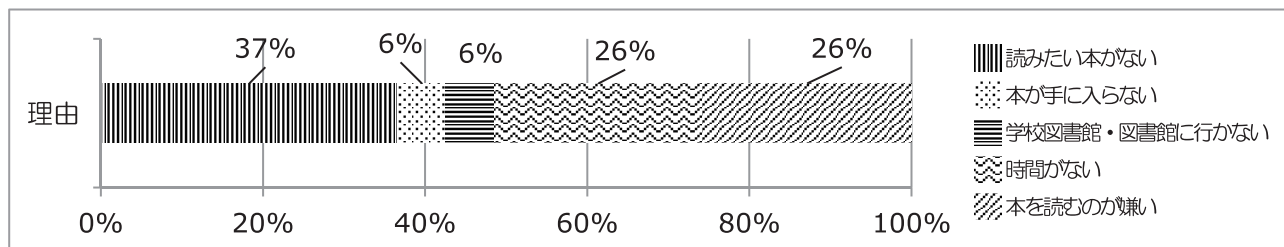


本を読む理由は、「好きだから」75%と最も多く、次いで「知識を得るため」が15%となっている。

問4 本を読まない理由は何ですか（問1であまり読まない、読まないを選択者のみ）

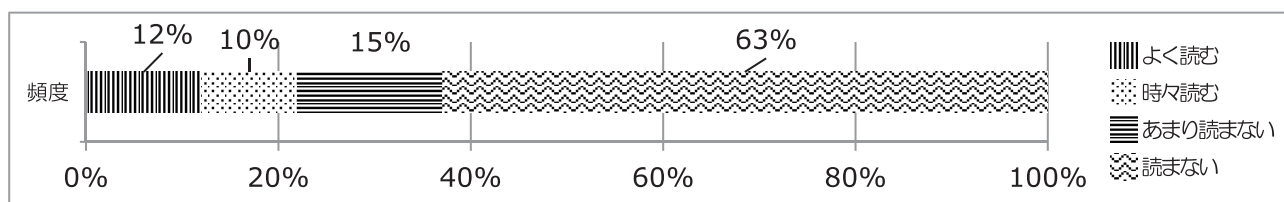


第3次計画策定時アンケート結果



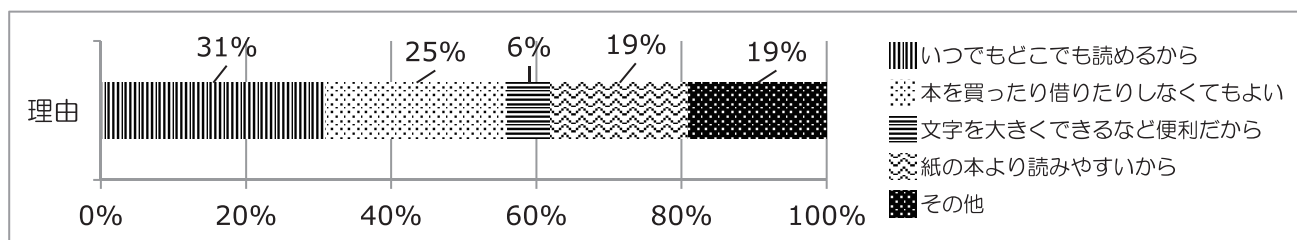
本を読まない理由は、第3次計画策定時、今回とも「読みたい本がない」が37%、41%と最も多くなっている。

問5 あなたは、パソコンやタブレット、スマートフォンで、小説や物語を読みますか



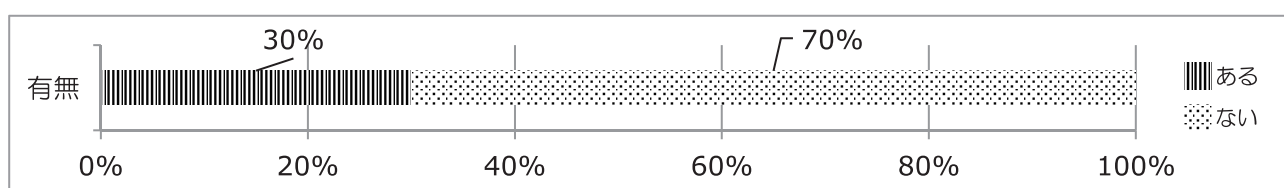
パソコンやタブレット、スマートフォンで、小説や物語を読むかについては、「読まない」が63%と最も多くなっている。

問6 パソコンや、タブレットやスマートフォンで小説や物語を読む理由はなんですか（問5でよく読む、ときどき読むの選択者のみ）



パソコンや、タブレットやスマートフォンで小説や物語を読む理由については、「いつでもどこでも読めるから」が31%、次いで「本を買ったり借りたりしなくてもよい」が25%となっている。その他の回答では、「紙の本を借りたり、読んだりが面倒だから」「おもしろそうな本を試し読みできるから」などがあった。

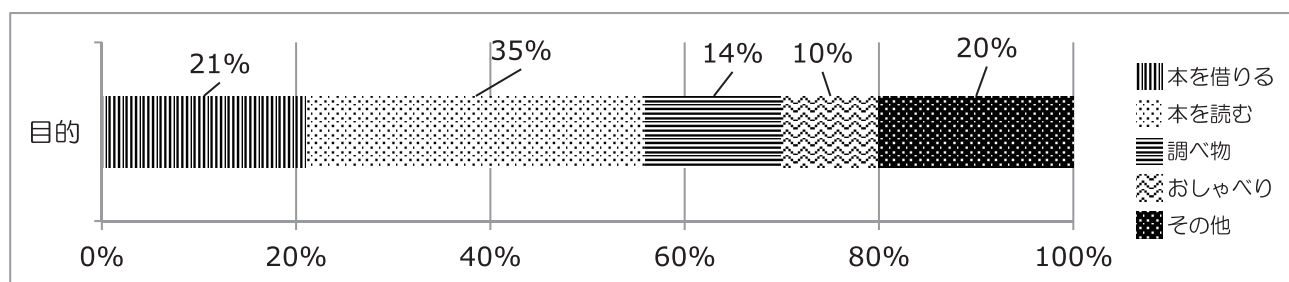
問7 自分で大切にしている、気に入った本があったら教えてください（マンガ、雑誌除く）



大切にしている本があるかという問いでは「ある」が30%となった。

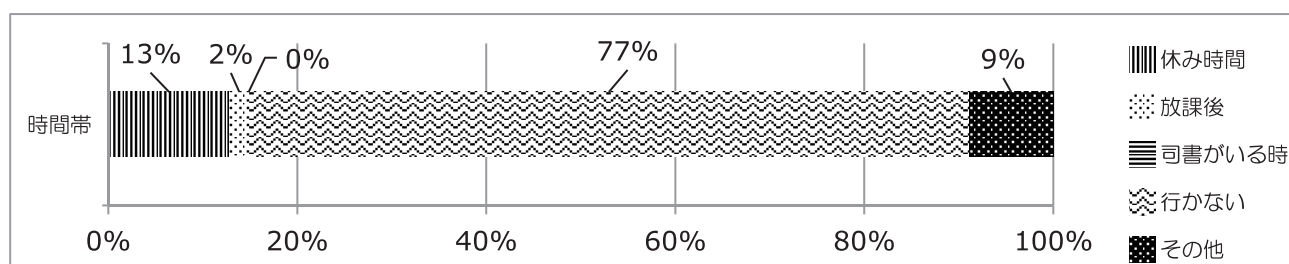
本の題名	件数	本の題名	件数
あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	2	ナルニア国物語	1
チームふたり	1	海色ダイアリー	1
雨ふる本屋	1	パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々	1
平成くん、さようなら	1	人間失格	1
時給三〇〇円の死神	1	余命 3000 文字	1
アーモンド	1	生きてさえいれば	1
怪物はささやく	1	贖罪	1
エルマーのぼうけん	1	IQ 探偵ムー	1
やさしいあくま	1	かがみの孤城	1
給食番長	1		

問8 学校図書館には何をしに行きますか

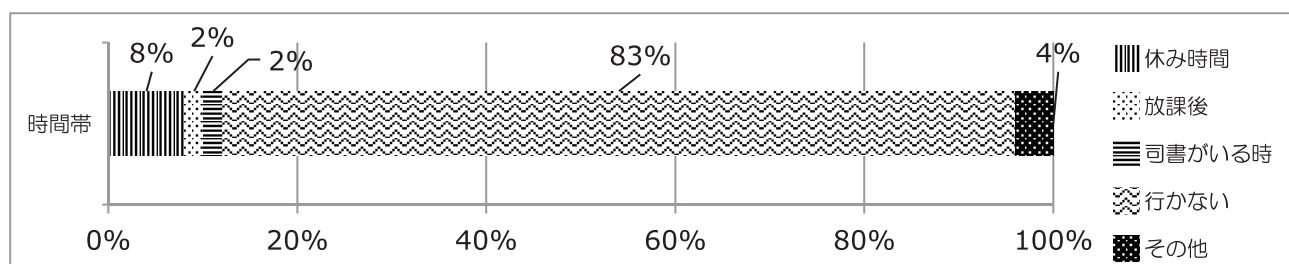


図書館の利用目的については、「本を読む」が35%、次いで「本を借りる」が21%となっている。「調べもの」が14%、「おしゃべり」が10%となっており、その他の回答では、「係の仕事」「行かない」などがあつた。

問9 学校図書館へいつ行きますか

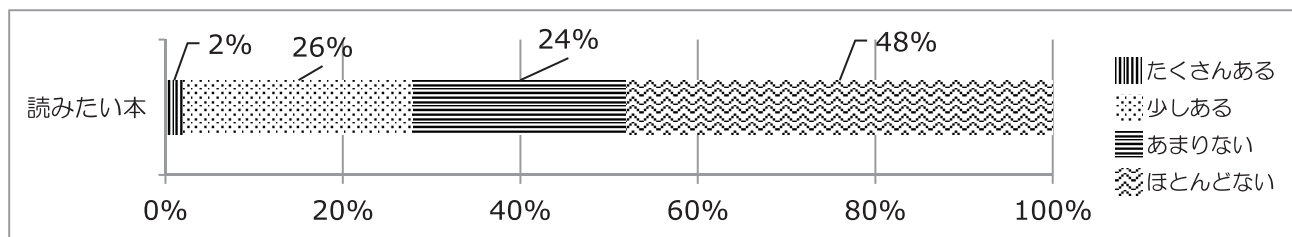


第3次計画策定時アンケート結果

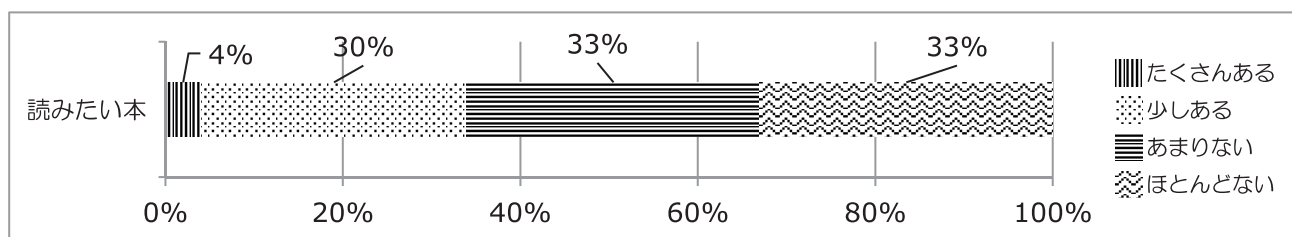


図書館を利用する時間帯について、第3次計画策定時は「行かない」83%と最も多かったが、今回も同じく「行かない」が77%と最も多くなった。その他の回答では、「委員会の集まり」などがあつた。

問 10 学校図書館に読みたい本がありますか

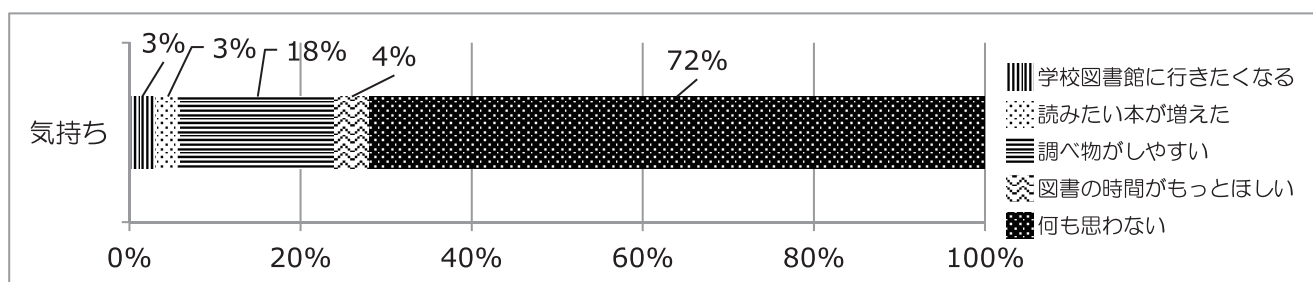


第3次計画策定時アンケート結果



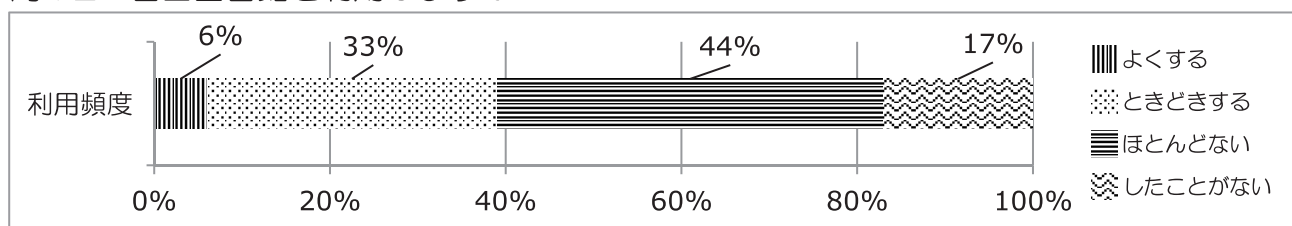
読みたい本があるかについて、第3次計画策定時は「あまりない」「ほとんどない」がそれぞれ 33% と最も多くなっていたが、今回は、「ほとんどない」が最も多くなっている。

問 11 岩出図書館から学校図書館に司書が来ていることについてどう思いますか

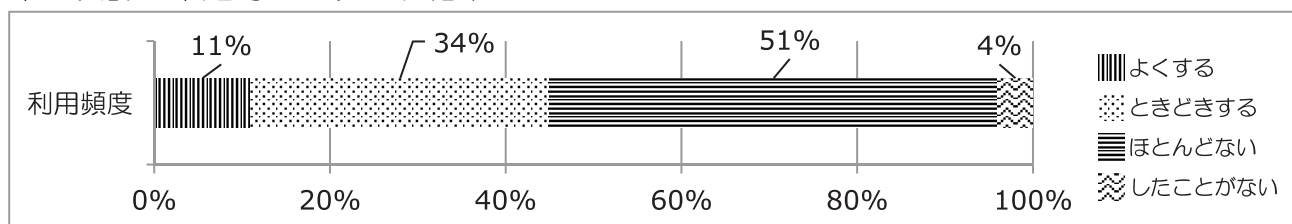


岩出図書館から学校図書館に司書が来ていることによる子供たちの図書室への気持ちの変化として、「調べものがしやすくなった」が 18% と最も多く、次いで「図書的时间がもっとほしい」が 4%、「学校図書館に行きたくなる」「読みたい本が増えた」が 3% となっている。

問 12 岩出図書館を利用しますか

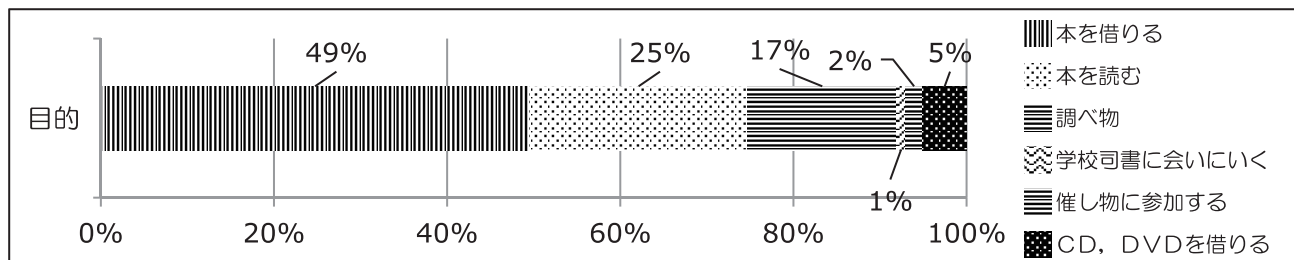


第3次計画策定時アンケート結果



岩出図書館を利用するかについて、第3次計画策定時では「よくする」「ときどきする」が合わせて 45% となっており、今回は「よくする」「ときどきする」が合わせて 39% となり減少している。

問 1 3 岩出図書館には何をしにいきますか（問 1 2 でしたことがない以外の選択者のみ）



岩出図書館へ行く目的について、「本を借りる」が49%と最も多く、次いで「本を読む」25%、「調べ物」17%となっている。

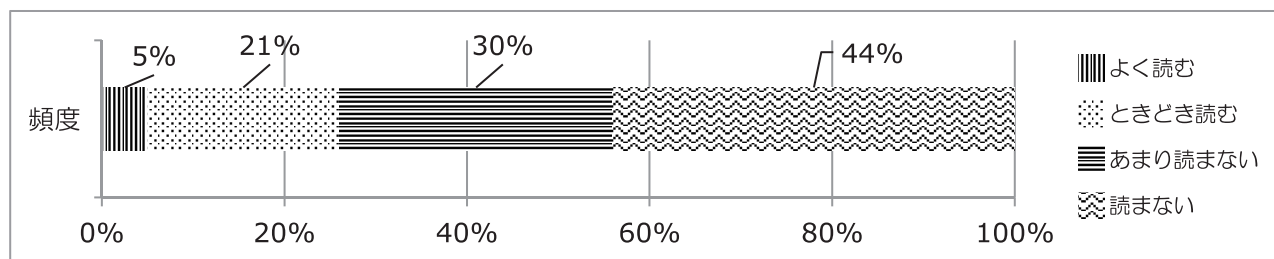
問 1 4 最近、読んでおもしろかった本を教えてください（自由記述）（雑誌除く）

本の題名	件数
「のび太」という生きかた	1
家族セッション	1
こころ（夏目漱石）	1
ハリーポッターシリーズ	1
怪物はささやく	1
花を見るように君を見る	1
海色ダイアリー	1
浅草鬼嫁日記	1
余命 3000 文字	1
ざんねんないきもの事典	1
かがみの孤城	1

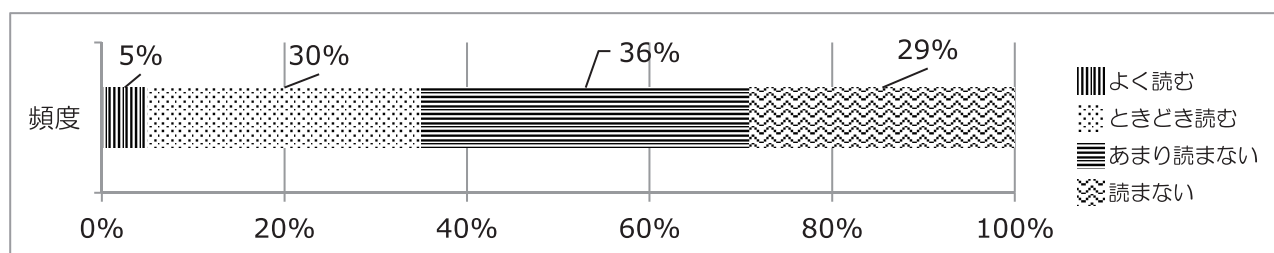
保護者（小学3年生、小学6年生）

回答者数
340人

問1 あなたは本を読みますか

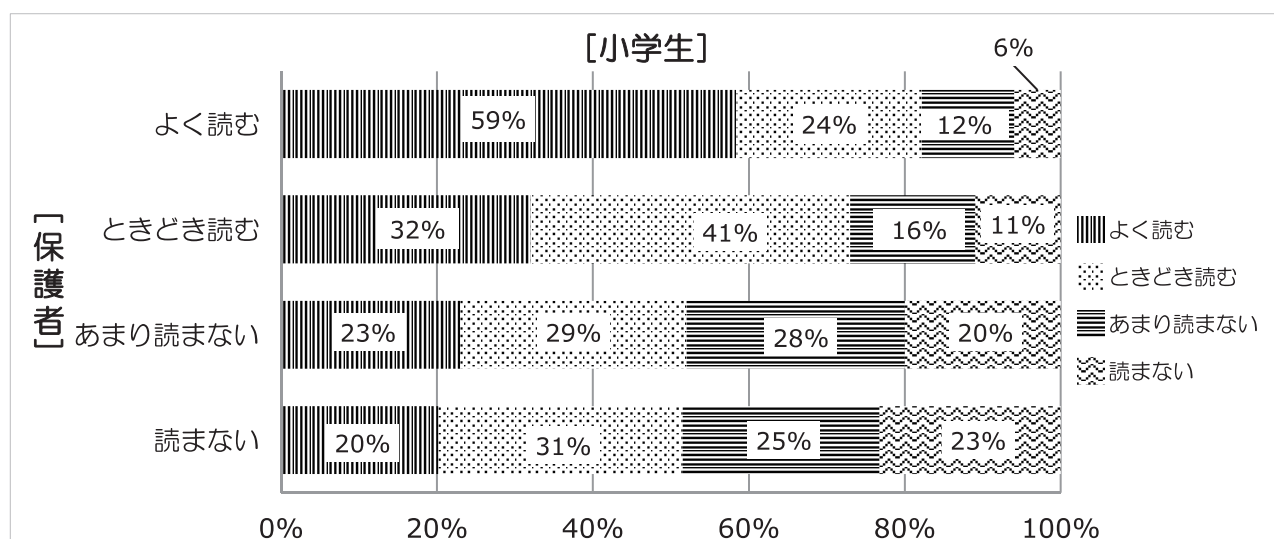


第3次計画策定時アンケート結果



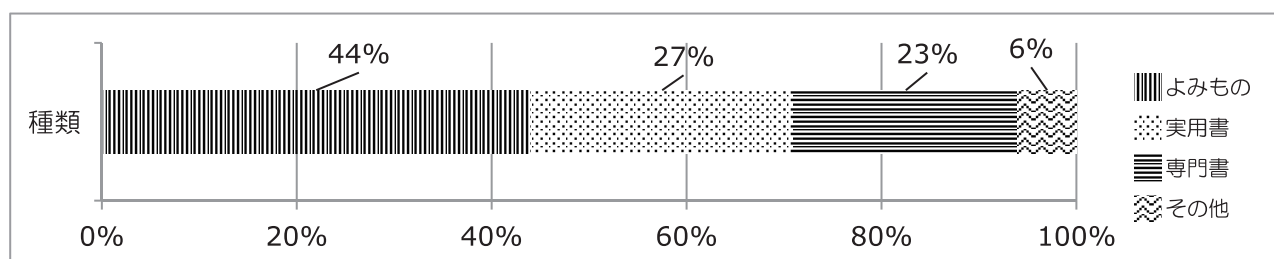
本をよく読むかという問いでは、第3次計画策定時「よく読む」「ときどき読む」を合わせると35%となっており、今回は「よく読む」「ときどき読む」を合わせると26%となり減少している。

問1-1 問1の保護者の本を読む頻度別にみる子供の本を読む頻度



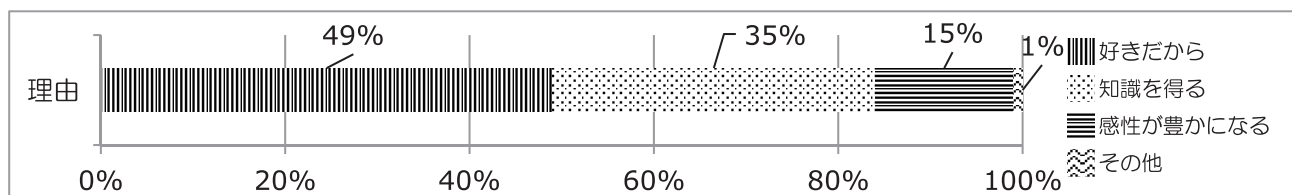
本を「よく読む」と回答した保護者の子供は本を「よく読む」割合が高くなっている。

問2 何を読みますか



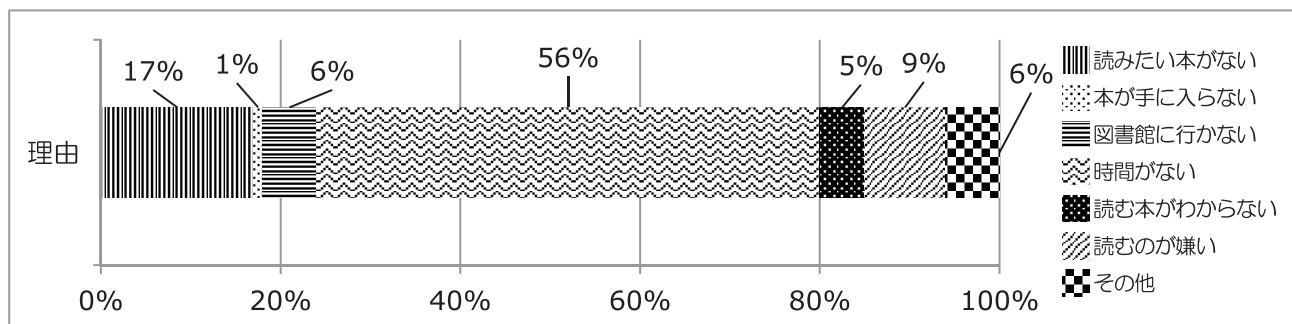
読む本の種類については「よみもの」が44%と最も多く、次いで「実用書」27%となっている。

問3 本を読む理由は何ですか（問1でよく読む、ときどき読むの選択者のみ）



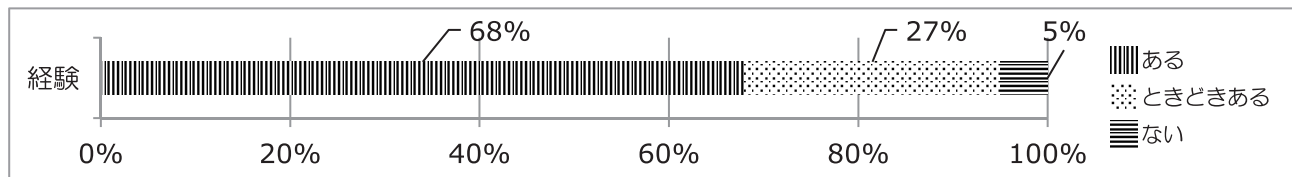
本を読む理由は、「好きだから」49%と最も多く、次いで「知識を得るため」が35%となっている。その他の回答では、「ひまだから」などがあった。

問4 本を読まない理由は何ですか（問1であまり読まない、読まないの選択者のみ）

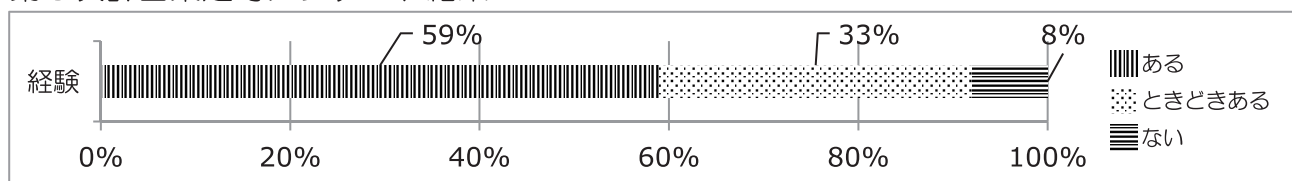


本を読まない理由は、「時間がない」が56%と最も多く、次いで「読みたい本がない」17%となっている。その他では「スマホを見てしまう」「雑誌やマンガを読むから」などがあった。

問5 子供と一緒に本を読んだり、今までに子供に昔話や本を読んであげたことはありますか

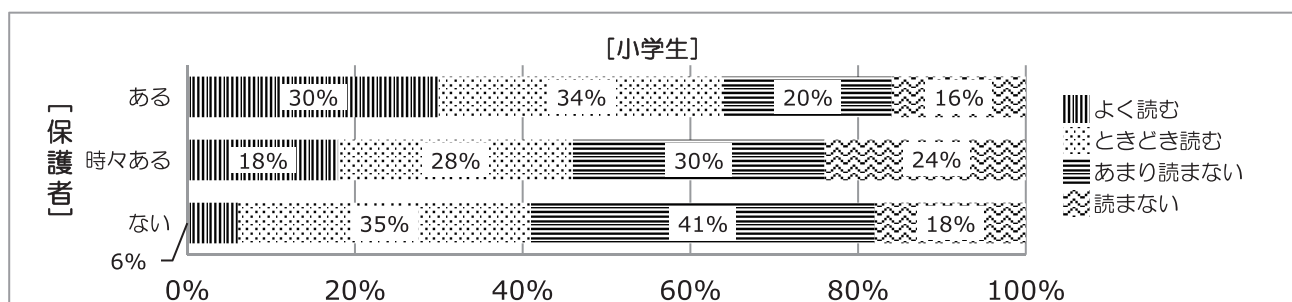


第3次計画策定時アンケート結果



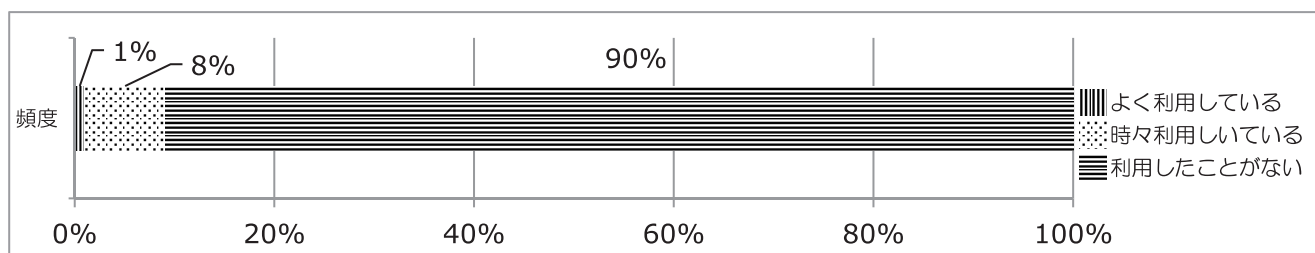
子供への読み聞かせの経験については、第3次計画策定時、今回とも「ある」が59%、68%と最も多くなっている。

問5-1 保護者からの読み聞かせの有無による子供の読書頻度



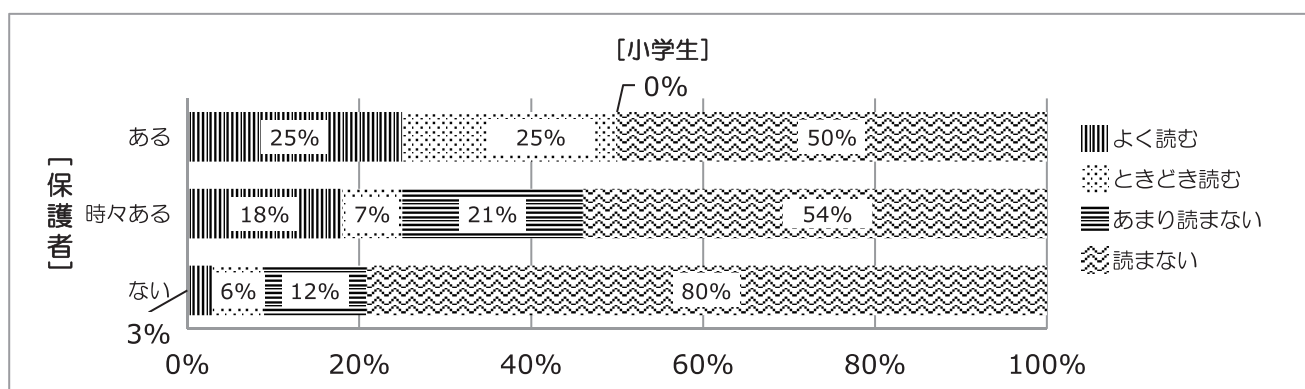
保護者が読み聞かせなどを行っているほうが、子供の読書頻度の割合が高い。

問6 あなたは、お子さんと絵本を読む際に、パソコンやタブレット、スマートフォンを使って、電子書籍を利用したことがありますか



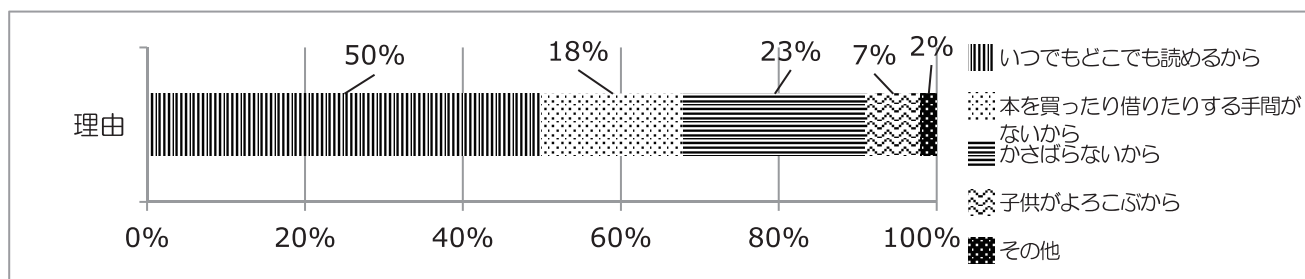
子供と絵本を読む際に、電子書籍を利用したことがあるかについて、「利用したことがない」が90%と最も多くなっている。

問6-1 保護者が子供と絵本を読む際の電子書籍の利用の有無による子供の電子書籍の利用頻度



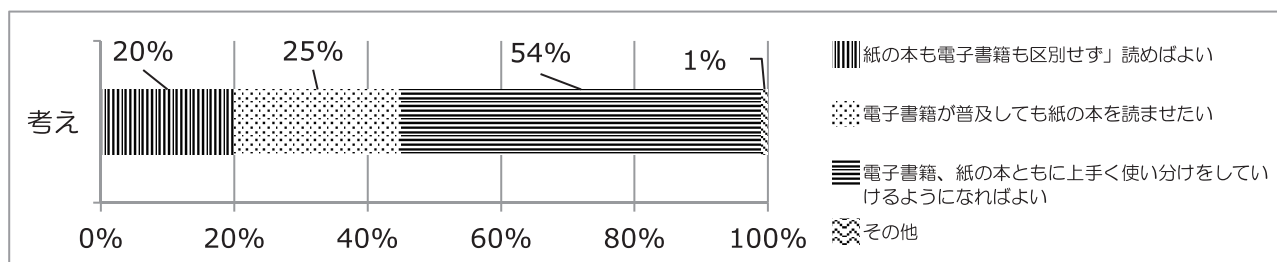
保護者が子供と絵本を読む際に電子書籍を利用したことがあるほうが、子供の電子書籍の利用頻度の割合が高い。

問7 お子さんと絵本を読む際に、電子書籍を利用する理由は何ですか（問4でよく利用している、ときどき利用しているの選択者のみ）



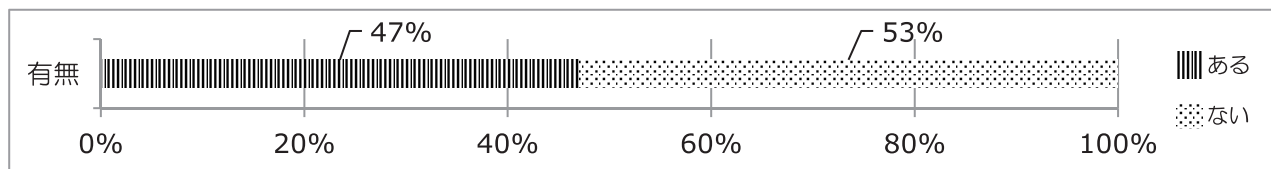
子供と絵本を読む際に、電子書籍を利用する理由としては、「いつでもどこでも読めるから」が50%と最も多くなっており、次いで「かさばらないから」が23%となっている。

問8 電子書籍と、子供の読書についてどのように思われますか



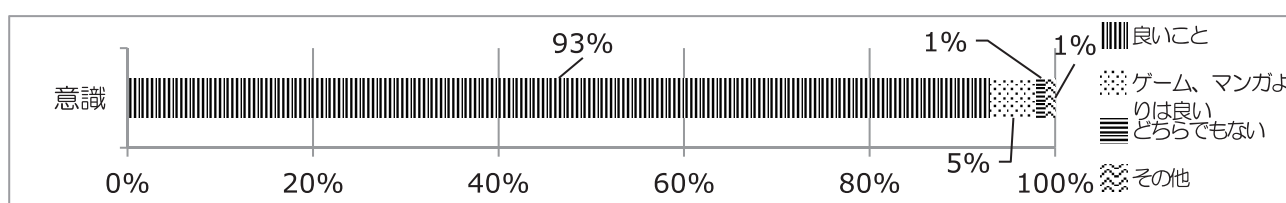
電子書籍と、子供の読書については、「状況に応じて電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい」が54%で最も多く、次いで「電子書籍が普及しても紙の本を読ませたい」が25%となっている。

問9 あなたがいままで読んだ本の中で、子供と一緒に読みたい本を教えてください
(読みたい本の題名は末尾に記載)



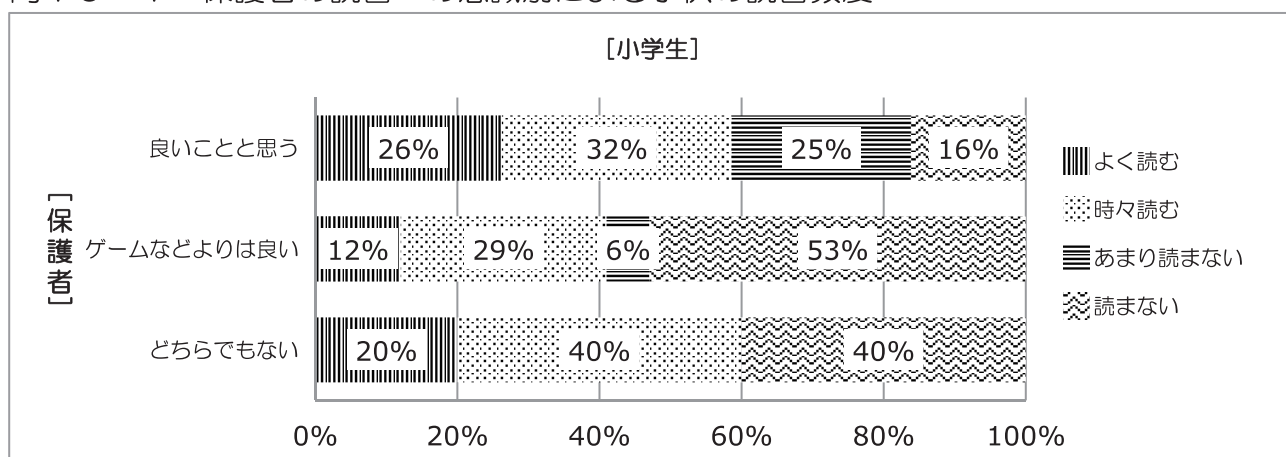
子供と一緒に読みたい本の有無は、概ね半々となっている。

問10 子供が本を読むのは良いことだと思いますか



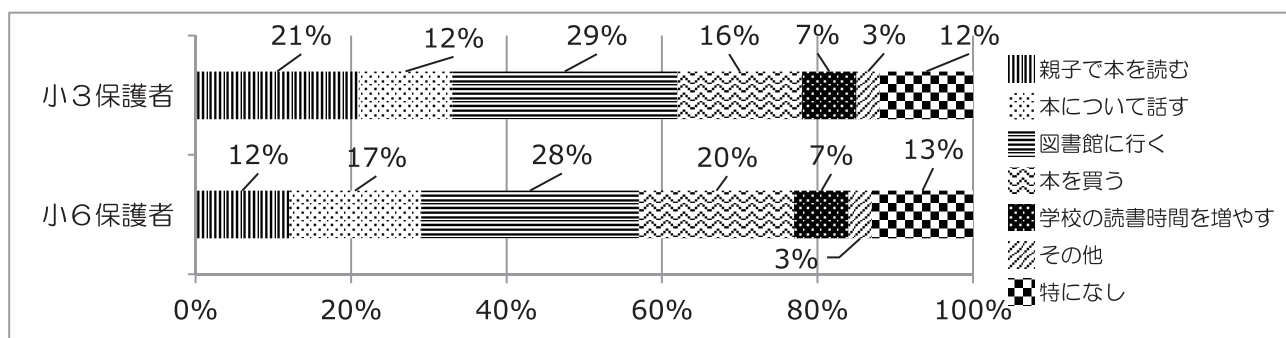
子供が読書することが良いことかどうかについては、「良いことと思う」がほとんどである。その他の回答では、「好きにしたらいいと思う」などがあつた。

問10-1 保護者の読書への意識別による子供の読書頻度



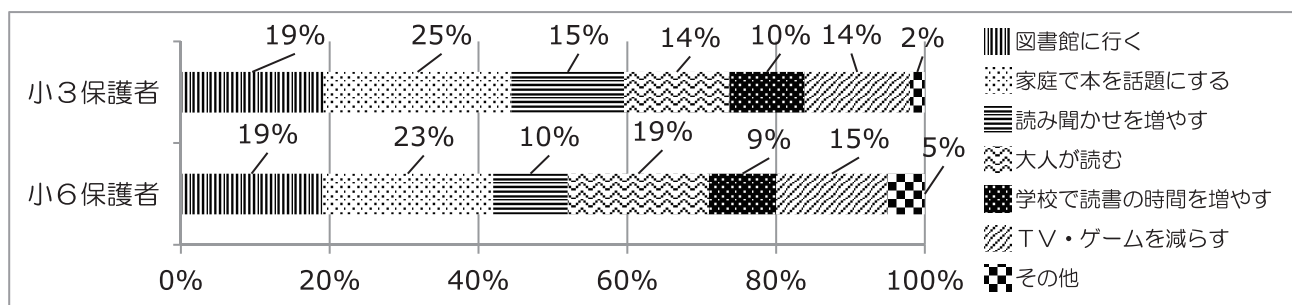
保護者の読書への意識別では、良いことと思っている保護者の子供の読書頻度の割合は「よく読む」が26%と最も高くなっている。

問11 子供が読書を楽しむために必要なことは何ですか、またしていることはありますか



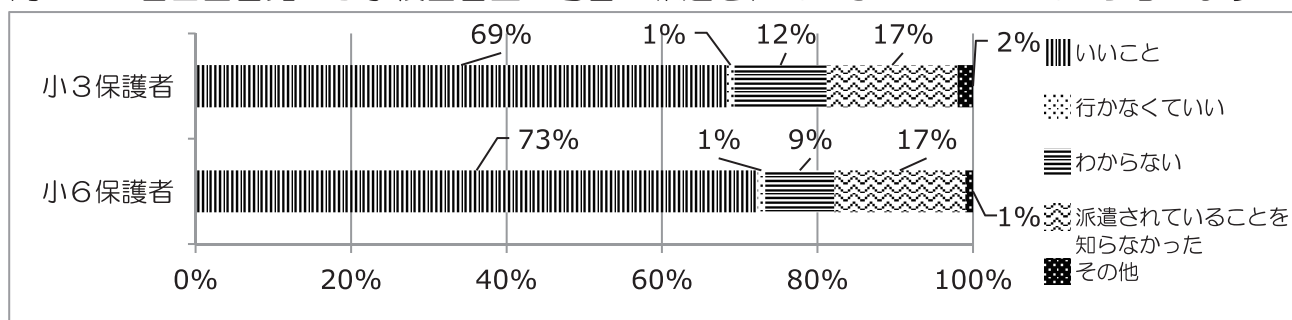
保護者は子供が読書を楽しめるよう何をしているかという問いについて、小学3、6年生保護者とも「図書館に行く」が最も多く、次いで小学3年生保護者が「親子で本を読む」小学6年生保護者が「本を購入する」となっている。その他の回答としては「すぐ手にとれるところに本を置く」、「探せば自分好みの本があるということを実体験させる」などがあつた。

問12 どうすれば子供がもっと本を読むようになりますか



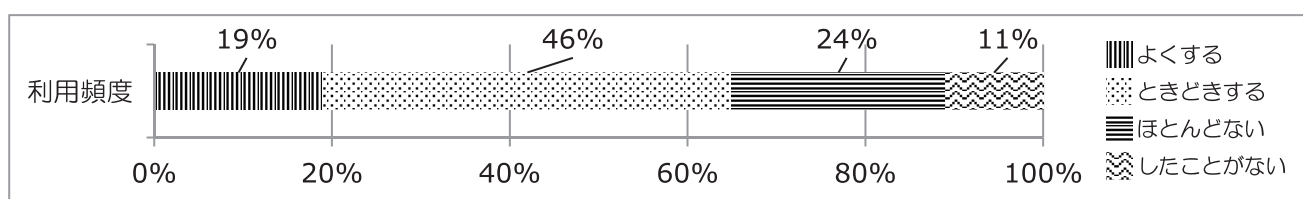
子供が本を読むようになる方法について、小学3、6年生保護者とも「家庭で本を話題にする」が最も多くなっており、次いで、小3保護者は「図書館に行く」小6保護者は「図書館に行く」「大人が本を読む（読んでいる姿をみせる）」となっている。その他の回答としては「友達同士でオススメの本を教えあう」「テレビやゲームより本を読むことが楽しいと思わせるまたは、楽しいと思えるように本を紹介する」「家族と一緒に読書の時間を設ける」などがあつた。

問13 岩出図書館から学校図書室に司書が派遣されていることについてどう思いますか

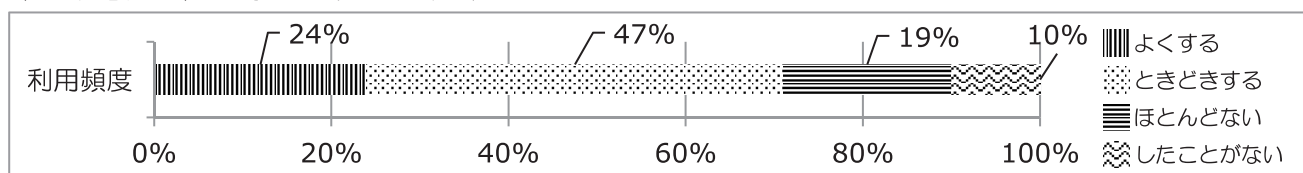


岩出図書館から司書が派遣されたことで派遣をいいことと思う保護者がほとんどであった。

問14 岩出図書館を利用しますか

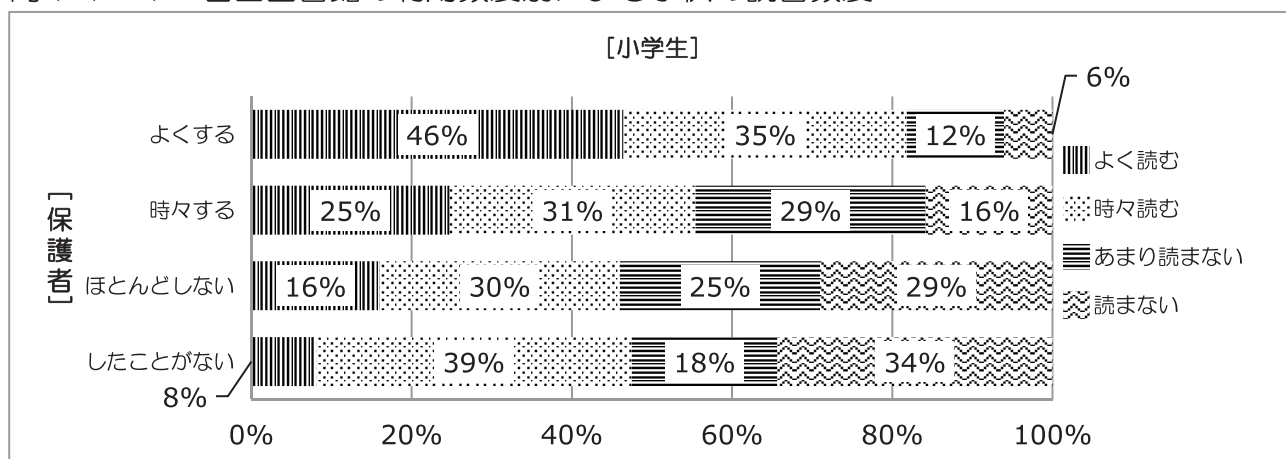


第3次計画策定時アンケート結果



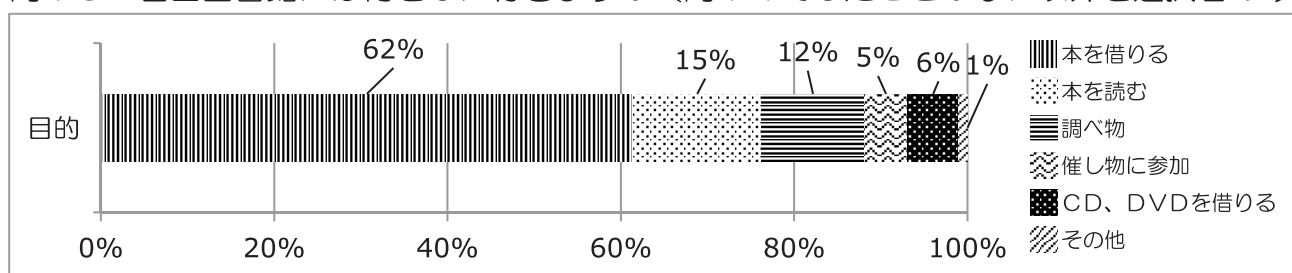
岩出図書館の利用頻度について、第3次計画策定時では「よくする」「ときどきする」を合わせると71%あり、今回では「よくする」「ときどきする」を合わせると65%となり減少している。

問14-1 岩出図書館の利用頻度別による子供の読書頻度



保護者が岩出図書館を利用する頻度別により子供の読書頻度の割合をみると図書館をよく利用する子供のほうがよく本を読む割合が高い。

問15 岩出図書館には何をしに行きますか（問14でしたことがない以外を選択者のみ）



岩出図書館に行く目的としては「本を借りる」が62%と最も多く、次いで「本を読む」15%となっている。

問16 子供と本についての意見、感想（末尾に記載）

自由記述

問9で「ある」を選択した人の子供に読ませたい本の題名

[小学3年保護者]

本の題名	件数	本の題名	件数
ハリーポッターシリーズ	4	しずくのぼうけん	1
星の王子さま (The little prince)	3	ママのスマホになりたい	1
こんとあき	2	盲導犬サーブ	1
じぶんだけのいろ	2	マフィンおばさんのぱんや	1
ズッコケ3人組シリーズ	2	「だるまん」シリーズ	1
ノラネコぐんだんシリーズ	2	もう ぬげない	1
十二国記	1	グッド ラック	1
わたしがあなたを選びました	1	ちょっとだけ	1
はだしのゲン	1	ロビンソン・クルーソー	1
耳の聞こえないメジャーリーガーウィリアム・ホイ	1	くれよんのくろくんシリーズ	1
こころ	1	クレヨン王国の十二か月	1
赤毛のアン	1	魔女の宅急便	1

本の題名	件数	本の題名	件数
昔話	1	はらぺこあおむし	1
あらしのよるに	1	ねずみくんシリーズ	1
だるまんシリーズ	1	おれはティラノサウルスだ	1
わかったさんシリーズ	1	長ぐつをはいたねこ	1
おまえうまそうだな	1	偉人伝	1
ひとりぼっちのさいしゅうれっしゃ	1	歴史物	1
わたしのいもうと	1	おうち性教育はじめます	1
パーティミアス	1	11 ぴきのねこ	1
ぐりとぐら	1	10 才までに覚えたい言葉 1000	1
探偵ガリレオ	1	EARTH おじさん 46 億才	1
モチモチの木	1	よくできました	1
100 万回生きたねこ	1	フランダースの犬	1
おへそのあな	1	ノタンシリーズ	1
うどんのうーやん	1	おやすみロジャー	1
大どろぼうホツツェンプロッツ	1	ちょっとだけ	1
モモ	1	とべ! ちいさいプロペラき	1
学問のすゝめ	1	3びきのかわいいオオカミ	1
バムとケロ	1		

[小学6年保護者]

本の題名	件数	本の題名	件数
ハリーポッター	6	ハチ公物語	1
モモ	3	しろくまちゃんのほっとけーき	1
博士の愛した数式	3	エルマーのぼうけん	1
どうぞのいす	2	赤毛のアン	1
ぐりとぐら	2	クヌギ林のざわざわ荘	1
星の王子さま	2	星新一ショートショートセレクション	1
バムとケロシリーズ	2	はらぺこあおむし	1
はてしない物語	2	おおきな木	1
にじいろのさかな	1	注文の多い料理店	1
カラスのパン屋さん	1	えんとつ町のプペル	1
じぶんだけのいろ	1	ふゆじたくのおみせ	1
ゲド戦記	1	わたしがあなたを選びました	1
ムジナ探偵局	1	一杯のかけそば	1
人はなんで生きるか	1	ホームレス中学生	1
人間失格	1	おこだでませんように	1
五体不満足	1	命はどうしてたいせつなの?	1
北極のムーシカミーシカ	1	窓ぎわのトットちゃん	1
ナイチンゲール	1	1 歳から 100 歳の夢	1

本の題名	件数	本の題名	件数
ジレンマ	1	長くつ下のピッピ	1
終末のフール	1	こども「学問のすすめ」	1
岳物語	1	なつペンギン	1
たからもののあなた	1	三銃士	1
走れメロス	1	ピラミッド帽子よ、さようなら	1
おおきな木	1	だるまさんシリーズ	1
最後だとわかっていたなら	1	さっちゃんのまほうのて	1
なぜ若者たちは笑顔で飛び立っていったのか	1	窓ぎわのトットちゃん	1

問16の感想・意見

〔小学3年保護者〕

たくさん本を読んでもらいたい。
本を読むことで字を学べ、もっと読む機会を増やしたいと思います。
本を読むことで読解力もつき良いことだから読むようにしていきたい。
子供時代に心を豊かにする本といっぱい出会ってほしいです。
いつも図書館利用させてもらってます。よみきかせ、とてもありがたいです。
借りたり読んだりした本の冊数を競うような取り組みは読書を楽しむことにつながらないように思います。
感想文を書くのが苦手です。
読み聞かせの機会を家でも作り、もっと本を読んでほしいと思う。
移動図書のような売りに来てくれたら・・・とおもうことがあります。本、大好きなので・・・
読書をめんどくさがることを（マンガは大好き）改善していただきたい。
今回をきっかけにまた本を借りに行って子供とよんでみようと思います。
ショートストーリーがたくさんつまんだ本があると読みやすいです。
動画も良いですが、文字から想像して楽しむことも知ってほしいと思います。
幼い頃から読み聞かせや本を読む（自分で）習慣をつけていた方が絶対良いと思う。
絵本は親子で好きでよく読み聞かせもしますが、そこから物語など子供が自分で読む本へ移行が難しく感じています。（なかなか自分でじっくり読んでくれない）
子供が一人で図書館に行ける場所にあったらよかった。そして岩出図書館はルールが厳しすぎます。
絵本はできるだけ読み聞かせを行い、想像力をつけたいと思います。
本を「集中してよむ」「声に出して読む」機会をもっとふやしてください。

〔小学6年保護者〕

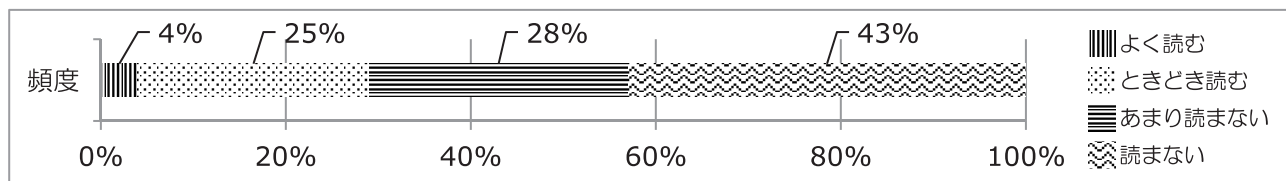
本を借りにいくのも返却するのもめんどろ。でも紙の方が好き。
子供が幼い頃に図書館によく通ったり、読み聞かせをすることによって、本が好きになり、それによってうちの子も本を読むことに抵抗がなく、本の世界を好きになったと思います。
担任の先生による、本の読み聞かせがあって、家庭内でもその事について話をする機会が増えました。ありがとうございます。
携帯等の所持により、本を手に取り、本にて字を追うことが少なくなり気を付けないと思います。
本を好きになってほしい。

幼児までに「ひろば読み」等、楽しい雰囲気の中で絵本に親しむことが、小学生からの読書にもつながるのではないのでしょうか。
現在一人一人に渡しているタブレットに電子書籍を入れてもらえるとありがたい。
難しい本じゃなく、子供が興味ある本をたくさん読んでほしいと思います。図鑑でも。そこから得た知識でクイズをしたり親子で楽しんでいます。
国、年代などを気にせず本はたくさん読んだ方がいいと思う。
色々視野が広がると思うのでいいと思う。
なんとなく図書館は静かで入りにくいイメージがあります。もう少しポップな感じだと入りやすい気がします。
内容を精査された本は、デジタルの情報より正確で信用できるので、やっぱり本を自分で読める子供を増やす教育に力を入れるべきだ。
本を読む時間は少ないと思います。スマホでゲームをしたりして本を読まなくなった。もっと図書の本を借りて読むようにさせたい。(親も同じ)
和歌山市立図書館のように、自習ができたりパソコンを持ちこめたり・・・もっと自由な雰囲気図書館が利用できれば本や図書館を身近に感じられると思う。
費用がかかるといってるが、通帳(図書本)があればもっと本を読むことが増えるのでは？図書館(根来)が入りづらい。最近はやわからないが、検温やカード提示、書類の記入など今はコロナが落ち着いているので、もう少し検温、消毒は徹底して、入館を緩和してほしい。
読ませようとしても読まないけど、ある時急に自ら読みはじめるものなんだなあ最近分かりました。自分で好きな本を見つけて、よく読むようになりました。学校のビブリオバトルはよい機会だと思います。大人がすすめるよりも同世代の子がすすめる本の方が読みたくなるようです。
もっと図書館へ連れていきたい。
図書館の冊数を増やしてほしい→医学・子育てについて。子育てについては新しい物とか読みたいです。
親の姿を見て育つと思うので親が本を読んでいないと読まないと思います。
どうすれば本を読む？というより、こどもたちがたくさん興味を増やせる機会があるか？という大人の問題で、面白い大人が少なすぎるんじゃないのかなー？って思う。機械みたいな頭で考えるより、大人が感情豊かに生きる姿が、こどもたちの色々な興味をもてる機会になると思っている。
もっともっと、色々な本を子供と読みたいなと思いました。
表現力や想像力、感情を豊かにするためにも幼少期から本に親しむことが大切だと思います。与えるだけでは読まないの、もっと小さな頃から親子で本を読む時間を無理してでも作っておくべきだったと反省しています。
大人になると時間がなかったり、老眼で見にくくなったりするので、若いうちにいろんな本を読んで欲しいです。
自分自身のこともそうですがデジタル化が進み、本を読むことも一層少なくなってきたので、そういうことから離れてゆっくり本を読むような時間を作ることも必要だと思う。
たくさんの知識をえるために本は必要であり、心にゆとりや安らぎを与えるのに必要である。
岩出図書館はきれいだし利用しやすい雰囲気毎週通ってました。子供のヒマ潰しにも大変助けてもらった場所です。コロナで足が遠のいてますが、またゆっくり子と一緒に利用したいと思います。
できるだけ小さいうちから本を読めるようにしておくことで、子供の世界は広がると思います。
本を通して勉強とは違う、生きるために必要な知識を得てくれると嬉しいです。
読書の楽しさを知るきっかけをもっと作ってあげることが必要だと思いました。

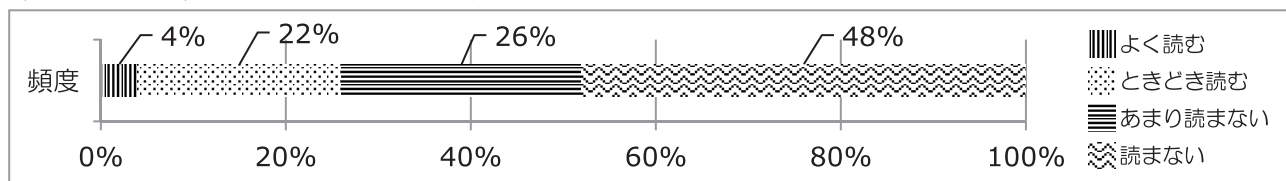
保 護 者（中学2年保護者）

回答者数
69人

問1 あなたは本を読みますか

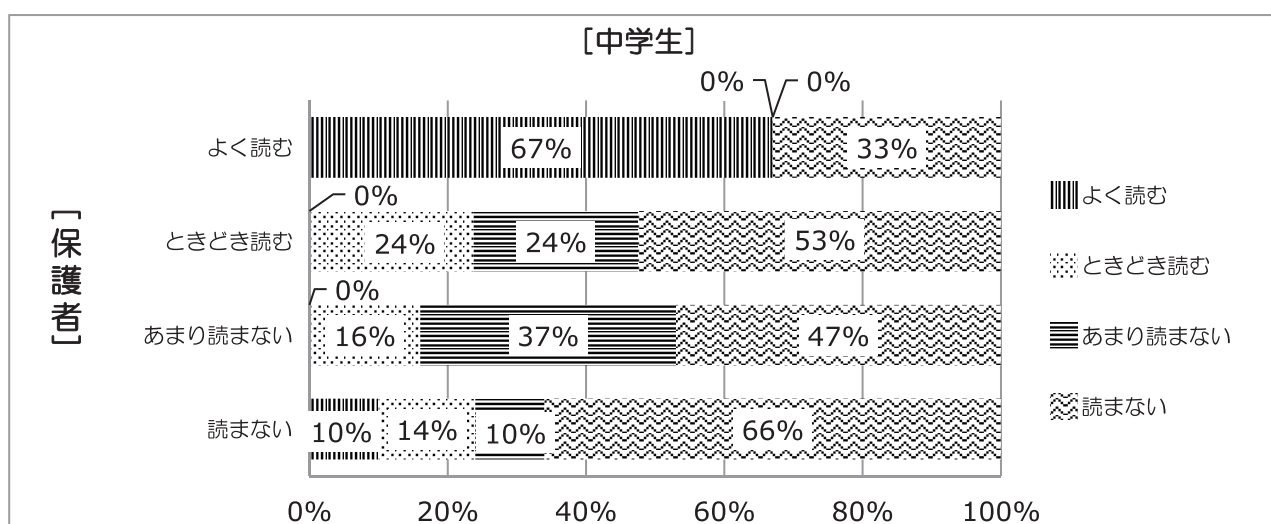


第3次計画策定時アンケート結果



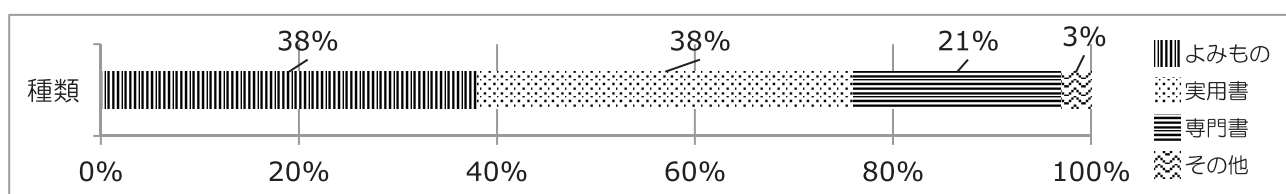
本をよく読むかという問いでは、第3次計画策定時、今回とも「読まない」が48%、43%と最も多くなっている。

問1-1 問1の保護者の本を読む頻度別にみる子供の本を読む頻度



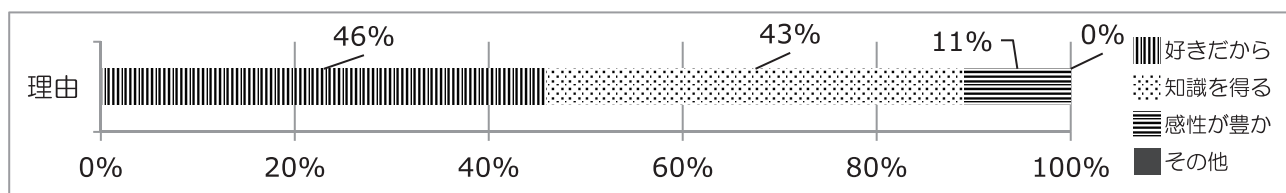
中学生の本を読む頻度を、保護者の本を読む頻度別にみると、本を読んでいる保護者の児童の読書頻度の割合は、「読まない」割合が、少なくなっている。

問2 何をを読みますか



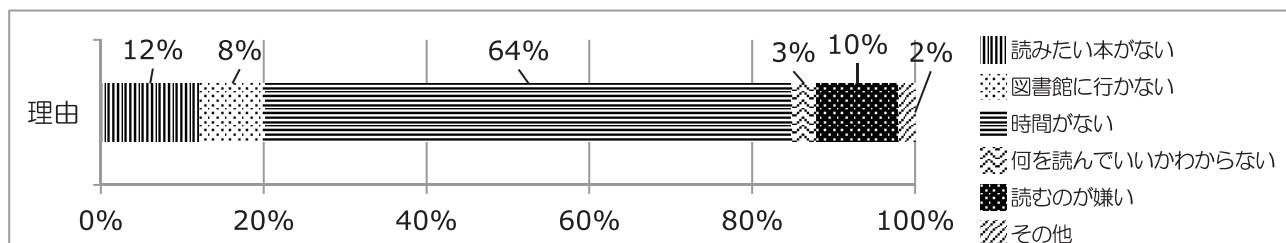
読む本の種類については「よみもの」「実用書」が38%と最も多く、次いで「専門書」が21%となっている。

問3 本を読む理由は何ですか（問1でよく読む、ときどき読むの選択者のみ）



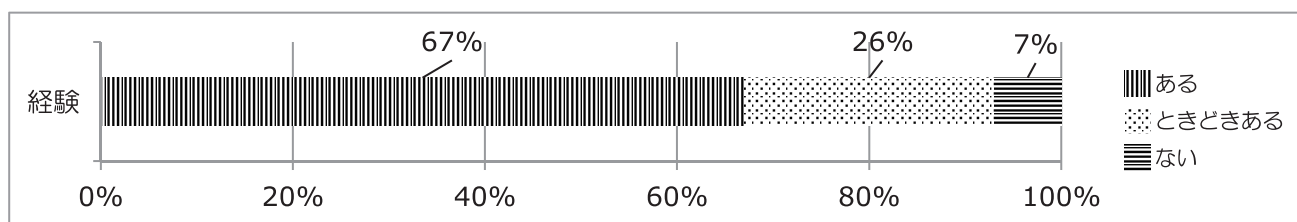
本を読む理由は、「好きだから」46%と最も多く、次いで「知識を得るため」43%となっている。

問4 本を読まない理由は何ですか（問1であまり読まない、読まないの選択者のみ）

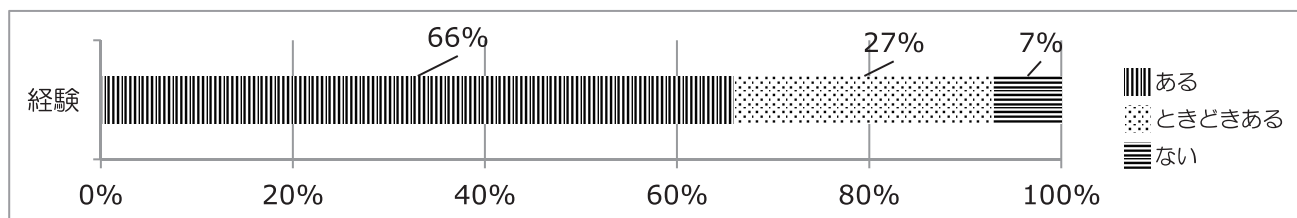


本を読まない理由は、「時間がない」が64%と最も多く、次いで「読みたい本がない」12%となっている。

問5 今まで子供と一緒に本を読んだり、昔話や本を読んであげたことはありますか

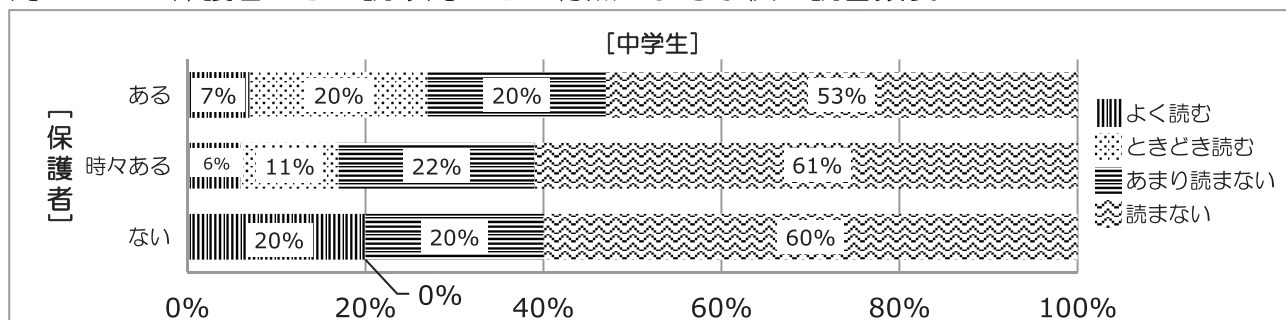


第3次計画策定時アンケート結果



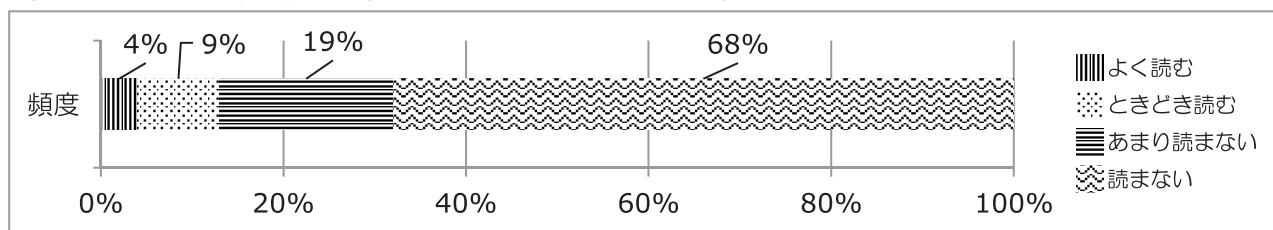
子供への読み聞かせの経験については、第3次計画策定時、今回とも「ある」「ときどきある」を合わせると8割以上の方が読み聞かせをした経験があった。

問5-1 保護者からの読み聞かせの有無による子供の読書頻度



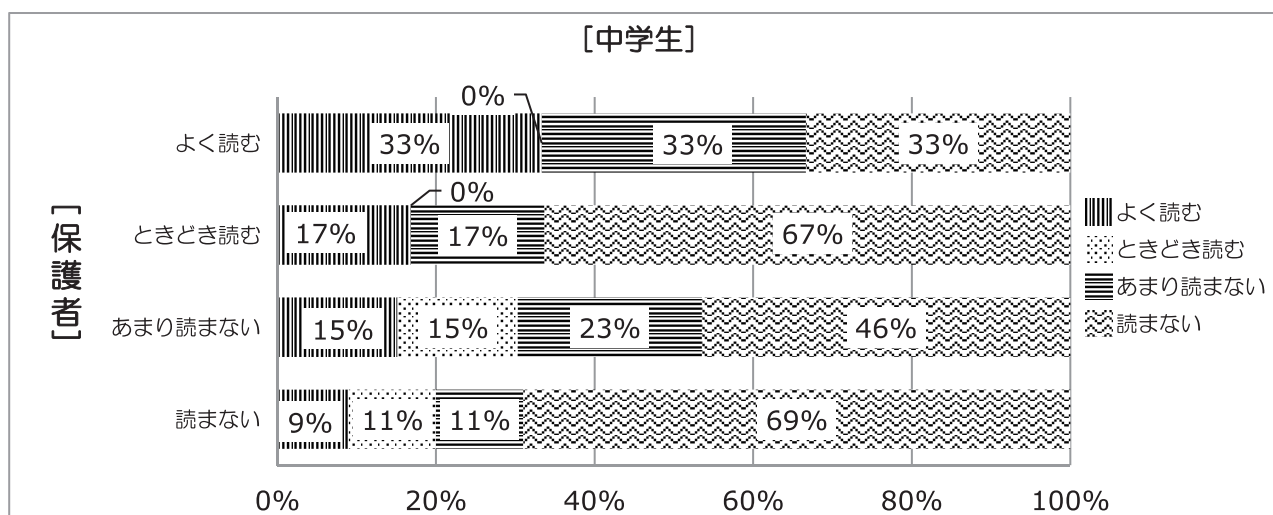
保護者が読み聞かせなどをしたことが「ある」と回答した子供の読書頻度の割合は「本を読まない」が53%となっており、「時々ある」「ない」保護者の子供と比べて、「本を読まない」割合が最も低くなっている。

問6 あなたは、電子書籍を読んだことがありますか



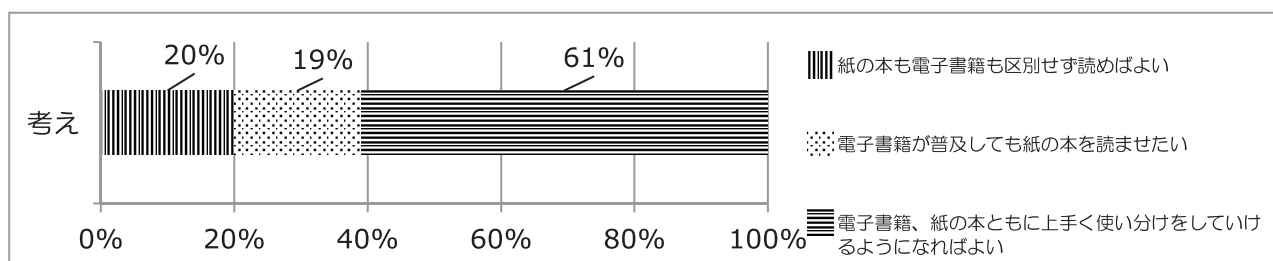
電子書籍を読んだことがあるかについて、「読まない」が68%と最も多くなっている。

問6-1 保護者の電子書籍を読む頻度別にみる子供の電子書籍を読む頻度



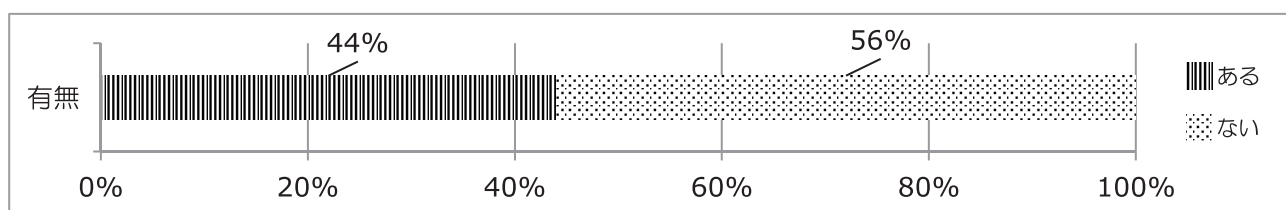
保護者が電子書籍を読む頻度の割合が高いほうが、子供が電子書籍を「よく読む」割合が高い。

問7 電子書籍と、子供の読書についてどのように思われますか



電子書籍と、子供の読書については、「状況に応じて電子書籍、紙の本ともに上手く使い分けをしていけるようになればよい」が61%で最も多く、次いで「デジタル化が進む中、紙の本も電子書籍も区別せず読めばよい」が20%となっている。

問8 あなたがいままで読んだ本の中で、子供と一緒に読みたい本を教えてください

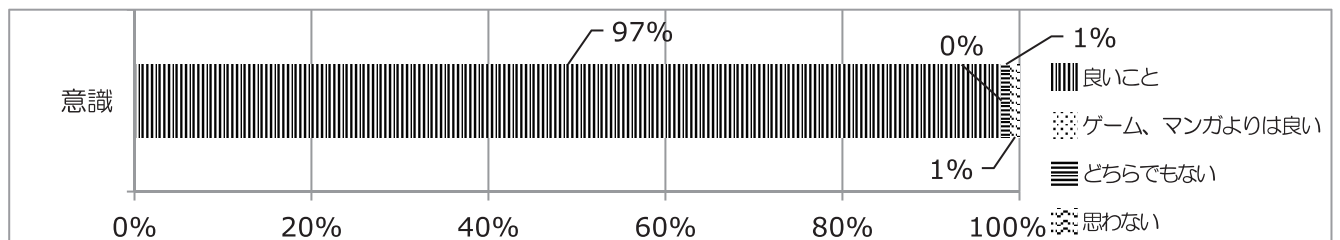


子供と一緒に読みたい本について、44%が「ある」と答えている。

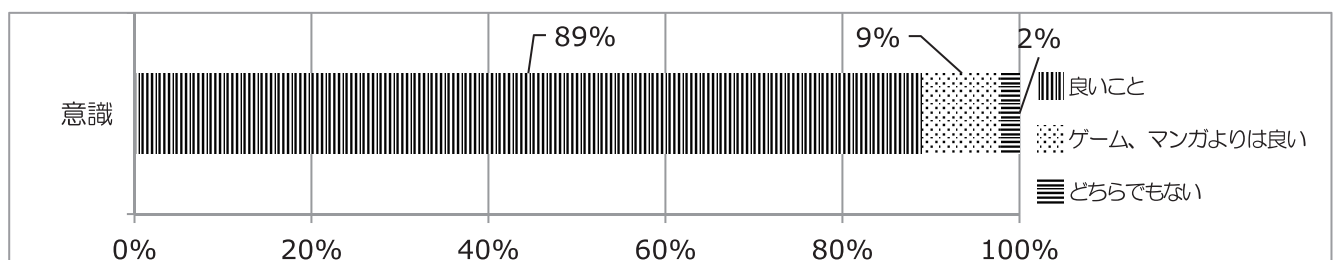
「ある」を選択した人の読ませたい本

本の題名	件数	本の題名	件数
ハリーポッターシリーズ	4	ミッケシリーズ	1
書斎の鍵	1	ナミヤ雑貨店の奇蹟	1
赤毛のアン	1	スイミー	1
十二国記	1	ヘレン・ケラー	1
マスカレード・ホテル	1	だるまさんシリーズ	1
ガラスのうさぎ	1	ヨチヨチ父	1
なぜ僕らは働くのか	1	ちょっとだけ	1
アンネの日記	1	おへそのあな	1
こども六法	1	ころべばいいのに	1
レインツリーの国	1	ピョコタンのジャンボえさがし	1
いないいないばあ	1	夢をかなえるゾウ	1
100万回生きたねこ	1	えんとつ町のプペル	1
神様のカルテ	1	君の臓腑を食べたい	1
どうぶつのおかあさん	1	星の王子さま	1
わたしがいいんだ戦い	1		

問9 子供が本を読むのは良いことだと思いますか

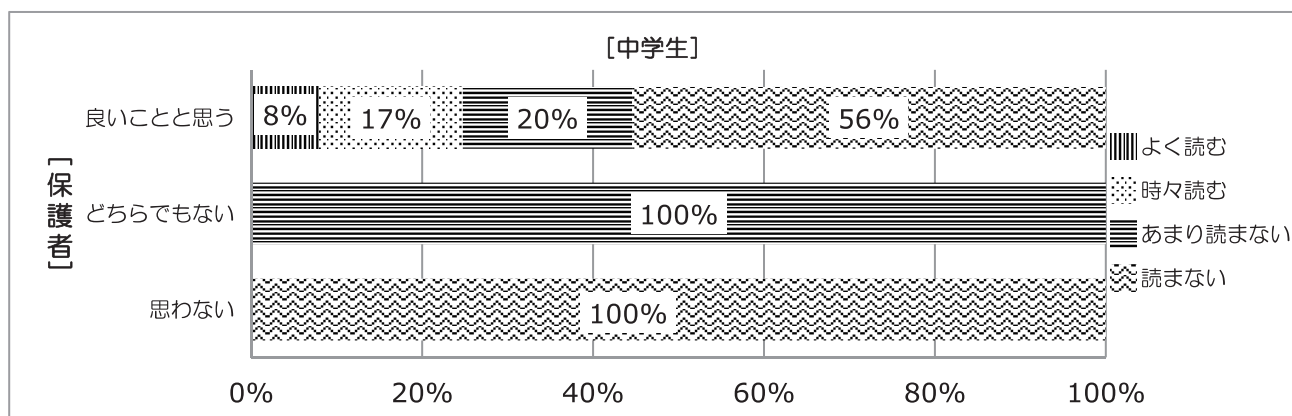


第3次計画策定時アンケート結果



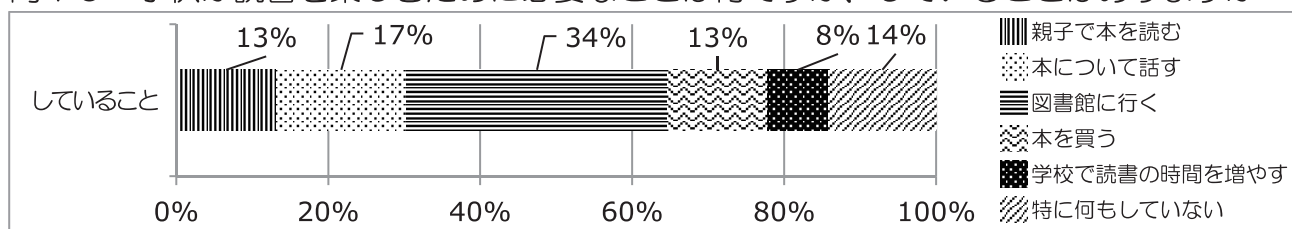
子供が読書することが良いことかどうかについては、第3次計画策定時、今回とも「良いことと思う」との回答がほとんどであった。

問9-1 保護者の読書への意識別による子供の読書頻度



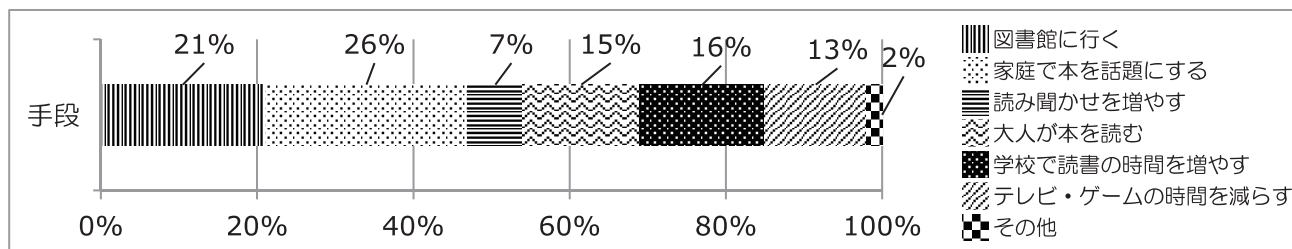
保護者の読書への意識別では、良いことと思っている保護者の子供は読書頻度の割合が高い。

問10 子供が読書を楽しむために必要なことは何ですか、していることはありますか



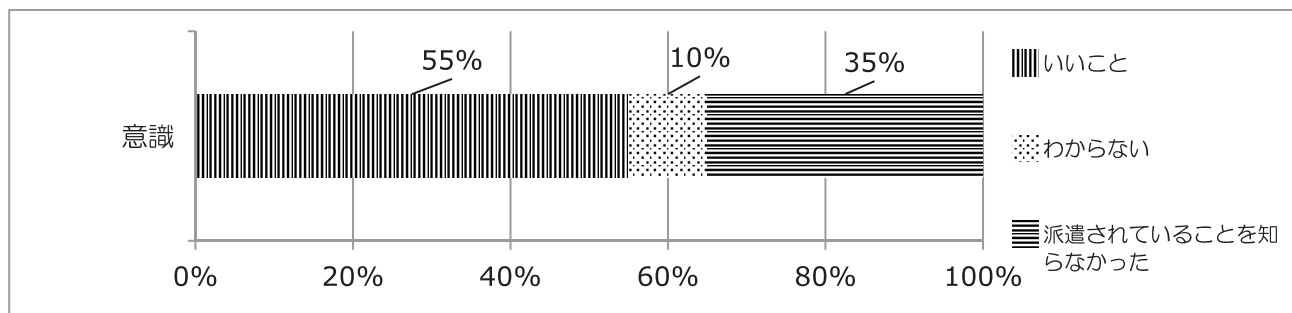
保護者は子供が読書を楽しむよう何をしているかという問いについて、「図書館に行く」が34%と最も多く、次いで「本について話す」17%となっている。

問11 どうすれば子供がもっと本を読むようになると思いますか



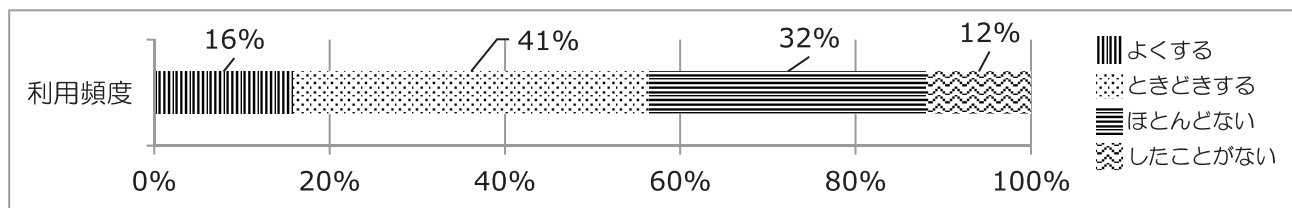
子供が本を読むようになる方法について、「家庭で本を話題にする」が26%と最も多く、「図書館に行く」が21%となった。

問12 岩出図書館から学校図書室に司書が派遣されていることについてどう思いますか

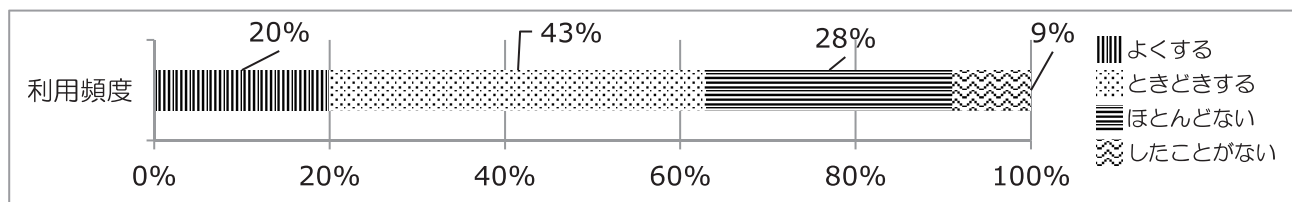


岩出図書館から司書が派遣されたことで派遣をいいことと思う保護者が過半数であった。

問13 岩出図書館を利用しますか

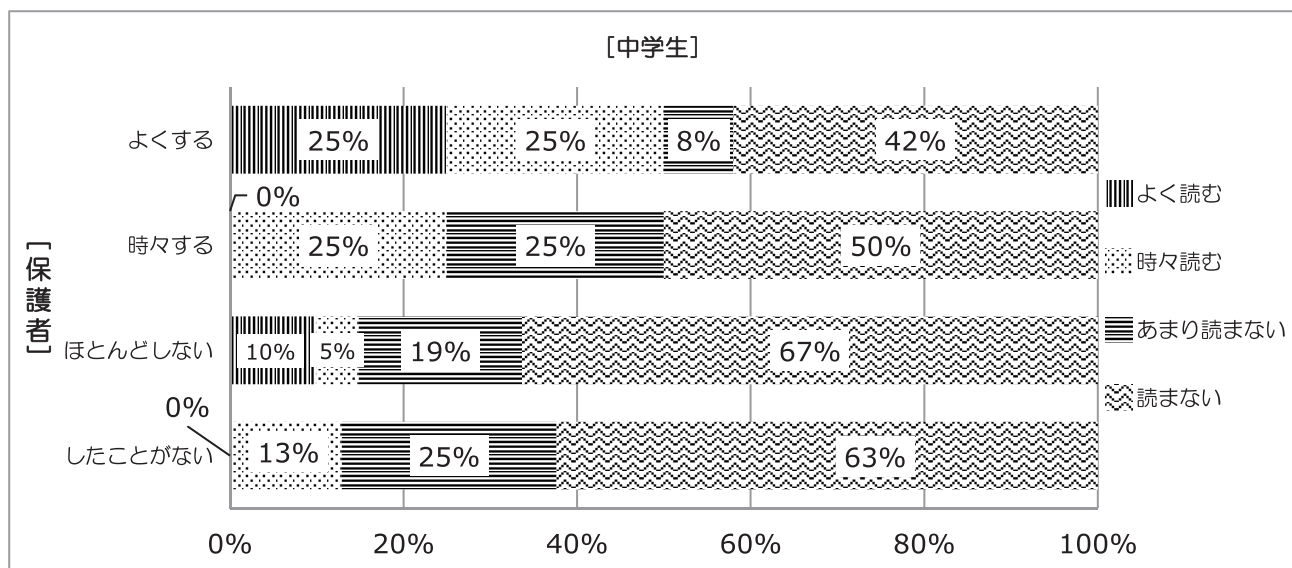


第3次計画策定時アンケート結果



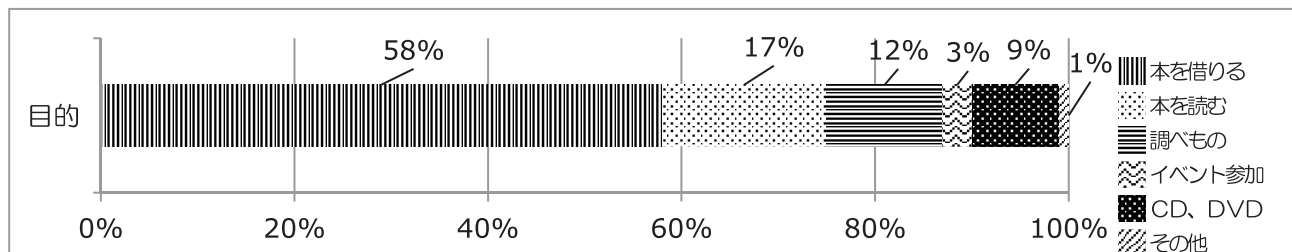
岩出図書館の利用頻度について、第3次計画策定時、今回とも「ときどきする」が43%、41%と最も多くなっている。

問13-1 岩出図書館の利用頻度別による子供の読書頻度



保護者が岩出図書館を利用する頻度別に子供の読書頻度の割合をみると図書館をよく利用する親の子供のほうが本を「読まない」割合が低くなっている。

問14 岩出図書館には何をしに行きますか（問13でしたことがない以外を選択者のみ）



岩出図書館に行く目的としては「本を借りる」が58%と最も多く、次いで「本を読む」17%、「調べもの」12%となっている。

問15 子供と本についての意見、感想

読んでみてと言っても実際、読んでみて、良かったと思うような事がない限りは本を読まないかなと思う。できるだけ一緒に読むことを心掛けます。
コミックでも良いので字を読むという時間を作ればと思っています。
自分が子供時代は本が大好きで自分で教科書や本を読んでたので字や意味を調べたりするのが大好きだったので、本を読む事で色々な言葉を覚えたりで出来るので子供と本のつながりはとても大切だと思います。
岩出図書館内で勉強できるスペースを他の図書館のようにして欲しい。さらに行く機会が増えると思います。なぜ図書館で勉強してはダメなんですか。
日本語を覚えるのは本とTV。少し難しい言葉を覚えるのは本とニュースだと思う。もっと本を読んで日本語を覚えてほしい。
知識を得るためにも、子供には本をたくさん読んで欲しいと思います。
本を読むことで読解力や想像力がつくと思う。ただなかなか習慣がない子にとっては、本を読む（おもしろさに気づく）きっかけが難しいと思う。本を読むことのおもしろさに気づくと自ら読むようになると思いますが、なかなか難しいです・・・
本を読む時間（授業）を増やす。
小さい頃は絵本をかりてよんだりよみきかせもしたが、大きくなると人にいわれて読むのもまた違い、友達の影響をうけて、好きな事をひろげているように思う。好きな本の話友達で語れるようになればよいと思う。親も本を読むが、その姿をみてよむという感じはないと感じている。
電子書籍もいいですが、手に取って本の匂いや紙質などの感覚も知って欲しいと思います。
スマートフォンばかり見ないで、本も読んでほしいと思う。
なかなか時間を作るのが難しいですが読書の時間を増やす取組みを家庭、学校、両方で進めていけると良いと思います。
子供と本を読むのはいい事だと思うが、なかなか時間がなく実現しにくい。
また大きくなって、趣味とかやりたいことができると、借りに行くと思います。

岩出図書館における子供（0歳～18歳）の一人あたりの年間貸出冊数 （令和3年度）

貸出冊数	5冊
------	----

市内小・中学校における児童一人あたりの年間貸出冊数（令和3年度）

貸出冊数	13冊
------	-----

※岩出図書館における子供（0歳～18歳）の一人あたりの年間貸出冊数と、市内小・中学校における児童一人あたりの年間貸出冊数は、小数点以下第1位を四捨五入して算出しています。

岩出図書館 ベストリーダー（貸出回数の多かった資料）1位～5位（令和3年度）

絵本

順位	本の題名	著者名	出版社
1	だるまさんの	かがくい ひろし/さく	ブロンズ新社
2	おしりたんてい	トル/さく・え	ポプラ社
3	ノラネコぐんだんアイスのくに	工藤 ノリコ/著	白泉社
4	ノラネコぐんだんケーキをたべる	工藤 ノリコ/著	白泉社
5	もりの100かいだてのいえ	いわい としお/作	偕成社

※絵本の区分で利用者全体のベストリーダーです。

児童図書

順位	本の題名	著者名	出版社
1	おしりたんてい おしりたんていのこい!?	トル/さく・え	ポプラ社
2	ことわざ大百科	読売新聞東京本社教育支援部/編	読売新聞東京本社
3	おしりたんてい かいとうVSたんてい	トル/さく・え	ポプラ社
4	おしりたんてい あやうしたんていじむしょ	トル/さく・え	ポプラ社
	おしりたんてい ラッキーキャットはだれのてに!	トル/さく・え	ポプラ社

※児童図書の区分で利用者全体のベストリーダーです。

岩出市内各小・中学校 ベストリーダー（貸出回数の多かった資料）1位～5位（令和3年度）

岩出小学校

低学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	新種発見！こびと大研究	なばな としたか/著	ロクリン社
2	カンタン！かわいい！おりがみあそび4（おりがみメモ・ラッピング）	いしかわ まりこ/著	岩崎書店
	飛行機のサバイバル1	ゴムドリ c o. /文	朝日新聞出版
4	こびと大百科（びっくり観察フィールドガイド）	なばた としたか/著	ロクリン社
	大迷路	原 裕朗/著	ポプラ社

中学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	チョコレートのはみつ（新版）	ウェルテ/構成	学研
2	昆虫世界のサバイバル2	洪 在撤/文	朝日新聞出版
	無人島のサバイバル	雀 徳熙/文	朝日新聞出版

順位	本の題名	著者名	出版社
4	砂漠のサバイバル	雀 徳熙/文	朝日新聞出版
5	超高層ビルのサバイバル2	ポップコーン ストーリー /文	朝日新聞出版
	干潟のサバイバル 1	ゴムドリ co./文	朝日新聞出版

高学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	ふしぎ駄菓子屋銭天堂 1	廣嶋 玲子/作	偕成社
	ふしぎ駄菓子屋銭天堂 1 1	廣嶋 玲子/作	偕成社
	ふしぎ駄菓子屋銭天堂 2	廣嶋 玲子/作	偕成社
	ふしぎ駄菓子屋銭天堂 7	廣嶋 玲子/作	偕成社
5	君の臍臓をたべたい	住野 よる/著	双葉社
	5分後に涙のラスト（5分シリーズ）	エプリスタ/編	河出書房新社
	捨て犬・未来 命のメッセージ（東日本 大震災・犬たちが避難した学校）	今西 乃子/著	岩崎書店
	日本史探偵コナン 2（名探偵コナン歴 史まんが）	青山 剛昌/原作	小学館
	ピーカーくんとそのなかまたち（この形 にはワケがある!ゆかいな実験器具図鑑）	うえたに夫婦/著	誠文堂新光社

山崎小学校

低学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	へんしんプレゼント	あきやま ただし/作・絵	金の星社
2	昆虫世界のサバイバル 2	洪 在徹/文	朝日新聞出版
	へんしんオバケ	あきやま ただし/作・絵	金の星社
4	チャレンジミック! 4	ウォルター・ウィック/作	小学館
	ノラネコぐんだん おすしやさん	工藤 ノリコ/著	白泉社
	ノラネコぐんだん きしゃぼっぽ	工藤 ノリコ/著	白泉社
	ノラネコぐんだん そらをとぶ	工藤 ノリコ/著	白泉社

中学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	ナイトサファリのサバイバル 1	ゴムドリ co./文	朝日新聞出版
2	ナイトサファリのサバイバル 2	ゴムドリ co./文	朝日新聞出版
3	新型ウイルスのサバイバル 2	ゴムドリ co./文	朝日新聞出版
4	異常気象のサバイバル 2	ゴムドリ co./文	朝日新聞出版
	エネルギー危機のサバイバル1	金 政郁/文	朝日新聞出版
	人体のサバイバル2	ゴムドリ co./文	朝日新聞出版

順位	本の題名	著者名	出版社
4	竜巻のサバイバル	リメ/文	朝日新聞出版
	ロボット世界のサバイバル 3	金 政郁/文	朝日新聞出版

高学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	炎炎ノ消防隊 2	大久保 篤/原作・絵	講談社
	54 字の物語（意味がわかるとゾクゾクする超短編小説）	氏田 雄介/作	PHP 研究所
	54 字の物語 参（みんなでつくる 意味がわかるとゾクゾクする超短編小説）	氏田 雄介/編著	PHP 研究所
	5 分後に思わず涙。（世界が赤らむ、その瞬間に）	桃戸 ハル/編著	学研プラス
	ラストで君は「まさか! 」と言う 不思議な友だち（3 分間ノンストップショートストーリー）	PHP 研究所/編	PHP 研究所
	ラストで君は「まさか! 」と言う 真夜中の動物園（3 分間ノンストップショートストーリー）	PHP 研究所/編	PHP 研究所

山崎北小学校

低学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	チャレンジミッケ! 4	ウォルター・ウィック/作	小学館
2	チャレンジミッケ! 5	ウォルター・ウィック/作	小学館
3	チャレンジミッケ! 3	ウォルター・ウィック/作	小学館
4	チャレンジミッケ! 2	ウォルター・ウィック/作	小学館
5	エプロンひめのキラキラ☆プリンセスケーキ	藤 真知子/作	WAVE 出版
	チャレンジミッケ! 6	ウォルター・ウィック/作	小学館

中学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	かいけつゾロリのチョコレートじょう	原 ゆたか/さく・え	ポプラ社
	鬼滅の刃 1（ノベライズ）	吾峠 呼世晴/原作・絵	集英社
	ねこがおうちにやってきた!	山本 宗伸/著	学研プラス
	ぴのらぼ 絶対に見つからないいいきものさん（隠れているやつらを見つけだせ!）	カルロ・ピノ/著	KADOKAWA
	ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 1 3	廣嶋 玲子/作	偕成社
	ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 8	廣嶋 玲子/作	偕成社

高学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	ライオン・キング 2 (SIMBA'S PRIDE)	橘高 弓枝/文	偕成社
2	くまのプーさん (ディズニーアニメ小説版 53)	A.A.ミルン/原作	偕成社
3	あめあがりの名探偵	杉山 亮/作	偕成社
	いつのまにか名探偵	杉山 亮/作	偕成社
	ほねほねザウルス 12 (アシュラとりでのほねほねサムライ)	カバヤ食品株式会社/原案・監修	岩崎書店
	まってました名探偵	杉山 亮/著	偕成社
	モンスターズ・インク (ディズニーアニメ小説版 43)	キキ・ソープ/作	偕成社

根来小学校

低学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	恐怖! おばけやしきめいろブック (絶叫ゆうえんちへようこそ)	WILLLこども知育研究所/編	金の星社
	恐怖! おばけやしきめいろブック (学校の七不思議)	WILLLこども知育研究所/編	金の星社
3	おばけトリックアート 3	北岡 明佳/監修	あかね書房
	恐怖! おばけやしきめいろブック (地獄めぐり)	WILLLこども知育研究所/編	金の星社
5	ポケモン ダイヤモンド・パール クイズ 全百科	小学館プロダクション/監修	小学館

中学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	オドロキ!! 超ふしぎマジック	上口 龍生/作	ポプラ社
	小公女 (マンガジュニア名作シリーズ)	バーネット/原作	学研教育出版
3	学校の怖すぎる話 1 (人体模型に近づくな!)	加藤 一/編・著	あかね書房
4	水不足のサバイバル	スウィートファクトリー/著	朝日新聞出版
5	ジャングルのサバイバル1	洪 在徹/著	朝日新聞出版
	絶体絶命! 危険生物ワールドを攻略せよ!	今泉 忠明/監修	学研プラス
	超ひっかけ!! 運命ゲーム	小野寺 ぴりり紳/作	ポプラ社
	ドラえもん科学ワールド 電気の不思議	藤子・F・不二雄/まんが	小学館
	微生物のサバイバル 2	ゴムドリ c o. /文	朝日新聞出版

順位	本の題名	著者名	出版社
5	魔女ののろいアメ	草野 あきこ/著	PHP 研究所
	ようかいとりものちょう 7 (天怪篇参)	大崎 悌造/著	岩崎書店

高学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	闇の本 (番外編 忘れていた怪談)	緑川 聖司/著	ポプラ社
2	白い本 (待っている怪談)	緑川聖司/著	ポプラ社
	DORAEMON セレクション 6	藤子・F・不二雄 /著	小学館
	ドラえもん科学ワールド 動植物の不思議	藤子・F・不二雄 /まんが	小学館
5	DORAEMON セレクション 2	藤子・F・不二雄 /著	小学館
	ドラえもん社会ワールド 情報に強くなる	藤子・F・不二雄/まんが	小学館

上岩出小学校

低学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	のはらうた 3	工藤 直子/著	童話屋
	へんしんトンネル	あきやま ただし/作・絵	金の星社
	へんしんマラソン	あきやま ただし/ 作・絵	金の星社
4	びょういんのおばけずかん (なんでもドクター)	斉藤 洋/著	講談社
5	1ねん1くみの1にち	川島 敏生/写真・文	アリス館
	おしりたんてい ふめつの せつとうだん	トルロ/さく・え	ポプラ社
	がっこうのおばけずかん (ワンデイトンこうせい)	斉藤 洋/作	講談社
	がっこうのおばけずかん (おきざりランドセル)	斉藤 洋/作	講談社
	どうぶつのおばけずかん	斉藤 洋/作	講談社
	ほねほねザウルス 8	カバヤ食品株式会社/原案・監修	岩崎書店

中学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	ふしぎ駄菓子屋銭天堂 5	廣嶋 玲子/作	偕成社
2	ココロ屋	梨屋 アリエ/作	文研出版
	11歳のバースデー 3	井上 林子/作	くもん出版
	ふしぎ駄菓子屋銭天堂 9	廣嶋 玲子/作	偕成社

順位	本の題名	著者名	出版社
2	平安時代ヘタイムワープ	市川 智茂/マンガ	朝日新聞出版

高学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	ドラえもん VOLUME 6	藤子・F・不二雄 /著	小学館
2	ドラえもん VOLUME 9	藤子・F・不二雄 /著	小学館
3	ドラえもん VOLUME 3	藤子・F・不二雄 /著	小学館
4	ドラえもん VOLUME 5	藤子・F・不二雄 /著	小学館
	フランダースの犬（犬と少年の、ひたむきな友情物語）	ウィーダ/作	学研プラス

中央小学校

低学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	おりがみ・こうさく★ミニブック 3 （つくってたのしい！あそべるおりがみ）	いしかわ☆まりこ/著	ポプラ社
2	おりがみ・こうさく★ミニブック 4（とってもかわいい！たべものおりがみ）	いしかわ☆まりこ/著	ポプラ社
3	ミッケ！6	ウォルター・ウィック/写真	小学館
4	おりがみ・こうさく★ミニブック 1（おぼえておきたい！ 伝承おりがみ）	いしかわ☆まりこ/著	ポプラ社
5	おしりたんてい いせきからのSOS	トロール/さく・え	ポプラ社
	おりがみ・こうさく★ミニブック 2（げんき！かわいい！どうぶつおりがみ）	山口 真/著	ポプラ社

中学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	アレルギーのサバイバル 2	ゴムドリ co./文	朝日新聞出版
2	寄生虫のサバイバル 1	ゴムドリ co./文	朝日新聞出版
	ゴミの島のサバイバル	ゴムドリ co./文	朝日新聞出版
	友だち関係（気持ちの伝え方）	藤 美沖/マンガ・イラスト	旺文社
	ハムスターの研究レポート 5	大雪 師走/著	偕成社
	ハムスターの研究レポート 1	大雪 師走/著	偕成社
	飛行機のサバイバル 2	ゴムドリ co./文	朝日新聞出版

高学年

順位	本の題名	著者名	出版社
1	整理整頓（学校では教えてくれない大切なこと 1）	入江 久絵/マンガ・イラスト	旺文社
2	お金のこと（学校では教えてくれない大切なこと3）	関 和之/マンガ・イラスト	旺文社
3	飛行機のサバイバル 1	ゴムドリ co./文	朝日新聞出版
4	ステキになりたい（学校では教えてくれない大切なこと4）	オオノ マサフミ/マンガ・イラスト	旺文社
5	ルールとマナー（学校では教えてくれない大切なこと9）	関 和之/マンガ・イラスト	旺文社

岩出中学校

順位	本の題名	著者名	出版社
1	5 分後に意外な結末 4（黒いユーモア）	学研教育出版 /編集	学研教育出版
2	僕のヒーローアカデミア 雄英白書 2	堀越 耕平/原著	集英社
3	鬼滅の刃 3（JUMP J BOOKS）	吾峠 呼世晴/原著	集英社
4	54 字の百物語（意味がわかるとゾクゾクする超短編小説）	氏田 雄介/編著	PHP 研究所
5	54 字の物語 史（超短編小説で学ぶ日本の歴史）	氏田 雄介/共著	PHP 研究所
	島津義弘（コミック版 日本の歴史 3 7）	加来 耕三 /企画・構成・監修	ポプラ社
	呪術廻戦（逝く夏と還る秋）	芥見 下々/原著	集英社

岩出第二中学校

順位	本の題名	著者名	出版社
1	日本史探偵コナン 8	青山 剛昌/原作	小学館
2	漢検過去問題集準 2 級 平成 26 年版	公益財団法人 日本漢字能力検定協会/編	日本漢字能力検定協会
	驚愕遊園地（最新ベスト・ミステリー）	日本推理作家協会 /編	光文社
	四季の野草リース	辻 典子/著	世界文化社
	日本史探偵コナン 9	青山 剛昌/原作	小学館
	ぼくらの修学旅行	宗田 理/作	角川書店
	目がみえない 耳もきこえない でもぼくは笑ってる	佐々木 志穂美 /著	KADOKAWA

子どもの読書活動の推進に関する法律 (平成十三年十二月十二日法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

和歌山県子供の読書活動推進計画（第四次）

基本方針

国の基本計画と、本県の第三次計画期間における成果と課題を踏まえ、子供の読書活動推進を目指し、次の３点を基本方針として取り組みます。

（１）発達の段階に応じた取組の推進

生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するためには、乳幼児期から発達の段階に応じた読書活動が行われることが重要です。そのため、発達段階ごとの特徴を理解するとともに、一人一人の発達や読書経験に留意し、家庭・地域・学校等において、取組を進める必要があります。

（２）子供が読書に親しむための環境の充実

家庭において、子供が本と出会い、本に親しむ環境をつくるためには、大人が子供に対して、本に親しむ場を積極的に提供していく必要があります。

図書館においては、子供や保護者が本に関心をもち、親しむ機会を多く持てるよう、読書環境を整備することが求められています。

学校においては、学校図書館が「読書センター」及び「学習・情報センター」の機能を果たし、学校教育の中核としての役割を果たす必要があります。

（３）子供の読書に関わる人の育成

子供が本と出会い、本の楽しみを知るためには、子供と本をつなぐ人の役割が大変重要です。

そのため、保護者への読み聞かせ等の大切さについての理解促進、教職員やボランティア等への研修会等を通じた資質向上に取り組む必要があります。

岩出市子供読書活動推進会議設置要綱

(設置)

第1条 「岩出市子供読書活動推進計画」(以下「計画」という。)を指針として岩出市における子供(概ね18歳までのものをいう。)の読書活動を積極的に推進するため、岩出市子供読書活動推進会議(以下「会議」という。)を設置する。

(職務)

第2条 会議の職務は、次のとおりとする。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) 計画の進捗状況の管理と、必要に応じて新たな施策を検討すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、子供の読書活動の推進に関すること。

(組織)

第3条 会議は、市民委員及び庁内委員(以下「委員」という。)10名以内をもって組織する。

(構成)

第4条 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、市教育委員会が委嘱又は任命する。

- (1) 市民委員 子供の読書活動に関する知識及び経験を有する市民の中から教育長が推薦する者
- (2) 庁内委員 子供の読書活動の推進にかかわりの深い行政・学校・保育関係職員

(任期)

第5条 委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第6条 会議には、委員長及び副委員長1名を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選任する。
- 3 委員長は会議の進行を務める。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 会議は、委員長が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(報酬)

第8条 委員の報酬は支給しないものとする。

(庶務)

第9条 会議の庶務は、市教育委員会教育部岩出図書館において処理する。

(委任)

第10条 この訓令の定めるもののほか必要な事項は、教育長が会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この訓令は、平成20年7月1日から施行する。

(任期の特例)

- 2 平成24年11月13日に委嘱又は任命をした委員においては、第5条の規定に関わらず、平成25年3月31日までを任期とする。

附 則

この訓令は、平成24年6月13日から施行する。

附 則

この訓令は、平成29年6月8日から施行する。

附 則

この訓令は、令和4年11月4日から施行する。

岩出市子供読書活動推進会議委員名簿

第4条関係

市民委員

朗読グループ岩出やよい会	上 西 弘 子
図書館ボランティアおはなしドロップス	山 下 久 美 子

庁内委員

根来小学校	西 川 旭
岩出中学校	榎 本 瞳
根来保育所長	竹 田 加 代 子
教育部教育総務課指導主事	太 田 健 治
子ども・健康課 子育て世代包括支援センター長	塩 中 和 歌 子
教育部生涯学習課課長補佐	木 村 富 美
地域福祉課障害福祉係長	助 口 沙 織
岩出図書館館長	湯 川 佳 彦

第4次岩出市子供読書活動推進計画

令和5年3月発行

発行 岩出市教育委員会

〒649-6292

和歌山県岩出市西野209

TEL 0736-62-2141（代）

編集 岩出市立岩出図書館

〒649-6202

和歌山県岩出市根来1472-1

TEL 0736-62-7222

FAX 0736-62-7150